

TOEIC 受験の心得

“Play tag and be careful not to get caught so quickly.”

理想的な点の配分は	Listening	Reading	Total Score
	400～	+ 250	= 650～
	450～	+ 300	= 750～
	470～	+ 380	= 850～
	480～	+ 420	= 900～990

Seeing is Believing! 百聞は一見に如かず。

Light travels a million times as fast as sound.

TOEIC は一種のスピードテストですので、「鬼ごっこ」の要領で、解いていけば大丈夫です。すなわち、反射神経と敏捷性、積極性と全体への目配りが要求されます。オーケストラの指揮者と奏者の二役を演じる気持ちで、リズムカルに対処すれば、問題ありません。

次の方法説明は、750点（L:400+ R:350）を目指す人を基準にしています。

LISTENING PART (PART 1 --- PART 4)

(PART1 =85/100 PART2 =130/150 PART3 =120/150 PART4 =65/100 計400/495)

【PART 1】 説明の英文ナレーションが65秒続きます。その間、ボヤーっと聞いていると居眠ってしまいますので、作業をします。その作業は、まず、1～10の絵をざっと見て、絵の内容を理解します（20秒）。次に、すぐに、「PART 3 の設問」を先読みすることです。但し、選択肢を読んでではダメです。細かい情報が入りすぎて混乱します。

750点を目指す人は、せめて、51～65の設問部分には目を通しておいて、ほとんどの場合、主語は woman か man に決まっていますので、「5W1H」何を、何時、どこで、どうしたか?」の疑問詞と動詞に注目してください。

PART 1 の説明が終わるころに、もどって、PART 1 の PICTURE テストに集中して、解いていってください。

【PART 2】 同様に、説明英文が50秒あります。PART 1 と同様に、すぐに、PART 3 の続きの65～80くらいまで、scan してください。

PART 2 の説明が終わるころ、もどって、集中して、解いて行きます。

【PART 3】 ここでも、説明が、30秒あります。このときは、もう一度確認のために、

51～60までの設問を読み返します。英文説明が終る頃、51に戻って、問題英文を聞きながら、選択肢(A)(B)(C)(D)を目で追います。答えがわかったらすぐに、マークして、あとの英文は聞かず、次の52、53の設問を読み進みます。問題英文の会話に追いつかれないように、解答して行きます。

追いつかれた場合は、その問題は捨てるつもりで、適当な記号をマークして、すぐに、態勢を立て直して、次の設問を先読みして行きます。パニックになってしまえば、ズルズルと、わからないままに引きずられて、やる気がなくなってしまうです。

【PART 4】 説明が25秒です。この間に、81～90までの設問に目を通します。大体、2問、3問の関連した問題になっていますので、落ち着けば、英文本文を聞かなくても、20問の内、10問は、類推で正答できます。模擬テストなどで試してみてください。

その上、この部分だけは、リーディングのパートを早く済ませれば、見なおしができますので、パニックになる必要はありません。

最も、英語力が問われるのは、「PART 3」の51～80の短会話の問題部分です。そこを重点的に攻略すれば、いくらでも、成績は向上してゆきます。

No one can stop you! Good Luck!

READING PART 350/495 (part5= 120/200 part6= 50/100 part7= 180/200)

【PART 5】 語彙力を問う部分です。語彙力がなければ、どうしようもありません。実際、この部分の得点は200点中120点で、充分です。1問30秒、計20分で完了。

【PART 6】 文法力を問う問題ですが、やはり、熟語力がほとんどです。これも、できるだけ、深読みせずに、軽く流して、1問30秒、計10分で完了。

【PART 7】 内容は非常にシンプルな長文の集まりです。要点は、段落ごとに、順番に設問の解答が平行して、按排されていることです。そのことに、気づけば、安心して、解答を選ぶことができ、スピードも大幅にアップし、90%以上の正解は、別にむつかしくはありません。

別紙の解説でも述べておりますが、最後に、一言、できるだけ多くの模擬問題をこなして、本番に臨んでください。3度受験するところを、2度に減らして、そのお金で、模擬問題集を買って、前回に説明しておいた手順に従って、5冊(1、260円)を、段階的に処理してゆけば、必ず、結果がついてきます。

ご健闘を祈ります。

PRIORITIES for TOEIC

- ① ERROR CHECKS p. 61 ~ p. 74
② DIRECTIONS p. 75 ~ p. 78

??? QUESTIONS ???

Find words or phrases which should be corrected and then rewrite them right.

1. 「先行詞を呑み込んでいる関係代名詞」

Reading is to the mind which food is to the body.

読書と心に対する関係は食物の体に関係するのと同様である。

2. 「先行詞と関係代名詞の関係の応用」

He laughs best which laughs last. = He who laughs last laughs best.

最後に笑う奴の勝ち。

3. 「上の問題と同内容」

He must have a long spoon which sups with the devil.

ずるい奴を相手にする人は自分もずるくなくてははいけない。

4. 「主格？目的格？所有格」

Who is it that you want to talk to? --- It is he that I want to talk to.

誰なんですか、あなたが話したいのは？ ---- 彼なんです、話したいのは。

5. 「時間と回数の区別」

Light travels a million time as fast as sound.

光は音の百万倍の速さで進む。

6. 「分かりきっているものは、省略される。」

He offered that he would help me with that.

彼はそのことで、私に手助けしてくれると言った。

7. 「呼応 - - - 呼べば応える」 - - - 「前の語」が「後に来る語」を規制する

These people are so traumatized and they can't speak to anyone.

これらの人々はそれほどに激しいショックを受けたので、誰とも話すことができない。

8. 「音便 - - - 母音で始まる語の前の a は an になる。 しかし、——」

There was an woman that we respected so much.

私達がホントに尊敬する婦人がいました。

!!! ANSWERS !!!

1. 「先行詞を呑み込んでいる関係代名詞」

Reading is to the mind what food is to the body.

= Reading is what food is to the body to the mind.

「直訳」読書は精神に対しては、食べ物身体に対する「もの」である。

Cf. A is to B what C is to D. ← A is what C is to D to B.

*要するに、「左右対称のバランス美」を強調した構文である。 ○ △ what ○ △.

2. 「先行詞と関係代名詞の関係の応用」

He laughs best who laughs last. = He who laughs last laughs best. (= that)

*関係代名詞がどこに配置されようが、述語動詞に注目すれば、文意はすぐに理解できる。

3. 「2. と同様」

He must have a long spoon who sups with the devil. (= that)

4. 「主格？目的格？所有格」

Who is it that you want to talk to? --- It is him that I want to talk to.

5. 「時間と回数の区別」

Light travels a million times as fast as sound.

Cf. ① I have some time. ② Do you have the time? ③ We had a good time.

時間がいくらかあります。 何時ですか？ 楽しいひとときを過ごした。

6. 「分かりきっているものは、省略される。」

He offered to help me with that. * offer は「自分の意志で申し出る」意、

申し出の内容の動作の主語も同一人に決まっているので、「that 節」を使用する必要は無いので、

「to 不定詞」のみをとる。しかし、suggest などの動詞の場合は、別人が動作の主語になるので、「that 節」

を用いる。また、propose, order などの場合は、「to 不定詞」も「that 節」の両方を用いる。

[EX 1.] He suggested to her that she go.

[EX 2.] He proposed to start early. 彼が出発する

3. He proposed to me that we should start early. 私たちが - - -

7. 「呼応 - - - 呼べば応える」 前の語が後に来る語を規制する

These people are so traumatized that they can't speak to anyone. [so → that]

Cf. These people are very traumatized and they can't speak to anyone. [very → and]

8. 「音便 - - - 母音で始まる語の前の a は an になる。しかし、ヤ・ユ・ヨなどの半母音」

There was a woman that we respected so much. cf. a year / an ear

* y/w は半母音 = 子音 * a uniform wage 画一賃金 * a university

??? QUESTIONS ???

9. 「4を参照。主格？目的格？所有格」

His car runs as fast as her.

彼の車は彼女と同じくらい速く走る。

10. 「時制の問題」

I thought that he meets the optician three weeks ago today.

3週間前の今日、彼がその眼鏡士に会ったと思った。

11. 「時制の問題」

If it will rain tomorrow, we will not go out to dinner.

もし明日雨が降れば、夕食に出かけないよ。

12. 「前置詞の有無・自動詞と他動詞」

He married with Mary.

彼はメアリーと結婚した。

13. 「受身の時の前置詞」

She got married with Tom.

彼女はトムと結婚した。

14. 「前置詞・所属」

The car belongs of me.

その車は私のものです。

15. 「前置詞・方向・引力」

He sticks on his opinion.

彼は自分の意見に固執している。

16. 「前置詞・者と物」

I agree to him on politics.

政治については彼に同意する。

!!! ANSWERS !!!

9. 「See 4. 主格?目的格?所有格」

His car runs as fast as hers. *所有代名詞 her car = her one = hers

* my one = mine / yours / his / ours / theirs / Tom's

* a friend of mine / a friend of his / a friend of Tom's

10. 「時制の問題」

I thought that he (had) met the optician three weeks ago today.

* 主節の述語動詞が、従属節の述語動詞の時制を規制する。(特に、過去形の場合は、従属節の動詞も自動的に過去形(過去完了形)になる。(現在形になることは稀。))

11. 「時制の問題」

If it will rains tomorrow, we will not go out to dinner.

* 条件法の場合は、現在の時点で、未来のことを話すので、日本語と同様に if 節の述語動詞は現在形になる。(未来形になるのは、稀。)

12. 「前置詞の有無・自動詞と他動詞」

He married with Mary. * 結びつきが強い場合は前置詞 with などを用いない。

① You can't reach him. ② Don't touch it. ③ Watch me for a second.

④ No one can match him in strength. ⑤ attach a basket to the bicycle

cf. catch, match, patch, fetch, attach, hatch, thatch (藁・萱) / Mr. Thacher (蓑合氏)

13. 「受身の時の前置詞」

She got married to Tom. = She was married to Tom.

* Tom attracted Mary. ⇔ Mary was attracted to Mary.

* Tom bought a car. ⇔ A car was bought by Tom.

14. 「前置詞・所属」

The car belongs to me. = The car is

of me.
mine.

* The car comes to me. 私のところに来る。(方向性) = The car is

of me.
mine.

15. 「前置詞・方向・引力」

He sticks to his opinion.

* stick with のように、with は日常的にあらゆる場合に便利に使用されているが、文書など正式には、前置詞の正しい使用は、教養の barometer として、重要視される。

16. 「前置詞・者と物」

I agree with him on politics.

* with は「混合、混在」の感じで、結びつきが弱く、離合が容易。

??? QUESTIONS ???

17. 「前置詞」

... I can't agree with the terms of this contract.

... この契約の条件には同意できない。

18. 「副詞＝前置詞＋名詞」

... His daughter went to abroad to study music.

... 彼の娘は音楽を勉強しに海外に行った。

19. 「副詞 感嘆文」

... How a big piano it is!

... それは何て大きなピアノなのでしょう！

20. 「名詞 感嘆文」

... What big bird you caught yesterday!

... 昨日、君は何と大きな鳥をつかまえたんだ！

21. 「疑問形容詞＋名詞と前置詞」

... Which house do you live?

... どの家に住んでいるんですか？

22. 「疑問副詞と前置詞」

... Where did they go to yesterday morning?

... きこの朝、彼等はどこに行ったんですか？

23. 「動名詞のみを取る動詞」

... Do you mind to stop by our house tomorrow morning?

... 明日の朝、私の家に立ち寄ってくれませんか？

24. 「動名詞のみを取る動詞」

... He is considering to marry her next year.

... 彼は来年彼女と結婚しようと考えている。

!!! ANSWERS !!!

17. I can't agree **to** the terms of this contract. * belong to / go to / toast to
 * to は「吸引力、接着性」が強く、抵抗し難い感じ。 * be attracted to --
 * agree to his proposition [advice / suggestion, order]
 したがって、軽い気持ちで賛成の場合は、agree with, agree on, agree about でいい。
 * agree with his opinion.

18. His daughter went ~~to~~ abroad to study music. < on the board = abroad
 * border = board = broad 縁・板・甲板・辺境地・国境地域
 e.g. away; ahead; aside cf. e.g. =exempli gratia = for example
 on way; on head; on side

19. How **big a** piano it is! Cf. What a big piano it is!
 * It is so big a piano! It is such a big piano!
 * It is too big a piano to carry.
 20. What **a big bird** you caught yesterday! Cf. How big a bird you caught yesterday!
 * It is such a big bird that you caught yesterday!
 * It is so big a bird that you caught yesterday!

21. Which house do you **live in**? cf. Which house do you go to?
 * 日常的には、in は省略される。This is a nice place to live (in).
 * He is a nice person to work with. この場合は with は付けたほうが誤解が少ない。
 * He is the person (for me) to work for. 私は彼のために働いています。
 * Get me something to write with. (ペンか) 何か書くものをください。

22. Where did they go ~~to~~ yesterday morning?
 = To which place did they go? = Which place did they go to?

23. Do you mind **stopping** by our house tomorrow morning? ① love/move; ② car/war
 * [in] mind / stoppin' 同じ文字で韻を踏む。(=視覚韻 eye[sight;visual] rhyme)
 mind は「音」と「文字」の両方の韻を含むので、必ず、動名詞をとる。

24. He is considering **marrying** her next year. = rhyming / échoing 押韻: 韻
 * i / in' 同音(類似音)で韻を踏む。(本来の押韻)
 finish / miss / quit / enjoy / risk / admit / fancy / justify / deny / resent
 [NOTE] 普通の動詞は like to sing; like singing のように、to 不定詞も動名詞も両方とも
 従える。但し、例外的に① わづかの動詞が動名詞のみ(=enjoy singing)、
 ② または、不定詞のみを取る(=want to sing)。

??? QUESTIONS ???

25. 「動名詞のみを取る動詞」

Have you finished to write the report for the conference?

その会議のレポートを書き終えましたか？

26. 「動名詞のみを取る動詞」

I missed to call him back last night.

昨夜、彼に電話をかけ直すのをすっかり忘れた。

27. 「動名詞のみを取る熟語」

He couldn't help to laugh at the sight.

彼はその光景を見て笑うのをこらえられなかった。

28. 「仮主語と真主語は t + t」

It is a good idea take a walk in the morning.

朝、散歩をすることはいい考えです。 cf. indicating; demonstrative; echoing

29. 「仮目的語と真目的語も t + t」

He makes a rule to study listening to music.

音楽を聴きながら勉強することをきまりにしている。

30. 「感情の形容詞は心からの of」

It was nice for you to say something to help me.

私のためにお言葉をいただいて、ありがとうございました！

31. 「命令形も使役も原形不定詞」

He made me to call her many times against my will.

彼はいやがる私に無理矢理、何度も彼女に電話をかけさせた。

32. 「受動態になれば、普通に to 不定詞になる」

I was made call her many times against my will.

私は気が進まないのに、無理矢理、何度も彼女に電話をかけさせられた。

Cf. make 日常的 (子どもでも使用できる) ≠ force (非日常的) + to

!!! ANSWERS !!!

25. Have you finished writing the report for the conference?

“fi---“ is rhyming with “---in”

26. I missed calling him back last night.

“mi---“ is rhyming with “---in”

[NOTE] 【動名詞のみを従える動詞】 ① ② ③ See 24.

① 「音声や視覚からの動詞」 consider; finish; miss; / enjoy; mind;

② 「意味内容から、「進行中または、継続状態」を強調して、それを停止、承認する動詞」
understand / acknowledge / report / own / postpone / stop

③ 勿論「音声・視覚・意味」の3要素が備わっているものもある。

admit / quit / escape / evade

cf. (1) He stopped working to smoke. = He stopped to smoke.

タバコを吸うために作業するのをやめた。

(2) He stopped smoking to work. = He stopped smoking.

作業するためにタバコを吸うのをやめた。

【to 不定詞のみを従える動詞】 ④ ⑤

④ 語尾 ---l, s, d, t, n → to

decide want wish expect mean pretend promise refuse

⑤ 意志・希望・決心など、未来思考の意味の動詞

offer care hope

27. He couldn't help laughing at the sight. = He could not (do nothing) but laugh.

* help < quit < stop < control < restrain

28. It is a good idea to take a walk in the morning.

It ⇔ to

-t t-

29. He makes it a rule to study listening to music.

it ⇔ to

-t t-

30. It was nice of you to say something to help me. (ofは中身までそのもの)

cf. kind of 親切だ; mean of 意地悪だ; cruel of 残酷だ

* He is (made) of kindness. < of meanness. < of cruelty.

* He is a man of kindness. < a man of meanness. < a man of cruelty.

* This desk is made of wood. That bridge is made of steel.

31. He made me to call her many times against my will. < simple form >

* make は日常的な語だから、to が慣用的に省略されて（摩滅して）しまっている。

32. I was made to call her many times against my will.

* 受動態は非日常的（文語）な用法なので、to が復活する。

* 以下の場合(33—35)も同様である。「feelings and emotions」が作用する結果である。

33. 「感覚 (hear/see/feel) + ○ + 原形動詞」

I heard him to call the police just now.

彼がついさっき警察に電話するのを (私は) 聞いた。

34.

He was heard call the police just now.

彼はついさっき警察に電話するのを (私に) 聞かれた。

35. 「願いを叶えてやる使役動詞 + ○ + 原形動詞」

He let me to play his beloved piano.

彼は私に愛用のピアノを弾かせてくれた。

36. 「受身 (される V-ed) と能動 (する V-ing) の区別」

He is interesting in that book.

彼はその本に興味を持っている。

37.

That book is interested in him.

あの本は彼の関心を引いた。

38. 「比較級の本来の形と省略複合形の区別」

He was speaking more faster than they.

彼は彼等よりもっと速く話していた。

39. 「呼応 (呼べば応える) の相関語句 7. に同じ」

They ran so fast and they could not breathe any more.

彼等はそんなに速く走ったので、もう息ができなかった。

40. 「前置詞句構文と分詞構文の区別」

He was busy for writing the draft of the speech for the conference.

彼は会議のためのスピーチの原稿を書いていて忙しかった。

!!! ANSWERS !!!

33. I heard him ~~to~~ call the police just now.

Cf. hear, feel, see, watch, smell, notice, observe. 直接性 (強制・命令性・主観性) が強いので、原形不定詞を用いる。 但し、受動態になれば、to が復活する。

34. He **was heard to call** the police just now.

客観的・間接性

35. He **let me to play** his beloved piano.

= He allowed me to play ----.

Cf. let (日常的・friendly/casual) ≠ allow + to (非日常的・遠慮)

36. He **is interested** in that book.

* 受動態は普通は by を用いるが、

interest の場合は、「心の中まで」惹かれるという感情 (口語) を優先するために、「in」を用いる。これまでの、「of」, 「make」, 「hear」などの例外的用法と軌を一にする。

37. That book **interests** him.

(That book is interesting him.)

interest は「興味を持たせる」という意味である。「この本は彼に興味を持たせた。」

38. He was speaking ~~more~~ faster than they.

* more + fast = faster

39. They ran so fast **that** they could not breathe any more.

= They ran very fast and for that they could not breathe any more.

= They ran too fast to breathe any more.

40. He was busy ~~for~~ writing the draft of the speech for the conference.

= He was busy because he was writing the draft ----.

彼は原稿を書いているので、忙しかった。

≠ He was busy working hard (for making some time) for writing the draft ----.

彼はスピーチを書く時間を作りだすのに忙しく働いていた。

Cf. (1) He was busy for playing golf.

(2) He was busy playing golf.

??? QUESTIONS ???

41. 「強調構文は聞き手、読み手にやさしい語法」

It is she that we will help first of all.

何よりもまず、助けるべきは彼女です。(彼女だけは助きたい。)

42 「強調するのが目的語の場合」

It is him who will be helped last by us.

最後に助けるべきは彼です。(彼だけは助けたくない。)

43. 「(動詞と前置詞) の呼応」

The company provided me the money.

会社はそのお金を供給してくれた。

44. 「強い意味の動詞の場合は普通の語順と逆になり、前置詞が正規・強調の of になる」

They robbed the money from me.

彼等は私からそのお金を略奪した。(ドロボーした)

45. 「普通の程度の動詞の場合は、前置詞も普通の曖昧・間に合わせの from を用いる」

They stole Tom of the watch in the park last month.

彼等は先月、公園でトムからその時計を盗んだ。

46. 「曖昧の前置詞 from を用いるので、原料がわからない」

We made some nice brandy of grapes.

ブドウから素敵なブランディーを作った。

47. 「正規・強調の前置詞 of を用いるので、原料はすぐ分かる」

They made the bridge from steel.

彼等は鋼鉄製の橋を作った。

48. 「性格も心からのものなので、of を用いる。 See 30.」

It was kind for you to help me with the trouble.

助けてくれてありがとうございました。(あなたはとてもやさしい人だ)

!!! ANSWERS !!!

41. It is her that we will help first of all.

cf. Who is it that you will help first of all? --- It is her.

先ず、最初に助けるのはだれですか? --- 彼女です。

cf. Who will you help first of all? 先ず最初に誰を助けますか。

42. It is he who will be helped by us last.

cf. Who is it that will be helped last by you? --- It is he.

Cf. Who will be helped last by you?

43. The company provided me with the money. cf. -- gave me (with) the money

文語

口語 (文語)

cf. The company provided the money for me. (= to me)

cf. The company gave the money to me.

44. They robbed me of the money. 略奪した。

* They deprived me of the title. その称号を剥奪した。

* They couldn't rid my house of the mice. 私の家のネズミを駆除できなかった。

45. They stole the watch from Tom in the park last month.

* 44-45 直接目的と間接目的の反転に注意。

46. We made some nice brandy from grapes.

* 加工して原材料が類推できないものの場合は、分離を示す from を使用。

47. They made the bridge of steel. 鋼鉄製の cf. a man of kindness

* 原材料がすぐに類推できるものの場合は、所属・所有・同格を示す of を使用。

48. 「性格も心からのものなので、of を用いる。」

It was kind of you to help me with the trouble.

cf. You were made of kindness.

cf. You were a man of kindness.

[NOTE] 要するに of の逆読みは from なので、反復してきたように、文語と口語は、

綴り・語順・節順が逆になる。 of → out of → off → from

The island is 50 kilometers of the main land. (= off)

(△ out of ○ off △ from)

??? QUESTIONS ???

49. 「願を掛けるときは、自然、原形（直接性・一種の命令形）になる。」

God helps us!

神よ、お助けください！

50. 「必然、当然のときも、原形（直接的・一種の命令形）になる。」

It is necessary that he helps her.

彼女を助けるのは当然のことです。

51. 「提案・暗示も同様 " = ditto mark」

He's suggesting that Mary goes to study abroad.

彼はメアリーが海外に勉強に行くべきだと提案している。

52. 「既にしていなければ、ならないのにまだしていないときは、仮定法」

You have better do it at once.

即刻、したほうがいいよ。

53. 「同上」

It's high time that you do something about improving the situation.

状況を好転させるのに何かすべき時だよ。

54. 「する気はないのに、口先だけで言う場合も、仮定法」

I will rather die than marry her.

彼女と結婚するよりは死んだほうがましだ。

55. 「丁寧・健康・遠慮がちの場合も、仮定法」

I will like to see your child (if it were OK with you.)

(もしよろしければ、) お子様にお会いしたいのですが。

56. 「前置詞を持たない動詞（密着性）」 & 「持つ動詞（間接的）」の区別 See 12.

You had better discuss about that project.

その計画のことを討論したほうがいいよ。

!!! ANSWERS !!!

49. God help us! 仮定法現在 = May God help us! * God bless you.
 * Good bye = God be with ye. (ye = you) * May he rest in peace!
 * May heaven protect thee! * May you succeed!
 仮定法現在 May you help me! 哀願 Please help me! 命令 Help me!
 You had better help me. Why don't you help me?

50. It is necessary that he (should) help her. cf. imperative (命令法)
 * It is necessary のあとに来る「節」の動詞も should が省略 (摩滅) されて原形になる。

51. He's suggesting that Mary (should) go to study abroad.
 * 同様に、demand, desire, insist, move, order, propose, request, move など要望、要請の意味の動詞に後続する節の動詞は原形になる。"should" が省略され、摩滅している状態である。

52. You had better do it at once.
 = You would have it better off if you should do it at once.
 = You'd have it better off if you'd do it at once. > 'd have (it) better
 = You had better do it at once. I wish. > had (it) better
 = Why don't you do it at once?
 = What is it for that you don't do it at once?

53. It's high time that you did something about improving the situation.
 I wish you did something about improving the situation.
 = It's hightime for you to do something about the situation.

[NOTE] 52. Had better 53. Did
 音便・略音 | syncopate should do = 'd do would have = 'd have
 倒置・反転 | reverse do 'd have 'd
 合成・融合 | melt together did had

54. I would rather die than marry her.
 I would die if I should marry her. 万一彼女と結婚しなければならないのなら、私は死ぬだろうに。
 I will die if I must marry her. 彼女と結婚しなければならないなら、私は死にます。

55. I would like to see your child (if it were OK with you.)

56. You had better discuss about that project. cf. reach: access
 See 12.

【御注意】 以下の TOEIC 英文説明は、配布される問題冊子の裏表紙に印刷されています。監督官による説明の後、10分程、休憩がありますので、その間に、ウォーミングアップのために、何度も頭の中で反復吟味して、頭を英語の世界にスイッチして、すぐ後に始まるリスニングテストに、スッと入ってゆけるようにスタンバイしておくことが大切です。

*空白にふさわしい語句を考えてみてください。文法力・語彙力の補強にもなります。

【Test () English () International Communication】
General Direction

This is a test () your ability () use the English language. The total time () the test is approximately two hours. It () divided into seven parts. Each part () the test begins () a set of specific directions. () sure you understand what you are () do before you begin to work () a part.

You will find () some of the questions are harder () others, but you should try () answer every one. There is no penalty () guessing. Do not () concerned if you cannot answer all of () questions.

Do not mark your answers () this test book. You must put all () your answers () the separate answer sheet, be sure () fill in the answer space corresponding () the letter () your choice. Fill () the space so () the letter (i) the oval cannot () seen, as shown () the example below.

Test of English for International Communication

General Direction

総合指示

This is a test of your ability to use the English language. The total time for the test is approximately two hours. It is divided into seven parts. Each part of the test begins with a set of specific directions. Be sure you understand what you are to do before you begin to work on a part.

この試験は英語の運用能力を測るためのものです。試験の総解答時間はおよそ2時間です。試験問題は7つに分かれています。各パートの最初に個別の指示があります。それぞれのパートでどのように解答してゆけばいいのかを確実に理解するようにしてください。

You will find that some of the questions are harder than others, but you should try to answer every one. There is no penalty for guessing. Do not be concerned if you cannot answer all of the questions.

設問の中にはややむづかしいものも含まれているかもしれませんが、全ての質問に解答するようにしてください。推測で解答することに対して何ら罰則はありません。全問に解答できなくても心配はいりません。

Do not mark your answers in this test book. You must put all of your answers on the separate answer sheet, be sure to fill in the answer space corresponding to the letter of your choice. Fill in the space so that the letter inside the oval cannot be seen, as shown in the example below.

この問題用紙には解答を記入しないでください。解答はすべて、問題用紙とは別に配布されている解答用紙に記入して下さい。解答用紙に記入する際には必ず、選択した解答に対応する解答欄を塗りつぶすようにしてください。下に示した例のように、解答欄のアルファベットが見えなくなるまで塗りつぶしてください。

Mr. Jones ----- to his accountant yesterday.

- (A) talk
- (B) talking
- (C) talked
- (D) to talk

sample answer



The sentence should read, “Mr. Jones talked () his accountant yesterday.”

Therefore, you (s) choose answer (C). Notice how this has been done () the example given.

Mark only one answer () each question. If you change your mind (a) an answer after you have marked it () your answer sheet, complétely eráse your (o) answer and then mark your new answer. You must mark the answer sheet carefully () that the test-scoring machine can áccurately record your test (s).

Mr. Jones ----- to his accountant yesterday.

- (A) talk
- (B) talking
- (C) talked
- (D) to talk

sample answer



The sentence should read, “Mr. Jones talked to his accountant yesterday.”

Therefore, you should choose answer (C). Notice how this has been done in the example given.

この文では Mr. Jones talked to his accountant yesterday. (ジョーンズ氏は昨日、担当の会計士と話した。) となるべきです。したがって、(C) の選択肢を選びます。例で示したこのやり方を覚えておいてください。

Mark only one answer for each question. If you change your mind about an answer after you have marked it on your answer sheet, completely erase your old answer and then mark your new answer. You must mark the answer sheet carefully so that the test-scoring machine can accurately record your test score.

各設問に対して、解答は一つだけ選びます。解答用紙に記入し終わってから、変更したい場合は、最初の答えを完全に消して、新たに記入し直してください。採点用の機械が正確に解答を読み取れるように、解答用紙の記入には充分注意してください。

- ① 人間共通の音が三つ巴になって、複合発展。「敵の敵は我の友」の単純で複雑な状況。
- ② 言い違い（言い落とし）・聞き違い・思い違い・聞き落とし We can go nowhere.
- ③ 文書用語にまで、影響発展してゆく。

《日常会話と文書語法の基本区別が大事》

日常会話は言い違い・聞き違い・思い違い・省略の積み重ねで、世代を重ねて、「憎まれっ子世にはばかる*」式の「無理が通れば、道理が引込む**」誤用・慣用の存在である。限り無くいい加減で、お天気屋であることを、認識すれば、敬語法や文書語法の有用性がはっきりしてくる。

* Ill weed grow space. (Hated children present a strong face to the world.

** Where might is master, justice is servant. (If unreason comes, reason goes.)

①「人間的—いいかげん性」を見直そう。

To err is human, to forgive (is) divine. 間違うのは人間の性、許すのは神の性。

慣用句 Don't allow idioms to make an idiot of you.

「言葉」に馬鹿にされないように。言葉は使うもので、それに使われては、馬鹿を見る。

実際、「バカやアホ」と言う時でさえ、その言葉の正体や由来、読み方さへ無関心に使っている。音読み・訓読みをいいかげんにごまかしている・区別さへつかない。

どの言語においても、言葉の成立には、常にユーモアと皮肉が混じっている。

「木乃伊取りが木乃伊にならないように」 ミイラ

The mummy collector becomes a mummy. Be careful not to be so yourself too.

馬鹿 バ+ロク? うま+しか? バ+しか?

阿呆 ア+タイ? ア+ほうける? ア+ほう?

wine? money? words? work?

Drink wine instead of getting drunk by wine. 酒は飲むもので、飲まれるものではない。

Use words instead of getting used by them. 言葉は使うもので、使われるものではない。

② HEARD & HEART 聞いたものが心になる。The heard things will be the heart.

Listen to hear. = Keep listening and you can hear it. 聴けば、聞こえる。

Look to see. = Keep looking and you can see it. みれば、見える。

③ “ABC history”

Can you feel gene? ジーンとしますか? / ホッとしますか? feel home?

Every character has its own character. どの文字も、それぞれ性格を持っている。

「十人十色」 So many men, so many minds. 「蓼食う虫も好きずき」 There is no disputing about tastes.

「心を開くように、耳も開こう。」 人類共通音を大切にしよう。

slack /luck 楽	cross 苦労・苦難	bear one's cross 苦難を忍ぶ
スラック・ラック	クロス	

④ tempo, rhythm が大切。 sleep? sheep? hitsuji?

You can't sleep counting hitsuji, but you can sleep counting sheep.

ヒツジを数えてても、眠ることはできないけれど、シープを数えていれば、シープ（スリープ）できる。

Cf. self-hypnosis 自己催眠 self-suggestion 自己暗示

⑤ Global Language World is Word, not Sword.

o p e >	hole	pupil	eye
	hope	opera/works	see

Keep your eyes open and never dope 'em to drop your hope.

眼を開いて、曇らさず、希望を失わないようにしたい。

Hear by ear, study in earnest, and learn by heart, you can earn a true and honest life.

耳で聞いて、まじめに研究し、心で修得すれば、真に意義のある人生を過ごすことができる。

Cf. 「三位一体」 The trinity of goodwill, diligence and ingenuity will solve any problem.

Name of the game > the essence of business > the knack of it 神髄・コツ
文章を読んで、すぐに分かる場合は、そのままでいいけれど、何度読み直しても分からない場合にはじめて、文法を利用すれば、その便利さに感激する。

You just got to do the best job you can with the time you got.

○ 時間のある間に、できるだけまともな仕事をするしかないよ。(You had better do)

△ 持ってる時間で自分のできる最善の仕事をしなければならないだけだ。

最初にすべきは、述語動詞を見つける。《 動詞のすぐ前の名詞がその動詞の主語 》

get = give and take > g + e + t...

- ① (いいことは) あげる。give (して) もらう。take
② (いやなことは) やる。give される。take
1. I got a watch. 私は時計をもらった。 I took a watch.
2. I got happy. 私がしあわせになった。 I took happiness.
3. I got him a watch. 彼に時計をあげた。 I gave him a watch.
4. I got him happy. 彼をしあわせにしてあげた。 I gave him happiness.
5. I got paid. 私は払ってもらった。 > hired; praised; promoted
6. I got kicked. 私は蹴られた。 > fired; scolded; disregarded
7. I got him to pay. 私は彼に払わせた。
8. I got him paid. 私は彼に払ってもらってあげた。
9. I got him to pay her. 私は彼に彼女に払わせてやった。
10. I got him paid by the company. 私は彼に会社から払ってもらってあげた。

(A) 再帰代名詞(主語と同じ人や物を示す目的語)が省略される場合に注意。

慣用(日常的に習慣使用)するので、自然に省略されるようになった。)

1. I got a watch. = I got myself a watch.
2. I got happy. = I got myself happy.
3. I got paid. = I got myself paid.
4. He got up. = He got himself up. 彼は起きた。
5. Get up! = Get yourself up! = You must get yourself up. 起きなさい。
6. He walks to school. = He walks himself to school. 学校に歩いて行く。

(B) 省略しない場合は。

1. He prides himself. 彼は自慢する。
2. She killed herself. 彼女は自殺した。

次の①②③も省略されることが多い。省略しない場合は、不定詞、現在分詞、関係詞の意味が強まって、文法的、形式的な意味合いが含まれる。

- ① 不定詞 to be(また、原形不定詞の be)、
② 現在分詞の being(having been)、
③ 関係詞節の主語+述語(which is, which are, who is, who are, 過去形、過去完了形も同様)

主語と目的語が同じ場合(=再帰代名詞が省略されている場合。) S V O C [S = 0]

He got loved. > ① He got to be loved. > ② He got being loved.

主語と目的語が異なる場合。 S V O C [S ≠ 0]

He got a dog loved. > ① He got a dog to be loved. > ② He got a dog being loved.
> ③ He got a dog which was loved.

[review 1]

He got loved. > He got himself loved. > He got himself to be loved.

> He got himself being loved. > He got himself who was loved.

日常会話は慣用・誤用・CONTAMINATION 混乱・誤用がまかり通る。聞き違い、思い違いの積み重ね。

憎まれっ子世にはばかる？はびこる？ 幅かる。蔓延る。 ≠ 憚る

【II】① a book of Tom

② Tom's book

③ a book of Tom's

トムが本（文語）

トムの本（口語）

トム所有の本（慣用語）

「温故知新 → 故きを温めて、新しきを知る」 語順が逆になる。 所信 ⇔ 信ずる所

a book of Tom → a book Tom has → a book of Tom's → Tom's book

トムが（所有の）本 → トムが持つてゐる本 → トムの（所有の）本 → トムの本

cf. 《contamination 混交・混成》 the book that Tom has → the book Tom's → Tom's book

[detail] a book of Tom's = a book which is Tom's book

トムの本である本（同格）

a book of Tom = a book which To has.

トムが持っている本（所有）

cf. I couldn't **help but laugh** at her joke.

→ ①+②

(= ① I couldn't **help laughing** at her joke.)

(= ② I couldn't **but laugh** at her joke.) 彼女の冗談に笑はずにおれなかった。

Cf. has gone > 's gone > is gone

Mary has gone to America.

Mary's gone to America.

Mary is gone to America.

Cf. He has made a mistake.

He's made a mistake.

He's mistaken.

【GRAMMAR 1】 「that」はほとんど全ての品詞の代用品。

11

名詞、代名詞、副詞、形容詞、関係詞、接続詞、間投詞、冠詞、（動詞、前置詞）

That book that you got me was so funny that I could not help laughing reading that.

（君が私にくれた）その本はあまりにおもしろかったので、それを読んで、笑うのをこらえられなかった。

Cf. Drink some water. 水を飲みなさい。

Water the flowers. 花に水をやりなさい。

I work him. 彼を働かせる。

I work on it. (=I work myself on it.) それに取り組んでいる (ついて働いている)。

【GRAMMAR 2】 語・句・節・文 word・phrase・clause・sentence 15

語 something 何か (あるもの)
句 something you want to do 何かしたいこと
節 When you find something you want to do, 何かしたいことをみつけたら、
文 When you find something you want to do, you had better not give up on it.
何かしたいことを見つけたら、あきらめないようにしたほうがいいよ。

【GRAMMAR 3】 主語・目的語・補語 S(subject) O(object) C(complement) 16

S V O I made a cake. ケーキを作った。
S V O I made a lawyer. (S V O C = I made myself a lawyer.)
医師になった。 自分を医師にした。
S V O C I made my son a lawyer. 息子を医師にした。
S V O C I made my son nice and gentle. すてきで、やさしい息子にした。

【GRAMMAR 4】 加算・不可算名詞 20

Do you have time? 時間がありますか? (If so, can we have a drink?)
Do you have the time? (= What time do you have? = What time is it now?)
今、何時ですか?
Did you have a good time? 楽しかったですか?

[NOTE] 動詞に s が付く時は? Ss V. ⇔ S Vs. Boys play. A boy plays.

1. The watch that you are buying is nice. (君が) 買う時計は良い。
2. The watches that she is buying are nice. (彼女が) 買う時計は良い。
3. Heaven helps those who help themselves. (help と helps の 形に注意)
天は自ら助くる者を助く。(=天は自分自身を助ける人々を助ける。)
4. We all have God to help **us**, but first we have got to help **ourselves**.
我々はみな、我々を助ける神を持っているが、先ず、我々自身を助けなければならない。

【GRAMMAR 5】 数と数詞 Number & Numeral or / nor の場合に注意 25

- ①-1 You or she is wrong. (= She or you are wrong.) あなたか彼女のどちらかがまちがってる。
①-2 Neither she nor they are wrong. (= Neither they nor she is wrong.)
彼女も彼等も両方ともが、まちがってる。
②-1 The number of the students is 1,234 in all. 学生数は全部で1,234名です。
②-2 A number of students are against the war. 若干名 (=多数) の学生は反対です。
(= a small number of ~; a large number of ~; a lot of ~)

【GRAMMAR 6】 格（主格・所有格・目的格） he his him

29

① He has a good history book. 良い歴史の本を持っている。

② This is his book. これは彼の本です。

③ It made him integrated and impartial.

(その本を読んで) 彼は、知恵と公平な心を持つことができた。

【GRAMMAR 7】 動詞変化と時制の流れ 'll → s → d → t → n

32

未来 現在 過去 完了

He'll call. He calls. He called. He has called. (has kept/ has written)

Cf. He'll call. (He will)

He calls. (=He does call.)

He'd play. (He would)

He played. (He did play)

【GRAMMAR 8】 god? dog? 逆転思考 reversible 水平思考 lateral thinking

39

cf. reversible jacket reversible mind

【GRAMMAR 9】 Read Backward (文語と口語)

41

[TIP] 能動態と受動態 positive & negative;**active & passive**

42

casual & formal

unofficial & official

cf. I am supposed to work here. = I am told to work here. & I must work here.

【GRAMMAR 10】 助動詞の do? 動詞の do? & 各種構文

45

仮定法における「助動詞・動詞」のバランス

If Sara loved him, he would be happy. もし、セーラが愛していたら、彼はシアワセだろうに。

(= If Sara did love him, he would be happy.) もし、彼を愛しているならば、 " 。

条件法 If Sara loves him, he will be happy. もし、愛したら、彼はシアワセだろう。

直説法 Because Sara loves him, he is happy. 愛してるので、彼はシアワセだ。

前置詞構文 With Sara loving him, he is happy. 愛してるセーラをもって、彼はシアワセだ。

分詞構文 Sara loving him, he is happy. セーラが愛してて、彼はシアワセだ。

= Having her love him, ----.

= (Being) Loved by her, ----- .

cf. Sarah = Sara = Sally; Mary = Molly; o ⇔ a; r ⇔ l

Cf1. 分詞の節も、どこにでも置くことができる。少しずつニュアンスが異なるだけ。

The man plays the violin gracefully and loves nature true.

① The man plays the violin gracefully, loving nature true.② The man, loving nature true, plays the violin gracefully.③ Loving nature true, the man plays the violin gracefully.

Cf2. Because he loves nature true, ----. (Since, If, Though, ----.)

【GRAMMAR 11】 「修飾は全て後ろから——— 語・句・節」 52

「注」 1語の時のみ、前に置かれることがある。 red cars (日常); cars red (正式)
語 a watch good. (= a good watch.) いい時計
句 a watch keeping good time. 正確な時計
節 a watch which keeps good time. 正確な時間を刻むところの時計 (関係代名詞＝主格)
節 the watch (which/that) I saw yesterday. 昨日見た時計 (〃 =目的格)

【GRAMMAR 12】 不定詞 (品詞不定の語) infinitive > nameless 56

それ自体では、品詞はない。前後の語句によって、その品詞が決まる。

名詞用法 I want to keep my promise. 約束を守りたい。
形容詞用法 I want a watch to keep good time. 正確な時計がほしい。
副詞 I want a watch good enough to keep good time. 時間が正確ならどんな時計でもいい。
Cf. 「品詞」 part of speech

Cf. I have something to tell you.

I have to tell you something.

I have to do some work.

I have some work to do.

I have a plane to catch.

I have to catch a plane.

I have a man to wait for.

I have to wait for a man.

I have a man wait (for Mary).

【GRAMMAR 13】 関係詞 v + v = w (who, which, what, when, where, how) 58

関係詞は二つの文を結ぶための接続詞の一種なので、必ず、二つの動詞が必要。

①-2 This is the watch. That neither gains nor loses.

これがその時計です。それは進みも遅れもしません。

①-2 This is the watch and it neither gains and loses.

①-3 This is the watch that neither gains nor loses.

これがその進みも遅れもしない時計です。

①-4 This is a watch which neither gains nor loses.

これは進みも遅れもしない時計です。

②-1 Here is a book. Its author is unknown. 本があります。その著者は不明です。

②-2 Here is a book and its author is unknown. 本がありますが、その著者は不明です。

②-3 Here is a book the author of which is unknown. ここにその著者が不明な本があります。

②-4 Here is a book whose author is unknown. ここに著者が不明な本があります。

REVIEW

【基本作業】 代名詞はほとんどの場合は訳出しない。

- ① 主語と述語動詞 He came home. 帰ってきた。
② 主節の主語と述語動詞 He came home crying. 泣きながら戻って来た。
③ 「,」が2つの文(=挿入句・節)は、無視して②の作業をする。その後、文意に合わせて訳出する。(付け足し、補足説明なので。)

Peter, **from America**, is studying Japanese very hard.

ピーターは[**アメリカから来ていて、**] 熱心に日本語を勉強しています。

Peter is studying Japanese very hard **and he is from America**.

- ④ 「,」が1つの場合は、「,」の前まで意味を取って、次の節の訳をする。

When Peter came home, I was watching TV. ピーターが帰って来た**時に、** (漢字)

I was watching TV when Peter came back. ピーターが帰って来た**とき、** (ひらがな)

[練習] 文法的に比較するために、次の各文の違いを比較検討してください。

1. Peter graduated from that school. He is very efficient and competent. 2つの文
ピーターはあの学校を卒業しました。とても有能です。
2. Peter, efficient and competent, graduated from that school. 分詞構文
有能なピーターはあの学校を卒業しました。
3. Peter, being efficient and competent, graduated from that school. 分詞構文
有能であるピーターは、————。
4. Peter, who is efficient and competent, graduated from that school. 関係詞構文
ピーターは有能であって、————。
5. Peter who is efficient and competent graduated from that school. 関係詞構文
有能であるところのピーターは、————。
6. Peter who graduated that school is efficient and competent.
あの学校を卒業したピーターは有能です。
7. Peter, who graduated that school, is efficient and competent.
ピーターはあの学校を卒業していて、有能です。

He is the true winner.

仮定法・婉曲表現の問題は、900点以上の人でも、

理解できないけれど、丸暗記で正解選択しています。

回答はできるけれども、自分で自由に使用はできません。

下の問題をチェックしてみてください。

このサイトは非常に有用だと思います。

http://www.englishclub.com/grammar/verbs-subjunctive_quiz.htm

<http://www.englishclub.com/grammar/verbs-subjunctive.htm>

Subjunctive Quiz

- 1 It is essential that she at the meeting.
- 2 If I you I would call her tonight.
- 3 It is necessary that every student a uniform.
- 4 I hope that he his homework on time.
- 5 The doctors recommended that she a holiday.
- 6 The boss asks that you early for your first day of work.
- 7 If you feeling better we would go.
- 8 It is important that we home as soon as we arrive.
- 9 The landlord requested that John out of the apartment.
- 10 We want the windows washed before Friday.

Subjunctive

The subjunctive is a special, relatively rare verb form in English.

Structure of the Subjunctive

The structure of the subjunctive is extremely simple. For all verbs except the past tense of **be**, the subjunctive is the same as the bare infinitive (infinitive without "to"):

be (past)	be (present)	all other verbs (past & present)
I were you were he, she, it were we were you were they were	I be you be he, she, it be we be you be they be	I work you work he, she, it work we work you work they work

The subjunctive does not change according to person (I, you, he etc).

Use of the Subjunctive

We use subjunctives mainly when talking about events that are not certain to happen. For example, we use the subjunctive when talking about events that somebody:

- wants to happen
- anticipates will happen
- imagines happening

Look at these examples:

- The President requests that you **be** present at the meeting.
- It is vital that you **be** present at the meeting.
- If you **were** at the meeting, the President would be happy.

The subjunctive is typically used after two structures:

- **the verbs:** ask, command, demand, insist, propose, recommend, request, suggest + **that**
- **the expressions:** it is desirable, essential, important, necessary, vital + **that**

Here are some examples with the subjunctive:

- The manager insists that the car park **be** locked at night.
- The board of directors recommended that he **join** the company.
- It is essential that we **vote** as soon as possible.
- It was necessary that every student **submit** his essay by the weekend.

Notice that in these structures the subjunctive is always the same. It does not matter whether the sentence is past or present. Look at these examples:

- **Present:** The President requests that they **stop** the occupation.
- **Past:** The President requested that they **stop** the occupation.
- **Present:** It is essential that she **be** present.
- **Past:** It was essential that she **be** present.

The use of the subjunctive as above is more common in American English than in English, where **should + infinitive** is often used:

- The manager insists that the car park **should be** locked at night.
- It was essential that we **should vote** as soon as possible.

We usually use the subjunctive **were** instead of "was" after **if** (and other words with similar meaning). Look at these sentences:

- If I **were** you, I would ask her.
- Suppose she **were** here. What would you say?

Why do we say "I were", "he were"?

We sometimes hear things like "if **I were** you, I would go" or "if **he were** here, he would tell you". Normally, the past tense of the verb "to be" is: I was, he was. But the *if I were you* structure does not use the past simple tense of the verb "to be". It uses the **past subjunctive** of the verb "to be". In the following examples, you can see that we often use the subjunctive form **were** instead of "was" after:

- **if**
- **as if**
- **wish**
- **suppose**

Formal	Informal
(The were form is correct at all times.)	(The was form is possible in informal, familiar conversation.)
If I were younger, I would go.	If I was younger, I would go.
If he weren't so mean, he would buy one for me.	If he wasn't so mean, he would buy one for me.
I wish I weren't so slow!	I wish I wasn't so slow!
I wish it were longer.	I wish it was longer.
It's not as if I were ugly.	It's not as if I was ugly.
She acts as if she were Queen.	She acts as if she was Queen.
If I were you, I should tell her.	Note: We do not normally say "if I was you", even in familiar conversation.

Some fixed expressions use the subjunctive. Here are some examples:

- **Long *live* the King!**
- **God *bless* America!**
- **Heaven *forbid*!**
- ***Be that as it may*, he still wants to see her.**

- **Come what may**, I will never forget you.
- We are all citizens of the world, **as it were**.

Read backward and you can see things more clearly.

formal → casual

the son of God → God's son

---- did not study

---- did study

--- does not study

--- does study

Be flexible, compatible, reversible, lateral!

more fast fast-er

most fast fast-est

-oldest, eld-est o ⇔ e gray / grey a → e

OK / all correct

on the way / away

on board / aboard

That "that" can be noun, pronoun, adjective, adverb, verb, conjunction, relative pronoun, , , , ,

*こと (koto 事) = t(o)--- *の---ing *もの (物・者) =(thing)

I like to build buildings.

I like building buildings.

thing (こと・物・者)

This is the book which I've wanted.

----- the thing which ---

----- that which ----

----- that which ----

----- what ----

You are the most beautiful thing (that) I have ever seen.

--物

readings writings happenings

buildings

You must be Wise if you want to understand 'relative pronouns'.

S V and S' V.

W+V = W

I met a boy and he was very nice.

I met a boy who was very nice.

Mary is important to me and Grace is important to him.

---- is that important to --- and ---- is that important to----

---- is that to---- and --- is that to----.

---- is to ----- what --- is to ---

Grateful Mind makes Graceful Carriage.

< Don't fail yourself. >

A face with faith will in any phase never fail anyone, yourself included.

まごころのこもった表情は、いかなるときも、人を傷つけない。もちろん、自分自身をも。

外 面 は	内 心 は	夜 叉 の ご と し	わ ざ わ い は	口 よ り 出 で て	身 を 破 る	さ い わ い は	心 よ り 出 で て	身 を 飾 る
-------------	-------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	-----------------------	----------------------------	------------------

26 perfume

23 blind

24 fool

15 mouth

7 wolf wool sheep tree and fryits

7 pearl

25 somin

26 spirit

16 miwosutete

22 the dead the living kami

12 bent reed weiren youji da

24 word pass away

7 house builders sajouno

Luke 23 hands

あなたの英語こてん誤典

QUESTIONS??

1. She kissed his cheek. 単にキスをした。
○ She kissed him (o) (t) cheek. (心を込めて) 彼の頬にキスをした。
2. Have you had the experience of eating natto?
○ Have you ever (h) natto? 納豆を食べたことがありますか。
3. I am attending at the meeting.
○ I am (a) the meeting. 会議に出席します。
4. We drank freely in the bar. 気楽に思うままに、飲んだ。 But paid for it.
○ We drank (f) in the bar. ただの酒を飲んだ。 And paid no money.
5. Lend me your telephone.
○ Let me (u) your telephone. 電話を貸してください。
6. Mr. Brown went to hospital to inquire after his wife. 妻を見舞いに入院した。
○ Mr. Brown went to (t) hospital to inquire after his wife. 妻を見舞いに病院に行った。
7. She took a vacation[holiday] yesterday because of illness. 休日・祝日
○ She took a (d) (o) yesterday because of illness. 1日休みをとった。
8. He had lunch. 昼食を食べた。
○ He had () lunch. 少し奮発したランチを食べた。
9. Let's go and play in the Ginza after work.
○ Let's go (t) the Ginza after work. 仕事の後、銀座に遊びに行こう。

10. He is a cool man. かつこいい
☐ He is a (h) man. 彼は冷たい人だ。
11. I celebrated his promotion. 祝賀会
☐ I (c) him on his promotion. 昇進のお祝いを述べた。Congratulations!
12. Japan is a narrow country. 細長い / not wide but can be big.
☐ Japan is a (s) country. 狭い国だ。
13. He is easy to be pleased. Grammatically correct
☐ He is easy to (p). 彼はおだてに乗り易い。
14. I had a nice travel. 大規模な旅行 Gulliver's Travels?
☐ I had a nice (t). ちょっとした楽しい旅をした。

あなたの英語こてん誤典

from imidas 1999

CORRECT ANSWERS!!

1. △ She kissed his cheek.
☐ She kissed him on the cheek.
2. △ Have you had the experience of eating natto?
☐ Have you ever had natto?
3. × I am attending at the meeting. 前置詞は不要。
☐ I am attending the meeting.
4. △ We drank freely in the bar.
☐ We drank free in the bar.
5. △ Lend me your telephone.
☐ Let me use your telephone.
6. △ Mr. Brown went to hospital to inquire after his wife.
☐ Mr. Brown went to the hospital to inquire after his wife.
7. △ She took a vacation[holiday] yesterday because of illness.
☐ She took a day off yesterday because of illness. (a day off duty)
8. ○ He had lunch.
☐ He had a lunch.
9. △ Let's go and play in the Ginza after work. 銀座は遊興する場所。
☐ Let's go to the Ginza after work.

10. ☹ He is a cool man.
 ○ He is a hard man.
11. ☹ I celebrated his promotion.
 ○ I congratulated him on his promotion.
12. ☹ Japan is a narrow country.
 ○ Japan is a small country.
13. △ He is easy to be pleased.
 ○ He is (a man) easy (for us) to please.
14. ☹ I had a nice travel.
 ○ I had a nice trip.

QUESTIONS??

15. Today's climate is good. 気候 (状況・環境)
 ○ The (w) is good today. 今日はいい天気だ。
16. He knew her marriage. 知っていた。
 ○ He (h) (o) her marriage. 彼女の結婚を知った。
17. You had better not to go.
 ○ You had better not (g). 行かないほうがためだ。
18. They became to be tired. become = be = get
 ○ They (b) tired. 疲れた。
19. He is anxious for his health. 切望している。
 ○ He is anxious (a) his health. 健康のことが気がかりだ。
20. This is the fifth time for me to go to America on business. これから行く。
 (= This is the fifth time I go to America on business.)
 ○ This is the fifth time I (h) (b) to America on business.
 アメリカに出張は5回目です。(日本に戻っている。)
21. I found out the notebook I lost. やつとのことで見つけ出した。
 ○ I (f) the notebook I lost. 無くした手帳が(思いがけず)出てきた。
22. I happened to see him in Tokyo at Shinjuku.
 ○ I happened to see him (a) Shinjuku (i) Tokyo. 東京の新宿で、彼を見かけた。
23. Let's discuss about that.
 ○ Let's (d) that. それを議論しよう。
24. He lives by the station.

- He lives (n) the station. 駅の近くに住んでいる。
25. Mr.K is a large buyer.
○ Mr.K is a (b) buyer. Kさんは大物のバイヤーです。
26. Have you done it yet?
○ Have you (a) done it? もうしたんですか。(すごい!)
27. I belong to the Import Section.
○ I (w) at the Import Section. 輸入課で働いています。
28. I go to my company at nine o'clock.
○ I go to the (o) at nine o'clock. 9時に会社に行く。

CORRECT ANSWERS!!

15. ㊤ Today's climate is good.
○ The weather is good today.
16. ㊤ He knew her marriage.
○ He heard of her marriage.
17. ㊤ You had better not to go.
○ **You had better not go.**
18. ㊤ They became to be tired.
○ They became tired.
19. ㊤ He is anxious for his health.
○ He is anxious about his health.
20. ㊤ This is the fifth time for me to go to America on business.
○ **This is the fifth time I have been to America on business.**
21. ㊤ I found out the notebook I lost.
○ I found the notebook I lost.
22. ㊤ I happened to see him in Tokyo at Shinjuku.
○ I happened to see him at Shinjuku in Tokyo.
23. ㊤㊤㊤ Let's discuss about that.
○ **Let's discuss that.**
24. ㊤ He lives by the station.
○ He lives near the station.

25. ☒ Mr.K is a large buyer.
☐ Mr.K is a big buyer.
26. ☒ Have you done it yet?
☐ Have you already done it?
27. ☒ I belong to the Import Section.
☐ I work at the Import Section.
28. ☒ I go to my company at nine o'clock.
☐ I go to the office at nine o'clock.

QUESTIONS??

29. This shop does good after services.
○ This shop (p) good after services. この店はアフターサービスがいい。
30. I'll call a hire.
○ I'll call a (t). ハイヤーを呼びましょう。
31. He was wounded in the traffic accident.
○ He was (i) in the traffic accident. 交通事故で怪我をした。
32. I was scolded by the boss.
○ I was (b)(o) by the boss. 大目玉を食らった。
33. I graduated that school.
○ I graduated (f) that school. その学校を出た。
34. I was opposite to his plan.
○ I was (o) to his plan. (= My plan was opposite to his.)
彼の案に反対だった。
- I opposed his plan.
35. He is a neurose.
○ He had a (n)(b). (=a neurosis) ノイローゼになった。
36. I retired from the job for personal reasons.
○ I (q) the job for personal reasons. 一身上の都合で退社した。

CORRECT ANSWERS!!

29. ㊤ This shop does good after services.
.....
..... **○ This shop provides good after services.**
30. ㊤ I'll call a hire.
.....
..... **○ I'll call a taxi.**
31. ㊤ He was wounded in the traffic accident.
.....
..... **○ He was injured in the traffic accident.**
32. ㊤ I was scolded by the boss.
.....
..... **○ I was bawled out by the boss.**
33. ㊤ I graduated that school.
.....
..... **○ I graduated from that school.**
34. ㊤㊤㊤ I was opposite to his plan.
.....
..... **○ I was opposed to his plan. (= My plan was opposite to his.)**
35. ㊤ He is a neurose.
.....
..... **○ He had a nervous breakdown. (=a neurosis)**
36. ㊤ I retired from the job for personal reasons.
.....
..... **○ I quit the job for personal reasons.**

What's goin' on? You're kiddin' me? Someone, help me!

Je suis Jesus.

I am Amen. I have Got to help myself.

TRINITY LEARNING 佛 = 人 + 弗 = 弗 man? = dollar man? ぐすのき書院 ローレル ©

我 = 神 = 唯我独尊

Mayday!

[http:// www.gion1224. jp](http://www.gion1224.jp)

Venez m'aider! (Come help me!)

Preserving the Environment

Philosophical discussions of environmental ethics generally take one of two forms: 環境倫理について純粋に学問的に議論する場合、概ね、二つの形態のうち、いずれかをとるものである。

Either the argument is that the environment must be protected in order to serve the needs of human beings; or it is argued that the environment itself has “intrinsic value” that must be respected.

そのうちのひとつは、環境というものは人間の利益に資するために保護されるべきものであるというものである。いまひとつは、環境そのものが尊重されるべき「それ自身の価値」を有するというものである。

Thomas.E.Hill, Jr., takes an interestingly different approach: He asks, *what kind of people would we be* if we destroyed the natural environment?

トマス＝ヒルは興味深い働きかけを試みている、すなわち、もし自然環境を破壊するとすれば、「我々は一体、どのような人間になるのだろうか」という疑問を投げかけているのである。

A professor of philosophy at the University of North Carolina at Chapel Hill, Thomas E.Hill, Jr., is the author of *Autonomy and Self-Respect*.

彼は、「自制と自尊」の著者である。

from “Ideals of Human Excellence and Preserving Natural Resource” by Thomas E.Hill, Jr. 人間の優越と天然資源の保存についての理想の姿

[1]

A wealthy eccentric bought a house in a neighborhood I know.

ある裕福な変わり者が近所の家を買った。

The house was surrounded by a beautiful display of grass, plants, and flowers, and it was shaded by a huge old avocado tree.

その家は美しい芝生や草花に囲まれていて、さらに大きなアボカドの木が木陰を作っていた。

But the grass required cutting, the flowers needed tending, and the man wanted more sun.

しかし、芝生は刈ったり、草花は手入れをしなければならないし、その上、その人は、木陰よりも、太陽の光をほしがった。

So he cut the whole lot down and covered the yard with asphalt. After all it was his property and he was not fond of plants.

それで、それらをみんな切り倒して処分してしまって、庭をアスファルトで舗装してしまった。何と言っても、その人の所有物だし、植物が好きではなかったのだ。

It was a small operation, but it reminded me of the strip mining of large sections of the Appalachians.

それは小さな出来事だったが、アパラチア山脈一帯の大規模な鉱脈の発掘のことが思い出された。

In both cases, of course, there were reasons for the destruction, and property rights could be cited as justification.

勿論、どちらの場合も、破壊のための理由はあったし、所有権がすべてを解決するだろう。

But I could not help but wonder, "What sort of person would do a thing like that?"

しかし、「そんなことをする人達は一体全体、どのような人達なのだろうか」と疑問を感じざるを得なかった。

---- [The rest is omitted.] -----

文法事項の混乱（日常茶飯・慣用的）contamination

I could not help wondering. + I could not but wonder.

=I could not help but wonder.

[II]

-----[omitted.] -----

[III]

What sort of person, then, would cover his garden with asphalt, strip mine a wooded mountain, or level an irreplaceable redwood grove?

それでは、アスファルトで庭を舗装したり、鉱脈を掘り尽くして、木々を切り倒したり、再生不可能な貴重なアメリカ杉の森を切り倒してしまうのはどのような類の人達なのだろうか？

Two sorts of answers, though initially appealing, must be ruled out.

前にも述べたけれども、答えのうちの二つは除外すべきである。

The first is that persons who would destroy the environment in these ways are either

shortsighted, underestimating the harm they do, or else are too little concerned for the well-being of other people.

最初の一つは、そんな方法で環境を破壊するような人達は、目先の利益ばかり求めて、自分達の行っている害悪を軽くみなしているか、或いは、他の人々への配慮などを全くする気がないかである。

Perhaps too they have insufficient regard for animal life. But these considerations have been set aside in order to refine the controversy.

おそらく、また、動物に対しても全く無関心なのであろう。しかし、このような考察態度は、当該の議論をより高度なものにするために、ずっと等閑にされてきたのである。

Another tempting response might be that we count it a moral virtue, or at least a human ideal, to love nature.

もうひとつのおもしろい反応はといえば、自然を愛するという、道徳観、少なくとも人間の理想という点から、測ろうとするものであろう。

Those who value the environment only for its utility must not really love nature and so in this way fall short of an ideal.

環境を有用性からしか測ろうとしない人達は、それほどには自然を愛することはないし、したがって、この点から見て、理想などについて思いを馳せることもない存在になるのである。

But such an answer is hardly satisfying in the present context, for what is at issue is *why* we feel moral discomfort at the activities of those who admittedly value nature only for its utility.

しかし、このような答えは、現今の問題に対して、ほとんど満足のいくものではない。なぜならば、現在問題になっているのは、自然を有用性の面のみで評価する人達の好意に対して、なぜ私達が心穏やかならざるものを感じざるを得ないのか？」という点にあるからである。

That it is ideal to care for nonsentient nature beyond its possible use is really just another way of expressing the general point which is under controversy.

「有用性があるかどうかなどは全く抜きにして、感情を有しない自然を大切に思うことが、理想的である」ということは現在議論になっている中心点を説明するもう一つの方法に過ぎないのである。

What is needed is some way of showing that this ideal is connected with other virtues, or human excellences, not in question.

必要なのはこの理想がほかの美德、すなわち、人間の崇高性と関連していることを示すための何らかの方法である。

To do so is difficult and my suggestions, accordingly, will be tentative and subject to qualification.

それはむづかしいことであって、私の次の提案も、絶対的なものではなく、実験吟味されなければならないものである。

The main idea is that, though indifference to nonsentient nature does not necessarily

reflect the absence of virtues, it often signals the absence of certain traits which we want to encourage because they are, in most cases, a natural basis for the development of certain virtues.

すなわち、こういうことである。感情を有しない自然に対する無関心が美德の欠如を意味するものではなく、そのような無関心は、しばしば、私達が大切にしたいある種の「もの」の欠如を象徴するのであり、それは、それらの「もの」が多くの場合、ある種の美德の発展生長の基盤であるからである。

* 泉原「注」 Certain traits = {表面的な美德ではなく、根源的な核心とも言える「ココロ」原始の動物、生物としての心態？}

It is often thought, for example, that those who would destroy the natural environment must lack a proper appreciation of their place in the natural order, and so must either be ignorant or have too little humility.

たとえば、よく次のように考えられている。自然環境を破壊するような人達は自然の摂理における自分達の位置に対する適切な認識が欠如しているに違いない。だから、その人達は無知であるか、あるいは謙虚な心情をほとんど有しないと。

Though I would argue that this is not necessarily so, I suggest that, given certain plausible empirical assumptions, their attitude may well be rooted in ignorance, a narrow perspective, inability to see things as important apart from themselves and the limited groups they associate with, or reluctance to accept themselves as natural beings.

こういった考え方は、必ずしも適切ではないと断言したいが、次のように提起することにした。すなわち、「もっとも正しそうに見える経験的な仮定を与えられた場合に限って、その人達の行為は確かに、無知や狭い見識、自分達に関係無い事物に対して評価する能力の欠如、交流世界の狭さ、或いは、自分たちも自然界の一つの存在であることを受け入れようとしたくない心態に根付いて発生するものであろう。」

「注」上述の英文は脈絡が不明瞭。主文の動詞、接続詞と、従節の動詞などが、相応していない。原文の欠落か誤植があるかもしれません。「泉原」

Overcoming these deficiencies will not guarantee a proper moral humility, but for most of us it is probably an important psychological preliminary.

これらの欠点を克服しても理想的な謙譲の美德観の確立が期待されるとは限らないが、私達の多くにとっては、大切な精神的支え（備え）にはなるだろう。 ----「気休めにはなる」

Later I suggest, more briefly, that indifference to nonsentient nature typically reveals absence of either aesthetic sensibility or a disposition to cherish what has enriched one's life and that these, though not themselves moral virtues, are a natural basis for appreciation of the good in others and gratitude.

しかし、あとで、もっと簡潔に提起することにしたいことは、すなわち、感情を有しない自然への無関心が審美感性あるいは人生を豊かなものにしてきてくれたものを大切にしたいという心情の欠如を如実にそのままに、露見し、さらにこれらは、自身が道徳美徳そのものではなくても、他者への利益であり、自身の感謝をはっきり認識し得るための基盤であることである。

these = sensibility and disposition

*文法的事項を無視している文が多い。

suggest ---- that 主語+(should) reveal ----, and that 主語+(should) be

Sister Act ---- Back in the Habit

: Hey, hey, hey, hey, why aren't you guys ready?

: Well, you saw that other choir.

: We can't win against them, Mary Clarence.

: Yo, he's right. If we go out there, we'll be laughed off the stage.

: And I didn't come this far to be embarrassed.

: And they sang our number, and they sang it much better.

: We're not goin' on, we're goin' home.

: So because you think they sang it better. You're already to leave, because you got scared. You're gonna running for the rest of your life. Oh, yah. That's your M.O. See, that's how y'all operate. "Ooh, somethin' new. Better run away" Forget about all the people who buseted their butt to get you here 'cause they believed in you. Let me remind you of somethin', okay? If you wanna go somewhere, and you wanna be somebody, you better wake up and pay attention, because if everytime somethin' scary comes up, you decide to run, y'all are gonna be runnin' for the rest of your lives. Damn.

: You guys, she is right.

: Yeah, and if we gonna do this, we gotta be slammin'. You know what I'm saying.

＜ 離婚している母親が恋人に、娘の家出を緊急連絡する場面 ＞
短文と句だけで、会話。 and, but などを使用して、緊迫感を伝える。

For Love of the Game

A: Chapel.

B: It's Jane. I got your number from the front office. I hope that it's okay.

A: No, no, that's all right. Don't worry about it. What's wrong?

B: Something's happened. It's my daughter. She ran away.

A: Your daughter?

B: I'll tell you. I don't have time now. But she's there in Boston. Her father lives there. Oh, God, we had a fight, and she---

A: All right. Jane, just slow down. All right? Just slow down.

B: She climbed down the fire escape and went to Penn station and got on a train to go to her father, but he's not there.

A: What's the adress?

B: 8245 Clackton

A: What—what's her name?

B: Freedom.

A: Freedom?

B: Scared you, didn't I? Heather. It's Heather.

釈迦(- 486 BC) 孔子(551-479 BC) 顔回 Socrates (470-399 BC)
John the Baptist (洗礼者ヨハネ) Jesus (4 BC-AD 29) 達磨 慧可
吉田松蔭 (1830-1859)

God = Goodwill = True Conscience 公平な心と客観的智慧を柱とする良心
the Golden Rule

Do for others what you want them to do for you. (MATTHEW 7)

True Happiness

Happy are those who are merciful to others:

God will be merciful to them.

(The Sermon on the Mount / MATTHEW 5)

Serve the Rest and Be Great

Jesus called them together and said, "You know that the rulers of the

heathen have power over them, and the leaders have complete authority. This, however, is not the way it shall be among you. If one of you wants to be great, he must be the servant of the rest. (MATTHEW 20) *

heath ヒース、エリカ * heathen ヒースの野に住む野蠻人

おのれの 欲せざる 処を
人に 施すこと なかれ

情けは 人の 為ならず
かけ得る をのが
身の幸に 謝すべかり

Jesus warns against the Teachers of the Law and the Pharisees

They do everything so that people will see them.

They tie onto people's backs loads that are heavy and hard to carry, yet they aren't even willing to lift a finger to help them carry those loads. (MATTHEW 23)

Jesus Condemns Their Hypocrisy

— Grateful Mind, Graceful Carriage

How terrible for you, teachers of the Law and Pharisees! You hypocrites! You clean the outside of your cup and plate, while the inside is full of what you have gotten by violence and selfishness. In the same way, on the outside you appear good

茶碗など道具の扱い
と手前(手捌きなど)
物を捨つるは
我を捨つるなり

to everybody, but inside you are full of hypocrisy and sins.

(MATTHEW 23)

The Things That Makes a Person Unclean

The things that come out of the mouth come from the heart, and these are things that make a person ritually unclean. For from his heart come the evil ideas which lead him to kill, commit adultery, and do other immoral things; to rob, lie, and slander others. These are things that make a person unclean.

わがわいは 口より出でて 身を破る	さいわいは 心より出でて 身を守る
-------------------------	-------------------------

Word is stronger than Sword MATTHEW 4

After the baptism, the Spirit of God led Jesus into the desert to be tempted by the Devil. After spending forty days and nights without food, Jesus was hungry. Then the Devil came to him and said, "If you are the God's Son, order these stones to turn into bread." But Jesus answered, "The scripture says, 'Man cannot live on bread alone, but needs every word that God speaks.'"

Teaching about prayer 陰日向のある祈り MATTHEW 5

When you pray, do not be like the hypocrites! They love to stand up and pray in the houses of worship and on the street corners, so that everyone will see them. I assure you, they have already paid in full. (-----.) When you pray, do not use a lot of meaningless words, as the pagans do, who think that God will hear them because their prayers are long. Do not be like them. Your Father already knows what you need before you ask him. This, then, is how you should pray: 'Our Father in heaven: May your holy name be honored; may your kingdom come; may your will be done on earth as it is in heaven. Give us today the food we need.

Forgive us the wrongs we have done, as we forgive the wrongs that others have done to us.

Do not bring us to hard testing, but keep us safe from the Evil One.

Lost Sheep The son of Man came to save the lost.

See that you don't despise any of these little ones. Their angels in heaven, I tell you, are always in the presence of my Father in heaven. For the Son of Man came to save the lost. What do you think a man does who has one hundred sheep and one of them gets lost? He will leave the other ninety-nine grazing on the hillside and go and look for the lost sheep. When he finds it, I tell you, he feels far happier over this one sheep than over the ninety-nine that did not get lost. (MATTHEW 18)

♪ Amazing Grace ♪

Amazing Grace, how sweet that sound,
that saved a wretch like me,
I once was lost, but now I'm found,
(I) was blind, but now I see.

提婆達多・悪人正機
善人なおもて 往生す、
いわむや 悪人をや。
今生において、心身共に恵まれて、気楽に楽しく人生を送れる人ですら、極楽に生まれ変わることができのだから、心身共に恵まれず、今生で不幸で困難な人生を強いられる人ならば、必ず、極楽に往生できる。

Listening no hear

The Final Judgement MATTHEW 25

The people of all the nations will be gathered before the Son of Man. Then He will divide them into two groups, just as a shepherd separates the sheep from the goats. He will put the righteous people at his right and the others at his left.

縁なき衆生は度しがたし

These People, says God, honor me with their words, but their heart is really far away from me. MATTHEW 15

Look but not see, MATTHEW

This people will listen and listen, but not hear; they will look and look, but not see, because their minds are dull, and they have stopped up their ears and have closed their eyes. Other wise their eyes would see, their ears would hear, their mind would

understand, and they would turn to me, says God and I will heal them.

the Would-be Followers of Jesus

— no place to lie down and rest

A teacher of the Law came to him, “Teacher,” he said, “I am ready to go with you wherever you go.” Jesus answered him, “Foxes have holes, and birds have nests, but the Son of Man has no place to lie down and rest.”

(MATTHEW 8)

God and Possessions [MATTHEW 6]

No one can be a slave of two masters; he will have one and have the other; he will be loyal to one and despise the other. You cannot serve God and money.

I tell you that not even King Solomon with all his wealth had clothes as beautiful as one of these wild flowers. It is God who clothes the wild grass – grass that is here and gone tomorrow, burned up in the oven. Won't he be all the more sure to clothe you? (----.) Be concerned above everything else with what God requires of you.

MATTHEW 19

I repeat: it is much harder for a rich person to enter the kingdom of God than for a camel to go through the eye of a needle. When the disciples heard this, they were completely amazed. “Who, then, can be saved?” they asked.

人生到處 有青山
人生到處に 青山あり
飯を食らい、水を飲み、
肱を枕にして、陋巷に
あるも、楽しみは、亦、
その中にあり。
「論語」

Salt

理想と妥協の狭間

You are like salt for all mankind. But if salt loses its saltiness, there is no way to make it salty again. It has become worthless, so it is thrown out and people trample on it.

(MATTHEW 5)

秘すれば 花なり
秘せずんば 花なる
べからず
「世阿弥・風姿花伝」

Teaching about Revenge

--- Charity begins at home, but should not end there.

You have heard that it was said, "An eye for an eye, and a tooth for a tooth." But now I tell you: do not take revenge on someone who wrongs you. If anyone slaps you on the right cheek, let him slap your left cheek too.

You have heard that it was said, "Love your friends, hate your enemies." Why should God reward you if you love only the people who love you? But now I tell you: love your enemies and pray for those who persecute you, so that you may become the sons of your Father in heaven. For he makes his sun shine on bad and good people alike, and gives rain to those who do good and to those who do evil.

(MATTHEW 5)

* Why should God save you if you spend all you have on the people you love, and get deceived by them.

The Death of Jesus

MATTHEW 27

At noon the whole country was covered with darkness, which lasted for three hours. At about three o'clock, Jesus cried out with a loud shout, "Eli, Eli, lema, sabachthani?" which means, "My God, my God, why did you abandon me?"

誰により結ばれたりし此の身をば、
また誰が為にほどこき供えむ。

老

rain reign rein

r

rot 腐る
ripe 熟れる
rise 上る
raise 上げる

病

peak power

top

perfect **p** 完成する
practice 練習する

(自分に) むかつく qualm

口ゲンカする quarrel

質問する **q** uestion

奇妙な queer

やめる quit

breed 育て上げる
bring もたらす

brain **b**

脳 (生き生きとした水)

breathe 息をする (生き)

breath 息

birth 生

下って down
deteriorate differentiate

d drain

ドブ水 (死んだ水)

死ぬ die

死 death

死んで dead

生

grow 育つ・肥大する

ground 地

grain **g** 穀物

grave 墓

gravity 重力

grieve 悲しむ

r

q+p

d+b

g

死

(浅キ夢見ジ)
浅き夢見じ
(エヒモセズン)
酔いもせずん

(ケフ越エテ)
今日越えて

(ウキノ奥山)
有為の奥山

常ならむ
(常ナラム)

(我が世タレン)
我が世誰ぞ

(散リヌルヲ)
散りぬるを

(色ハニホヘド)
色は匂へど

イロハ歌

Row, row, row your boat, gently down the stream,
merrily, merrily, merrily, merrily, life is but a dream.

A : “I am the resurrection and the life,” sayeth the Lord.
“He that believeth in me, though he were dead, yet shall he live.
And who so believeth in me shall never die. I know that my redeemer liveth and
that he shall stand at the latter day upon the earth”

B : I commend to your keeping, sir, the soul of John Wayne.

[Yellow Ribbon]

♪ The Lone Prarie ♪

1. O bury me not on the lone prarie. These words came low and mounfully. From the pallid lips of a youth who lay, on his dying bed at the close of the day.
2. He wailed in pain till o'er his brow. Death's shadows fast were gathering now. He thought of his home and his loved ones nigh, as the cowboys gathered to see him die.
3. I've often wished to be laid when I died, in the little church on the green hillside. By my father's grave there let mine be. O bury me not on the lone prairie.

* pallid = pale 青ざめた、生気の無い

* nigh = near

* brow 額 = the brow of face

* the brow of the hill 崖・山の端

* the brow of the eyes=eyebrows 眉

* O! Bury me not in the deep, deep sea.

* Carry Me Back to the Lone Prairie.

More human than human
 Voice face faith
 Extreme right 過ぎたる
 To live in fear
 他山の石
 隣の芝生
 大敵を見て There is no little enemy
 It is too bad she won't live. But then again, who dars?
 That's irrational of you.
 It's irrational of you that ----.
 → ←

Cut cat
 But bat

I had in mind something more radical.
 Quite an experience to live in fear.
 In time in the rain
 布施無畏と願あきらめる明らかにする諦観 ignorance wise serpent dove ignorance
 Easy does it.
 I got it. I'll be there.

Blade Runner

Replicant: Quite an experience to live in fear, isn't it? That's what it is to be
 a slave. I've seen things you people wouldn't believe. ----. All those moments will
 be lost in time like tears in the rain. Time to die.
 Ropewalking, ropewalker, tightrope walker ropedancing
 The edge of a sword blade

楽は苦の種、苦は楽の種？ ---好き勝手なことばかりしていると馬鹿になる？

Well, I went along my merry way.
 And I never stopped to reason.

I should have known
 there'd be a price to pay someday, someday.

We'll take it a little slow. Just make it fun.

No, no, no. You'll just make it worse.

I'm not doing this for looks.

Was that there before? That wasn't there a minute ago, was it?

Good thinking. Let's go.

We can only communicate by thought. I can hear your thoughts.

Well, there he is.

Well, there it is.

We could get together in the Milky Way. But it's over. She blew me off.

A: Well, that's the best I can do.

B: That's mighty kind of you, sir.

C: We thank you kindly.

A: I'm proud to do it.
TRINITY LEARNING くすのき書院 ローレル ©

[http:// www.gion1224.jp](http://www.gion1224.jp) 114

A: Your permission, sir.

B: Granted.

A: We thank you, sir.

「けり」をつけよう。「カタ」をつけよう！ it

Don't pull rank on me. You've been green-eyed ever since she put on that yellow ribbon.

Pull your blouse. **Let's get over with it.**

I had the bastard in my sights. I know I did.

Read the directions and directly you'll be directed in the right direction.

An good turn deserves another.

You fail again, and the chamber won't be empty.

If you fail again, the chamber won't be empty.

and ⇔ if 接続詞の互換性

Just a sec. I'm marking it down right now. 'Cause I'm getting forgettable lately.

Move along. Move on. Come on. Go on. Go on home.

From now on.

Was he with you last night? ---- Early on, he was. Then, later on, he wasn't.

It's a placebo. It's water with a squirt of campohor to make it taste like a medicine.

Life-Earning Learning.

Learn earnest, and earn a true life.

真面目に学んで、実りある人生を生きる。

Night-night. Sleep tight. Don't let the bugs bite.

In you get. On you go. There you go. There you are.

You get in. You go on. You go there. You are there.

A mnemonics amnesia amnesty

記憶術 喪失 恩赦

Let bygones be bygone.

Remember. Nothing ever is as bad as it seems at first. You are getting it second by second, step by step, lifting up your heart. You know what I'm saying.

One-hand the ball.

Made you look. Get him lookin'.

Fast ball. On the cotner. On the inside.

On a roll. On a ball. The pot is about ready to boil over.

You're playing a fool, fighting the system.

You're ending up failing.

倒

置

疑問

祈願

仮定法

文法的習慣

強調のための場合

1. Such was the case. > The case was such.

1. Especially interesting is the sight of the old cathedral from the other side of the river. > The old cathedral ----- is especially interesting.

3. Only on one point are we agreed. > We are agreed only on one point.
4. So angry was he that he could not speak. > He was so angry that ----.
5. Blessed are the poor inspirited; for theirs is the kingdom of heaven.
> The poor inspirited are blessed; -----
6. Fools are we all that serve him. > We all are fools that serve him.
7. Never did I dream of such a happy result. > I never dreamed of -----
8. Thus, and only thus, will you succeed. > You will succeed thus. (thus = like this)

Keep it going.

You'll never get dry that way.

There's a moral to the story. A point of the story.

Get (on) outta here.

Go (on) home.

Still trying to butch up by chewing on your glasses.

He's doing a press conference. He's supposed to be here in half an hour.

対症療法 Allopathy ⇔ homeopathy (homoeopathy) 同症療法

just to suit the occasion その場ごかし

if that's what you gotta do. You gotta take the safety catch off.

Of out of oof from

No guts, no glory.

We almost got hit by a dunnop truck.

A die-hard conservative 死守する

Do it quietly and quickly.

The road to truth has many turns.

And what is it they had a shit load of?

Oh, Jesus, you almost gave me a heart attack.

Colds are catching. Catchy tune.

Catchy problem catchy word

After the slowdown there was a catch-up in production.

語呂 Sound well= be euphoneous

Sound stiff = Lack euphony

Game of rhyming; a pun; making puns

Do for others what you want them to do for you: this is the meaning of the Law of Moses
and of the teachings of the prophets.

The narrow gate

汝 艱
を 難
玉 に
に す

Diamonds are forever

they are all I need to please me,

they can stimulate and tease me,

they won't leave in the night,

I've no fear that they might desert me.

Diamonds are forever

Hold one up then caress it

Touch it, stroke it and undress it

I can see every part

nothing hides in the heart to hurt me

I don't need love,

For what good will love do me,

diamonds never lie to me

for when love's gone,

they luster on.

Diamonds are forever

sparkling round my little finger

unlike men, the diamonds linger

men are mere mortals

who are not worth

going to your grave for.

I don't need love
For what good will love do me.

Diamonds never lie to me
For when love's gone
They luster on
Diamonds are forever, forever, forever,
Forever, forever, and ever

For your eyes only For your eyes only
can see me through the night

For your eyes only
I never need to hide
You can see so much in me
so much in me that's new
I never felt until I looked at you
The love I know you need in me,
the fantasy you've freed in me,
only for you, only for you.

For your eyes only,
the nights are never cold
You really know me
That's all I need to know.
Maybe I'm an open book,
because I know you're mine,
but you won't need to read between the lines.

For your eyes only, only for you,
You'll see what no one else can see
and now I'm breaking free for your eyes only
only for you,
the passions that collide in me
the wild, abandoned side in me
only for you

for your eyes only

Break free

Negative question	Referent	Author's attitude/ opinion/ purpose		
Organization	Preceding / following topic		Support	
Testing points	Short conversations		Vocabulary words	
Example	Idiom/phrase	Verb	Order/sequence	
Comparison	Tone of voice	Similar sounds	Location	taking place
Calculation	Longer conversations		Inference	Restatement
Main idea	Preceding topic		Sample questions	
Sentence completion questions		Structure and written expression section		
Error identification questions		Strategies	Noun phrase	
word order	subject+Verb	Adjective phrase/ clause		Conjunction
Parallel construction	Adverb phrase/ clause		Comparison	
Infinitive/ gerund	Preposition/ prepositional phrase			Superlative
Negative	Conditional	pronoun	Error identification	
word form	verb	parallel construction		
singular/plural noun		mistaken words	unnecessary word	
omitted word	preposition	reversed words		conjunction
infinitive/gerund	comparative	article		superlative
reading comprehension	Main idea	Inference	Restatement	
Vocabulary	prefix	meaning	root	analogy

For Lower proficiency levels

Higher proficiency levels

The Backwards way

There are three major benefits of the Backwards way:

1. You can get clues about the general topic of the questions.
2. You can use your reading ability and summarizing ability to enhance your listening

skills.

3. You will have less anxiety if you can guess what the general topic is before you hear the tape. This will help you focus on specific information that you hear on the tape.

Brave and impartial for little match girls?

REVIEW [2]

* Practice makes Perfect *

Complete the charts below

1. 考える 考えられる 考え得る
- think can think able to think
- thinkable
-
2. 想像し得る 運び得る 為し得る
- imaginable
able to imagine
can imagine

carriable
() to ()
() carry

(do) able
() to ()
can ()
-
3. 寝ふりをする? 知ってるふりをする 知らんぷりをする
- pretend to sleep

pretend to ()

pretend ()to know

4.	can		⇒ be able to	
	can understand	= understandable	=	be able to understand
	can reach	= reachable	=	
	touch	=	=	
	keep	=	=	
	forget	=	=	
	carry	=	=	
	vise	=	=	

5. careful ⇔ full of care
careless barrier free tax free
() of care () from barriers free () taxes

6. He buys books. ⇔ Books are bought by him. 能動態 ⇔ 受動態
彼は本を買う。 ⇔ 本は彼によって買われる。

イ He read it. ⇔
彼はそれを読んだ。 ⇔ それは彼に読まれた。

ロ She finds the flowers. ⇔
彼女はその花を見つける。 ⇔ その花は彼女によって見つけられる。

[ANSWERS] イ It was read by him. ロ The flowers are found by her.

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

REVIEW【3】

It's not fair. You must be impartial.

Do だけが鬼ッ子です。(black sheep, or ugly duckling)

どちらが正しい? (あ) Do it. ? (い) Do do it. ?

助動詞 can / must / may / will / do

You can do it. You must do it. You will do it. [You do do it. You do it.]?

(イ) I can't do it. I can do it.

..... することができない することができる

(ロ) I don't do it. I do do it. I do it.

..... することをしない することをする をする

(ハ) Don't do it.

..... することをするな。

Do do it. 同音の省略 Do ~~do~~ it. cf. welcome = well+ come

..... ことをしろ。 しろ。

「比較」 (1) 同音の省略 (語を複合するとき)

① all ways → always

② well come → welcome

③ Christ mass → Christmas

④ good spell → gospel 福音

(2) 類似音の反転結合

① 藪 (やぶ・低木)

shrub → bush

② スカッシュ

squash → crush / lemon squash lemon crush

これを最初に理解しないとずっと、ボタンのつけ違いに

なってしまう。 You're not getting anywhere!

(二) Do you go? ----- Yes, I do (go).

行きますか? はい、行きます。

(ホ) Do you go? ----- No, I don't (go).

行きますか? いいえ、行きません。

(ハ) Can you do? ---- Yes, I can (do).

できますか? はい、できます。

(ト) Will you do? ---- Yes, I will (do).

するつもり? うん、するよ。

< One More Step >

another missing black sheep? S = 0 の時の 0 は 普通、省略される。

You must get (yourself) up. You must get him up. You must get her up.

~~助動詞と動詞を 反転させて合体させると…… (何度も反復説明しますが)~~

does go → go+~~do~~es → goes

(フ) He ~~do~~es go home when you come back.

does go = go+does = goes

He goes home when -----

(リ) He ~~di~~d study when you came back.

did study = study+did = studied

He studied when ----

【例】 比較級 ; 最上級の more;most と次の語との関係も同じです。

more long → long+more → longer

most long → long+most → longest

要するに、「話し言葉は、縮まる」ということです。

但し、do; did 以外の助動詞はさかさまになって

合併することはありません。すなわち、

do ; did が省略されていることがわかれば、**仮定法の2つの節は、前述のごとく、動詞の時制が一致していることが、理解できる。**すなわち、2つの節は、対称 (symmetry) しているパターンが見えてくる。 {Balancing is the name of the game.}

(又) I will go home if he comes back.

will go does come

助+動 助+動

本来の文（対称）

(1) I would go home if he came back.

本来の文 (対称)

(7) I would have gone home if he had come back.
 would have gone did have come 本来の文（対称）

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

REVIEW【4】

分詞構文（現在分詞&過去分詞）

(イ) running boys boys running there.

走っている少年

そこで走っている少年

(ロ) broken promises promises broken by them

破られた約束

彼等によって破られた約束

【進行中】の分詞 と 【受身】の分詞

① ～していて忙しい ⇔ busy preparing

I am preparing. So I am busy. ⇔ I am busy preparing.

準備しています。だから忙しいです。 ⇔ 準備してて忙しいです。

② ～されて泣く ⇔ cry bullied

I was bullied. So I cried. ⇔ I cried bullied.

いじめられました。それで泣きました。 ⇔ いじめられて泣きました。

分詞構文と動名詞構文 compatible

分詞句と前置詞句の互換性に気づけば、自在にしかも正確な文章がいくらでも作成できるようになります。

③ 現在分詞構文と動名詞構文 (=前置詞句)

イ He was preparing the lesson. So he was busy.

ロ = [Preparing the lesson,] he was busy. < (Being preparing)

ハ = He was busy [preparing the lesson.]

ニ = He was busy due to [preparing the lesson.] < (= because of)

[日本語版 Japanese version]

イ レッスンの用意をしていました。それで忙しかった。..... ロ レッスンの用意をしていて、忙しかった。

ハ レッスンの用意をして忙しかった。..... ニ レッスンの用意をすることのために忙しかった。

④ 過去分詞と動名詞構文 (=前置詞句)

ホ He was bullied by the girls and he was crying.

ヘ = [Bullied by the girls,] he was crying. < (Being bullied)

ト = He was crying [bullied by the girls.]

チ = He was crying because of being [bullied by the girls.]

[日本語訳 Japanese translations]

ホ 少女達にいじめられた、それで彼は泣いていた。..... ヘ 少女達にいじめられたので、彼は泣いていた。

ト 少女達にいじめられて彼は泣いていた。..... チ 少女達にいじめられたために彼は泣いていた。

⑤ [応用] 過去形でも過去完了形でも、ふつうは、単純分詞形を使用する。

リ He received bribes. So he was arrested. = (had received)

ヌ = Receiving bribes, he was arrested. = (Having received)

ル = He was arrested receiving bribes. = (having received)

ヲ = He was arrested ~~on suspicion of~~ receiving bribes.) = (having received)

[Japanese translations]

リ 賄賂を受け取った。それで逮捕された。..... ヌ 賄賂を受け取ったので逮捕された。

ル 賄賂を受け取って逮捕された。..... ヲ 賄賂を受けとった嫌疑で逮捕された。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

I'm less than nothing!

ボクは最低以下だ。

失うものは何もないんだ。まだ分らないのかい？

【 Grammar 8 】 動名詞・不定詞・分詞 gerund, infinitive, participle

[GRAMMAR / TESTING POINTS]

[慣用表現 / USEFUL PHRASES]

[NOTE] *動詞の前の名詞が主語。

- | | |
|---|-----------------|
| 1. I want him. | ～がほしい。 |
| 2. I want him to arrange the meeting. | ～してほしい。 |
| 3. I tell him to arrange the meeting. | ～するように言う。 |
| 4. I help him (to) arrange the meeting. | ～するのを手伝う。 |
| 5. I get him to arrange the meeting. | ～してもらう。(させてあげる) |

- | | |
|--|----------------|
| 6. I have him arrange the meeting. | ～させる。(～してもらう。) |
| 7. I let him arrange the meeting. | ～させてやる。 |
| 8. I make him arrange the meeting. | ～させる。(むりやりに) |
| 9. I force him to arrange the meeting. | ～させる。(力づくで) |

[KEY]

I have him fire her.

I have him fired (by her). I have her fire him

I have him happy. > make

ニュアンスの違いで原形動詞が活躍

1. I tell him that he (should) come.
2. I ordered to him that he (should) come.
- 3.

HOP STEP JUMP

I live to love you.

I live and love you.

I live and have you love me.

I live and have you loved by me.

I live and have you happy.

STEP

- | | |
|---|--|
| { | I live <u>and have</u> you love[=loving] me. |
| | I live <u>having</u> you love me. |
| | I live <u>with</u> you loving me. |
| { | I live <u>and have</u> you loved by me. |
| | I live <u>having</u> you loved by me. |
| | I live <u>with</u> you loved by me. |
| { | I live <u>and have</u> you happy. |
| | I live <u>having</u> you happy. |
| | I live <u>with</u> you happy. |

関係代名詞と関係副詞の区別

[A] 関係代名詞は主語に目的語にもなる。(名詞や代名詞と同様)

- (1) Tom is a teacher and he is in London.
(1') Tom is a teacher, who is in London. 主語
(2) Tom is a teacher and she likes him.
(2') Tom is a teacher, whom she likes. 目的語

[B] 関係副詞は普通は主語になれない。(副詞と同様)

したがって、関係副詞のすぐ後ろには名詞が来ることになり、動詞、副詞、形容詞などは来ない。

- (3) Tom is in London and there he teaches.
(3') Tom is in London, where he teaches.
(4) Tom came back yesterday and at that time Mary met him.
(4') Tom came back yesterday, when Mary met him.

【発展】関係代名詞と関係副詞の区別

[時間]

*the year (代) 名詞

◎ I met him in the year, which was my good one.

その年に私は彼に会った、その年はとてもいい年だった。

- ◎ 自然で正しい。
○ 普通の言い方。
△ 文法的に正しいが、
不自然。

*in the year (代) 副詞

◎ I met him in the year when I lived in London.

ロンドンに住んでいた年に私は彼に会った。

[場所]

*the house (代) 名詞

◎ I met him in the house, which was in London.

その家で彼に会った。それはロンドンにあった。

△ I met him in the house which was in London.

ロンドンにある家で彼に会った。

*in the house (代) 副詞 = where = in which = ~~which~~ ---- in

◎ I met him in the house where his parents lived.

彼の両親が住むその家で彼に会った。

△ (=in which his parents lived.)

○ (= ~~which~~ his parents lived in.)

応用1 カンマ[,] の有る無し、に注意。

[A] 制限用法と非制限用法の違いは、[,]の有無による。[,]があれば、そこで、文は途切れるが、もし、[,]が無い場合は、途切れないので、訳する場合は、最後のピリオドから訳してゆくことになる。

① He wrote a letter which was to Mary.

メアリー宛の手紙を書いた。

② He wrote a letter, which was to Mary.

手紙を書いた。それはメアリーへのものであった。

[B] 挿入句に使われる場合は、「 , --- ,」の部分(＝補足説明)を無視して、先に骨格の意味を理解して、対応させながら、「 , --- ,」の部分の訳す。補足説明ということは、be動詞(またはその変形)が用いられているのが普通である。省略されれば、分詞構文①②③になる。

(1) My father, who is fond of swimming, goes to the seaside every summer. 形容詞

父は、水泳が好きなので、毎夏、海に行きます。

① My father, fond of swimming, goes to the seaside every summer.

父は、水泳が好きで、毎夏、海に行きます。

② Fond of swimming, my father goes to the seaside every morning.

父は、水泳が好きで、毎夏、海に行きます。

③ As he is fond of swimming, my father goes to the seaside every morning.

父は、水泳が好きなので、毎夏、海に行きます。

(2) The moon, which is seen from the earth, looks very small. 過去分詞＝受身
月は、地球から見られると、とても小さく見える。

① The moon, seen from the earth, looks very small.

月は、地球から見られると、とても小さく見える。

② Seen from the earth, the moon looks very small.

地球から見られると、月はとても小さく見える。

③ The moon is seen from the earth and it looks very small.

月は地球から見られるので、とても小さい見える。

④ When it is seen from the earth, the moon looks very small.

地球から見られると、月はとても小さく見える。

(3) The earth, which is revolving around the sun, is our home planet. 現在分詞
地球は、太陽の回りを公転していて、さまざまな気候を持つ。

① The earth, revolving around the sun, has various climates.

地球は、太陽の回りを公転していて、さまざまな気候を持つ。

② Revolving around the sun, the earth has various climates.

太陽の回りを公転していて、地球にはさまざまな気候がある。

③ As it revolves around the sun, the earth has various climates.

太陽の回りを公転するので、地球にはさまざまな気候がある。

* 上の網掛けの部分は形容詞、名詞、副詞、現在分詞、過去分詞と区別されるが、作用はいずれも同じ。

The city is not what it used to be. その都市はかつてのそれではない。 = The city is not the one that[which] it used to be. ≡ The city is different from what it used to be.

上述文を理解するためには、先ず次の2文の違いと働きを把握する必要がある。

① The book is good. (S + V + C)

その本はよい。

② I want the book. (S + V + O)

その本がほしい。

関係代名詞は一種の形容詞(節)

the book to read

書く本

the book written by him

彼に書かれた本

①の場合は、関係代名詞は省略なし。

the book which is good

よい（ところの）本

the one which is good

よい（ところの）それ

the thing which is good

よい（ところの）物

that which is good

よい（ところの）あれ

that that is good

よいあれ

what is good

よいもの

②の場合は普通省略

the book (which) I want

私がほしい本

the one (which) I want

the thing (which) I want

that (which) I want

that (that) I want

what I want

私がほしいもの

*時制や文型に騙されないようにしたい。

He was the man.

彼はその男だった。

Tom is the man that he was three years ago.

トムは彼が3年前であった（その）男だ。⇒ 3年前の彼だ。

Tom is not the man that he was three years ago.

トムは彼が3年前であったその男ではない。⇒ 3年前の彼ではない。

Tom is no longer the one that he was three years ago.

トムはもはや彼が3年前であった彼ではない。⇒ 3年前のそのものではない。

Tom is not that that he was three years ago.

トムは彼が3年前であったあれじゃない。⇒ 3年前のあれじゃない。

Tom is no longer what he used to be.

トムはもはやかつての彼ではない。

[get]の用法

He had to **pay me**, but he did not **get me paid**.

払わねばならなかったが、払ってくれなかった。

I had to **pay him**, but I did not **get him paid**.

払わねばならなかったが、払ってやらなかった。

上の文のように、[get] は便利な口語として、使用される。

主語や目的語の変化によって、次のように、ニュアンスが変化する。

[A] 主語+get+直接目的語 = take

I get the book. (私は)～をもらう。

He gets the money. (彼は)～をもらう。

問題は下の文型の場合である。

[B] 主語+get+間接目的語 + (直接目的語 / 補語 / 修飾語・不定詞・分詞等) = give

① I get him the book.

(私が) ---あげる。

(私が) ---やる。

② He gets me the money.

(彼に) ---もらう。

(～が) ---くれる。

① 主語 I get

* あげる (相手に好意を持っている時)

- (1) I get you a book. 本をあげる。 = give, buy
 (2) I get him milk. ミルクをあげる。 = give
 (3) I get her happiness. 幸福をあげる。 = give
 (4) I get them happy. 幸福にしてあげる。 = give, make
 (5) I get the boy to have lunch. 食べさせてあげる。 = give, let, allow
 (6) I get the girl paid. 払ってあげる。 = I pay the girl.
 (7) I get the money paid to her. 払ってあげる。
 = I pay the money to her.

* やる (相手に好意を持たないとき、しかたなく～やる)

- (1) I get ya a book. 本をやる。 = give, buy
 (2) I get 'im milk. ミルクをやる。 = give
 (3) I get 'er happiness. 幸福をやる。 = give, make
 (4) I get 'em happy. 幸福にしてやる。 = give, make
 (5) I get da boy to have lunch. 食べさせてやる。 = let, allow
 (6) I get da girl paid. 払ってやる。 = I pay the girl.
 (7) I get da money paid to her. 払ってやる。
 = I pay da money to her. そのお金を彼女に払う。

② S + get me ----

get の文は、訳し方に注意。日英では、Mirror Images (鏡字 ; 意識の錯覚)

He got me to play it.

= He let me play it.

私は彼に 弾かせてもらった。

= 彼が私に 弾かせてくれた。

《 1 》 主語や目的語が反転する。

《 2 》 代名詞は普通は訳出しない。

* もらう (相手に感謝するとき = くれる ← 下される、下す)

(～に) --- もらう。 = (～が) --- くれる。

- (1) You get me a book. ~~私は~~ (あなたに) 本をもらう。 = give, buy
 (2) He gets me milk. (彼に) ミルクをもらう。 = give
 (3) She gets me happiness. (彼女に) 幸福をもらう。 = give
 (4) They get me happy. (彼等に) 幸福にしてもらう。 = give, make
 (5) The boy gets me to have lunch. (少年に) 食べさせてもらう。 = let, allow
 (6) The girl gets me paid. (少女に) 払ってもらう。 = I pay the girl.
 (7) She gets the money paid to me. ~~私は~~ (彼女に) 払ってもらう。
 = She pays the money to me. (彼女が) 私にそのお金を払う。

* される (被害者意識のあるとき)

- (1) You get me a book. ~~私は~~ (あなたに) 本を与えられる。 = give, buy
 (2) He gets me damage. (～に) 損害を与えられる。 = give
 (3) She gets me sadness. (～に) 悲しみを与えられる。 = give, make

- (4) They get me sad. (～に) 悲しませられる。 = make
 (5) The boy gets me to have dirt. (～に) 食べさせられる。 = let, allow
 (6) The girl gets me killed. ~~私は~~ (～に) 殺される。 = She killed me.
 (7) She gets da money paid to me. そのお金は(彼女によって)払われる。
 = She pays da money to me. (彼女が) 私にそのお金を払う。

cf. **Take & Give** 文法的解釈 Give and Take

[1] S+V+O. get = take

He got the book. = He took the book.
 彼は本をもらった。 = 彼は本をとった。

[2] S+V+O+O. S+V+O+C. S+V+O+M. get = give

He got me the book. = He gave me the book.
 私は彼に本をもらった。 彼は私に本をくれた。(与えた)

目的語(O)も補語(C)も修飾語(M)も本来は同じ作用。
 名詞(本、ミルク、幸福)、形容詞、不定詞、現在分詞、過去分詞

[3] 動詞(変形も含む)のすぐ前が、その動詞の主語。

I get you to go. < I → get; you → go >

君に行ってもらおう。

e.g. Can I get you to go there? そこに行ってくれますか?

<直訳>そこに行くあなたをもらえますか?

e.g. Can I get it opened? それを開けてもらえますか?

[= Can I get the situation that it is opened.]

<直訳>それが開けられる状態をもらえますか?

[4] be 動詞 (who is, which is, being, to be などが) が省略されている。

He gets me (to be) happy.

私は彼に幸せに(なるように)してもらおう。

[5] 主語と目的語が同じ場合、普通は省略される。(強調する時は復活)

He gets (himeslf) happy. 幸せになる。(彼は自分を幸せにする。)

再帰目的語が省略されていることを 忘れないように!

cf. You must get (*) happy	幸せにならなければならない。	*yourself
You can get (*) going	出かけてもいいですよ。	*yourself
You mustn't get (*) killed	死んではだめです。	*yourself

(17) 説明できますか? Try and challenge them.

1. Why the change of mind? なぜ、考えが変わったの?

----- It's more a change of heart. --- 心のそのものが変わってしまいました。

< What は almighty; omnipresent > 全知全能・普遍の存在

What is it that you want? ⇔ What do you want?

2. What is it?

3. What is it (that) you said just now? (What did you say just now?)

さっき言ったのは、何なの？

4. What is it (that) you bought in America? アメリカで買ったのは何なの？

--- It is this watch that I bought there. --- そこで買ったのはこの時計なんですよ。

5. What did you buy in America? アメリカで何を買いしましたか？

--- I bought this watch there. --- そこでこの時計を買いしました。

6. What is it like to talk with him? 彼と話すのはどんな感じなの？

--- It is just like an amazing dream (to talk with him). --- まったく夢心地ですよ。

7. What was the last time you met him? 彼に最後に会ったのはいつでしたか？

≡ When did you meet him for the last time? いつ彼に最後に会いましたか？

8. What if you go broke? 文無しになったらどうするの？

= What (do you do) if you go broke?

= What (are you going to do) if you go broke?

Cf. Who's that calling my name? 私の名を呼んでるのは誰だ？

= Who is that (that is) calling my name? 誰ですか？

< 句の省略に注意 >

9. Here's looking at you. 君の瞳に乾杯！

Here's someone always looking at you. 君をいつも見つめている誰かがいるよ。

《 意味するところは、そのまま言えば、決まりが悪い？ Too embarrassing? 》

10. Who is to blame?

You are to blame. 君が責められるべきだ。

→ 動詞 blame の主語も目的語も省略されている。

= You are (the man) for us to blame. 君が私達の責める男だ。

→ 動詞 blame の主語も目的語も明記されている。

= You are (someone) to blame. 君が責められるべき人だ。

→ 動詞 blame の後に目的語が来ずに前に来ていて、尚且つその動詞の主語が省略されている。

11. 下の文は動詞のすぐ後に目的語が来ているので、上の文とは反対の意味になる。

≠ You are someone to blame me. 君が私を責めている人間だ。
 = You are to blame me. 君は私を責めるだろう。
 = You are going to blame me. 同上
 = You are sure to blame me. 君はきっと私を責めるだろう。

12. You are to love. あなたは愛されるべきだ。 = Everyone loves you.
 You are to kill. 君は殺されるべきだ。 = Everyone kills you.
 You are to sing. 君は歌われるべきだ。 = Everyone sings you.

<仮定法> 13, 14, 15

13. …だったら、～するように上手に話す

He speaks Chinese as if he were Chinese. 彼はまるで中国人のように中国語を話す。

= He speaks Chinese as he would speak so if he were Chinese.)

もし中国人だったら、そう話すだろうように、彼は中国語を話す。

Cf. You had better do it right now. < 'd have = had >

= You would have it better (done) if you should do it right now.

= You'd have it better (done) if you'd do it right now.

cf. more fast = faster

did play = played

14. If it were not for you! もし、君がいなければ!
 If it were not for you, I would not make it. ——、僕は成功できないだろう。
 If it were not for you, I would be happier. ——、僕はもっと幸せになるだろうに。

15. If it had not been for you! もし君がいなかったならば!
 , I would not have made it. ——、成功できなかっただろうに。
 , I would have been happier. ——、幸せになっただろうに。

cf. Had it not been for you, ----

Were it not been for you, ---

But for you, ---

Without you, ----

<発音の類似に注意!> 押韻 “Taste” rhymes with “waste”.

16. イ Taste your life, not waste it!

人生を意味あるものにしよう、無駄にしないように。

ロ culture vulture/fake cultured man/ ハゲワシ vulgar 下劣な

似非文化人 (エセ) sophisticated/ 洗練された

cultivated/教養のある educated/ 教育を受けた refined/ 洗練された

ハ up from the ashes, grow the roses of success!

灰から蘇って、成功の薔薇を育てよう!

when you get distressing, it's blessing!

困った時こそ、奮い立つ時!

< 挿入句の省略 >

19. How come you went there?

どうしてそこに行ったの?

How **did it** come **(that)** you went there? そこに行ったということがどうして起こったの?

< it = that you went there >

20. How about going to the movies. 映画 (に行くの) はどうですか?

How **do you think** about going to the movies? 映画に行くことについてどう思いますか?

21. What about the book?

その本はどうですか?

What **do you say** about the book?

その本についてどう思いますか? (言いますか)

< ニュアンスに注意 >

22.

イ You may get the job. その仕事をしてもらいたい。(許可)

ロ You may well get the job. その仕事をするのは当然ですね! (褒めている)

ハ You may as well get the job. その仕事でも、しろよ。(けなしている)

ニ You might as well get the job. その仕事でもしたらどうだ? (しないのが分かっている)

23. You are (nothing) but a policeman.

< just a policeman >

ただの警察官だ (警察官以外の何者でもない)。

≡ You are no more than a policeman.

< only a policeman >

警察官に過ぎない (警察官以上の何者でもない)。

24. ~イー easy / eat / peace / please 婉曲・やわらげ・やさしさ good spell

* 縁起担ぎ? ゲンがいい? 験? * like a 'word' charm? 言葉のお守り (言霊)?

イ Tommy トムよ トムちゃん

ロ I'm comin'! 行くよ。
 ハ Got it? ---- Got it!
 わかったかい? ---- わかったよ。

You are needing this bag. You need his bag.

(10) on the & off the / on ~~the~~ & off ~~the~~
 the がつく場合は具体的、手でさわれるものを指す時。 play the piano
 the がつかない場合は抽象的で、手でつかみようのないものを指す時。 play baseball
 *** the や s が付く名詞 & 付かない名詞 = 手でつかめる & つかめない? ***

(イ) the on the train on the board on the plane on the bus
 電車に乗って 船に乗って 飛行機に乗って バスに乗って
 on the island; on the knees; on the foot; on the desk
 島で 膝で 脚で立って 机の上で
 (ロ) ~~the~~ on duty on business on vacation on board!
 勤務中 仕事上の 休暇にて 搭乗!
 (注意) このように、一般的に the がつかない場合は、文書表現になる。

(ハ) the get off the train get off the board get off the plane
 電車から降りて 船から降りて 飛行機から降りて
 get off the island get off the foot
 島から離れて 足場を無くして(倒れる)

(ニ) ~~the~~ off duty off business off vacation off board!
 非番で 仕事を離れて 休暇を離れて 下船・離艦!

(ホ) the play the piano play the violin ---- tangible(touchable)
 ピアノを弾く バイオリンを弾く ---- 手でさわれる

(ヘ) ~~the~~ play baseball play basketball ---- intangible(untouchable)
 野球をする バasketball をする ---- 手でさわれない

(ト) - s many oranges a few books few pens no apples
 (チ) - x much time a little milk little butter no money

日常会話では、① a coffee = a cup of coffee / two coffees
 ② What kind of a fruit do you like? などと言う場合が多い。①の場合は、1杯、2杯の意味、②は果物の種類などを聞くからであるが、しかし、実際は、ほとんど意識せずに、

口調が自然だから、という感じである。

たとえば、次の③④のように、itを入れて、同じ事柄を示すのも、相手にやさしい一つの口調の整えである。(日本語でも、むつかしい言葉は重複して、かさねて言うのと同じ)

③ I appreciate (it) if you do so.

そうしていただけたら、感謝します。

④ Do you like (it) teaching tennis here?

ここでテニスを教えるのが気に入っていますか？

(11) by ～ (近く、そば) & till (= until; to) ～ (到着)

～までに戻る (終わる) & ～まで (続けて働く ; 滞在する)

.....場所の距離も時間の差も、同様に処理される。.....

.....因みに、to, till, thru (through) の発音は普通は同じに聞こえます。発話者の教養や意識で、区別しているにすぎないことも、念頭に入れておく必要がある。.....

.....* from London to New York * from nine till 5:00 * from Monday through Friday

(1) get back by 5:00 <時間> work till 5:00

.....5時までに戻る 5時まで働く (続ける)

(2) drop by me <距離> come to me

.....立ち寄る (私のそばに落ちる) 私の所まで来る

(3) live by the station <場所> get to the station

.....駅のそばに住む 駅に着く

(4) Stand by to attack

攻撃できるように準備する (攻撃するそばに立つ)

(12) of (～の中から) / out of (～の中から外へ) / off (～から離れて) / from (～から)

意味の「乖離・カイリ＝同質から異質への変化が自然発展」一枚の紙にオモテ・ウラがあるように、語句にも必ず、表裏があり、昔と今では、意味が反転する場合がよくある。日本語であろうが、いかなる言語も基本的に同様である。原始の時代の神の言葉に、文化が発展してくるにしたがって、懷疑する人類の歴史と符を合する。

* いい加減にする (適度に調整する ⇒ てきとうにする)

* 諦める (明らかにする ⇒ あきらめる)

「例」 I swear that I will not swear again. 罵ることはしないことを誓います。

近世では、産業革命以後、industrious (身を粉にして勤勉に働く > dust) から、industry (工業・産業・機械を働かせるシステムを代表するようになった。) 勿論、本来の勤勉という意味で使う場合もあるが、諺や畏まった言い方、又は皮肉になってくる。

* Poverty is a stranger to industry. 稼ぐに追いつく貧乏なし。

* You show remarkable industry. 随分勤勉ですね。

文書 (古代) of ⇒ out of ⇒ off ⇒ from 口語 (現代)—— 意味が発展・乖離

(イ) This is made of stone. 石の中から (石の性質を持ったまま)
これは石で作られています。 (これもやはり石です。)

(ロ) It is nice of you to say so. (あなたの性質から生まれるやさしさ)
そう言ってくださって、ご親切様です。(ありがとう)
= You are nice (enough) to say so.

(ハ) go out of the room ≠ from this room to that room
部屋の中から出て行く この部屋からあの部屋へ (ドアからドアへ)

(ニ) of the course = on the course ⇒ of course (もちろん)
コースに属して=コース上に ⇒ theが無くなれば、熟語になり、「勿論」となる。

(ホ) off the course
コースから外れて

(ヘ) The city is 50 km north of Tokyo. 東京から北に50キロ (離れて) にある。
Cf. off Tokyo; from Tokyo 一般には同様の意味で使用されているが、of が正式。

【応用】 所信 ⇄ 信ずるところ

This is what I believe. これが私の信じるところ (もの) です。

I believe this. これを信じます。

文語と口語は基本的に語順が逆になる。このことがわかれば、of を使用した構文の語順がはっきりと理解できて、自信を持って使用できる。

① Steal the book from him. 会話用の普通の言い方。

② Rob him of the book. 文語的な正式な、強調的な言い方、

すなわち、動詞が会話的、平易、ごく普通に使われるものであれば、の語順になる。

しかし、正式に、または強調する場合に使われる動詞の場合は、②のように直接目的語と間接目的句の語順が逆転する。of だけに限らない。with の正式使用法も全く同じである。この場合の of と with は、対称的に使用されるので、あわせて練習すれば、よりはっきりする。

(イ) 口語 He stole the book from me.

(ロ) 文語 He robbed me of the book.

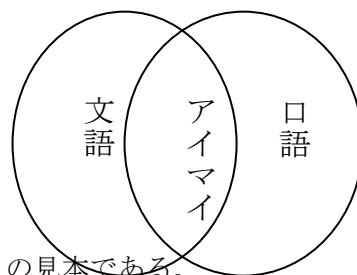
(ハ) 口語 He gave the book to me.

(ニ) 文語 He gave me (with) the book.

(ホ) 文語 He asked the policeman (of) the way.

但し、ask の場合は of も語順も混乱してしまったアイマイの見本である。

(ホ) の言い方は尾骨みたいにほとんど消滅してしまった状態で、of が省略されてしまって、



次の(へ)(ト)(チ)のようになっている。

(へ) 口語 He asked the policeman the way.

= 口語 He asked the policeman about(for) the way.

---- 上の場合、about と for では少しニュアンスが異なる。

(ト) 口語 He asked the way of the policeman. 警官に道を聞いた。(警官から道を聞き出した)

(チ) 口語 He asked a favor of me. 私に頼み事をした。(私から好意を頼んで取った)

give は現在、普通に使う場合は、with が省略される。ask の場合も同様である。ask の場合には with の代わりに of を使用するのとは、「ask = 答えを～から引き出すために尋ねる」のが本来の意味であるので、rob, rid などと同種の of を使用する。ask と give は対称する語だからである。(ask だけは、多様に展開変化しているので、特に注意するようにしたい。)

{	ask	rob	rid	cheat	free	cure
	尋ねて返答を得る	奪う	除去する	騙し取る	解放する	除病する
	* cheat him of the money		* free him of tax		* cure him of the cancer	
{	give	help		provide		supply
	与える	手助けする		与える、賦与する		供給する

(1) 私のお金を盗んだ。 (の > から)

○ He robbed me of the money.

△ I was robbed of the money by him.

(2) 私のお金をぬすんだ。 (の > から)

○ He stole the money from me.

△ The money was stolen from me by him.

× I was stolen the money by him.

(3) 家のゴキブリを駆除した (の > から)

○ He rid the house of the cockroaches.

△ The house was rid of the cockroaches by him.

△ The cockroaches were rid of the house by him.

(4) (自分の)ボスを追い出した (の > から) > Good riddance! せいせいした!

△ He rid himself of his boss.

○ He got rid of his boss (by him). > himself = He

○ He is rid of fever. (= He got rid of fever.) 熱がとれた。

△ The boss was rid of him by him.

上の受動態の理解には、再帰代名詞の用法をはっきり認識する必要がある。

* 目的語が主語と同じ場合は、普通は省略されている。

He walks the dog. 犬を散歩させる。

He walks himself. 自分を歩かせる。自分で歩く必要がある。
He walks. 歩く。
He got up. 起きた。
He got himself up. 自分を起こした。自分自身で起きる。

*命令形の場合は、主語も省略される。

You must get up. 起きなければならない。(Get up.) 起きなさい。
You must get yourself up. 自分を起こしなさい。(Don't get others.) 他人を起こすな。
You must work. 働かねばならない。(Work.)
You must work yourself. 自分を働かせなければならない。
(Don't work others.) 他人を働かすな。

練習

- ① He must get rid of fever. 熱をとらねばならない。(熱がひかねばならない)
② He is rid of fever.
③ He must rid himself of fever.
④ He rids himself of fever.
⑤ He rid himself of fever. 熱をとった。(熱がひいた)

ポイントは rid が ① 過去分詞 ②過去分詞 ③ 原形 ④ 現在形 ⑤ 過去形

(5) ～を与える、手伝う、賦与する、供給する

> ～で(の面で、の分を)助ける、賦与する、供給する

- He gave me (with) the material. この場合だけ、普通 with は省略される。
○ He helped me with the report.
○ He provided me with the money.
○ He supplied us with the water.

(13) preposition 前置詞には必然性がある。 no by chance (=まぐれは無し)

{ 目 ee eye see meet seek seem
耳 ea ea ear hear aural audio acoustic
口 o o mouth hole hollow oral > look (節穴の目)

logical necessity (論理的必然) / acoustical necessity (音響学的必然)

aural-oral (耳の - 口の) / audio-lingual (聴覚の - 舌の)=(聞く - 話す)

logic and magic (論理 と 奇術)

【例】 to の場合 (口語ではほとんど with で代用される)

(イ)	---ch	reach	attach	touch	teach	search	etching	----	チ
	着	着く	付着する	触れる	教える	搜索する	食刻(銅版彫刻)		
(ロ)	---to	go to	get to	agree to	belong to			----	ツ

に に行く に着く に同意する に所属する

(ハ) 受身 be tied to be married to be attached to be exposed to
に に結びつけられる と結婚している にくっつけられる に晒される

(ニ) 過去分詞 a dog tied to a post a basket attached to a bicycle

～される 柱に結び付けられた犬 自転車にくっつけられたカゴ

a boy attracted to me be allergic to be vulnerable to

私に惹き付けられた少年 にアレルギーだ にもろい(しやすい)

A La Carte (according to the card)

a と o は同じ語であることに着目すれば、語彙が飛躍的に増加する。

瞬時に正確に記憶できるだけでなく、自信を持って使用できるようになる。

(1) a = o a = o OK = All Correct

(イ) aboard on board on the board

搭乗して 甲板上に 甲板に乗って

(ロ) away on way on the way

途上 途上に 道の上で

(ハ) atop the desk on top of the desk on the top of the desk

机上に 机の上に 机のテッペンに

cf. aside alone along alert

on side on lone(ness) on long on (the) alert

そばに 1人で ～に沿って(長く) 油断しないで(警戒して)

(ニ) those ⇔ that these ⇔ this

あれらの あれの(あの) これらの これの(この)

(ホ) taught caught / thought bought brought

トオト コオト ト'オト ボオト ブロオト

(ヘ) want to ⇒ wanna goin' to ⇒ gonna

t と n は互換の類似音だから、t ⇒ n o ⇒ a

cf. got to ⇒ gotta ought to ⇒ oughta out of ⇒ outta

(2) b と v はもとは発音は同じ。

(ハ) via Tokyo by the way of Tokyo

東京経由で 東京の道に由って

(ロ) because by the cause that ～

cf. beside

beyond

below

before

behind

b 生長

blow

breed

bind

bail

bright

bat

f 浮

flow

flee

fly

fail

flight

fight

v 揚・蒸発

vaper

voice

volcano

vacant

evacuate

evaporate

vibrate

Preposterous 本末転倒**inside out****upside down**

①

相互に対立する前置詞によって、理解を深める。(of, with)

① 文書主体の語(rob, rid, cheat, provide, supply)と口語主体の語(steal, rip, give, ask)

「注意」口語主体の語であっても、かしこまったり、強調して用いる場合は、文語用の語と同じ語順や前置詞を用いる。これは、自動詞と他動詞の区別にも利用できる。

動詞は本来はすべて他動詞であるが、その目的語が主語と同じ場合は、普通は省略される。

ただし、上述のように、強調したり、かしこまったときは、再び出現する。

He walks his girl to school.

He walks himself to school.

He walks to school.

of (= out of) with

ask rob

rid him of her

rid the house of mice The house is rid of mice

rip mice out of the house

cure him of his disease cheat him of his money

He is cured of his disease

free him of tax He is free of tax.

give provide supply

on out

in out

in on at

for against

Grammar Plant (like a family plant)

I get you that.

I get you to open the window.

an iron-made man

an iron-making man

a cloning man

a cloned man

*** hyper hyphernate hyphen hypo**

* 粋 christ 人間 chrysanthemum 花 crystal 鉱物

* cram the tongue short / clam the tongue long

* hawk eye 眼光紙背に徹す

* lark in the sky k, g 翔ける、空 / ink parakeet

* (You should) Make sure you're there. 必ず〜しろ

* You don't got to love it. You'll just do it.

got to = have to

You have to ---, You ought to ----, You got to ----

* Hawk-eyed 油断のない eagle-eyed Pop-eyed 出目の

Hawk-nosed 鉤鼻の

眼光紙背に徹す insight

penetration see far into a millstone read between the lines

* On the green.

* Jesus Joshua the Savior (= God is help.)

* Let's go get warm up, buddy.

* We had us a time, didn't we?

* Once ove again oce more once again look-see

Once-over = go-over = go through

give a project the once-over / a once-over highly check

* I love inscriptions in flyleaves and notes in margins.

* Please ecusemy scrawls. scratches

* You'd be better off if you just do what you're told and don't ask any questions.

You'd have it better off if -----

You'd hav'it better off if ----

* I've got something to show you, Tom. A watch chain.

I braided it from my hair. I made this chain for you.

* Now's the time.

* There's some riders coming behind us.

* They don't like us killing friends of theirs.

They don't like killing frineds of theirs.

* I'll go have a look-see

* It's living that's hard.

* 富士/不死 鷹/英雄 茄子/自然の子

永遠の生命や能力を持っても自分の愛する人々が老衰死去してゆくを見るのは堪え難いものであるのは、普通の判断能力のある人間であれば、火を見るより明らかなことが理解できる。 人としての自然な生老病死が理想的。

Don't punish yourself with the feelings of vanity. Simply learn to control them.

It is an affliction common to all, even on Krypton. Our destruction could have been avoided but for the vanity of some who considered us indestructive. Had it not been

for the vanity, at this very moment I could embrace you in my arms.

* 赤信号みんなで渡れば怖くない。Think with the wise, and talk with the vulgar.

泣く子と地頭には勝てぬ。One cannot prevail over a crying child and the government's agent. Mobocracy; mob rule 衆愚政治 the vulgar (crowd) 衆愚

The mob rules the mot. [mou] 語。警句

Mob law 暴民政治 mob psychology 群集心理

The soul of the mob 民衆の心 mobil unit 機動隊 mobil vulgar 動きまわる群衆

Better (allow yourself to) be rolled by something long. [If you can't beat'em, join'em.] 長いものには巻かれろ。

If unreason comes, reason goes. = Where might is master, justice is servant.

無理が通れば通りが引込む。

A few of us can't beat a lot of them. 衆寡敵せず。

* 音感と外観「辻褄あわせ」 have their own ways

make the story sound plausible. / make the story hang together.

his book He's coming. 現在分詞 his coming 動名詞 「ヒズカミン」

① his book.

② He's coming.

③ I'm sure (that) he's coming.

④ I'm sure of his coming.

⑤ I'm sure of him coming.

REFERENCE

Where's Wally? Where's IT? --- Where's the "id"?

きつつき 啄木鳥 kitsutsuki woodpeck woodpecker

つぐみ 鶇 tugumi mock mocker mocking bird

あすか (飛鳥) → (か・が) c k g ← sky? 空翔けるもの

crossbill	crane	stork		
いすか (鶺鴒)	つる・かく (鶴)	こう (の鳥) (鶴)	いかるか (斑鳩)	
crow	magpie	jay	wild duck	goose
からす (烏)	かささぎ (鶺鴒)	かけす (鴉)	かも (鴨)	かり (雁)
cuckoo	hawk	cock	peacock	sea gull
かつこう (郭公)	タカ (鷹)	けい (鶏)	くじゃく (孔雀)	かもめ (鷗)
goose	falcon	condor	eagle	canary
がちょう (鵞鳥)	はやぶさ (隼)	コンドル	ワシ (鷲)	カナリア

① 知 ② 好 ③ 楽 Which is your life ?

< 英語学習方法 と 人生の生き方 >

これを知るはこれを好むに如かず、これを好むはこれを楽しむに如かず。

①【知】 骨折らずば、もうけなし（蒔かぬ種は生えぬ） **No pain, no gain?**

②【好】 好きこそものの上手なれ **Much fun, much gain.**

What one likes, one does well.

③【楽】 真に楽しむ者は仁者なり **Much appreciation, more gain.**

Prefer appreciating your life to enjoying it.

④【論外】 勉強（無理強い）骨折り損の草臥れ儲け **Much pain, no gain?**

I know that it's good to work hard, but I can't, because(too many excuses!)

Golden Rule（黄金律）金科玉条 Pay it forward

黄金律といわれる尊い教えがあります。イエスの真心の発露とされ、二千年に亘って、西洋世界の人々の琴線を共鳴させ、清澄の旋律を奏でて来ました。「自分がしてほしいことを他の人々にしてあげなさい」と説かれた、極めて素朴な勸戒律です。少し畏まって言えば、

「積極的に善を行うことは『平和』な世界を創造するための最も基本の行為である。」ということになるのでしょうか。

Do for others what you want them to do for you.

Matthew 7

己所不欲 勿施於人（己の欲せざるところを、人に施すことなかれ） 論語 顔淵 12

一方、東洋の人々の心底にも、この教えと符節を合わせたかのごとき、孔子の誠実な願いが、「争いの無い『安穩』な世界を護持しようと努めて来た人々の「金科玉条」として秘蔵されてきました。それが、「己の欲しないことを他の人に施さないように」という戒めです。おのれに出来得る限り、悪を抑制しようと努力する不退転の訓戒律とも言えましょう。このように、東西両世界の根本的な倫理規範が、昼夜めぐりて月日を重ね、表裏一体、左右の掌（たなごころ）を合するごとく、あらゆる人々に「平和と安穩」の大切さをしみじみと認識させてきたからこそ、今日の世界が辛うじて存在しているのでしょう。

然りと期しても
然らず
然りと期して然れり
然りと期せずしても
然れり

期然而不然
期然而然
不期然而然

Que sais-je?

Through hardship to the stars. 艱難を経て目指す星へ

science

すみ & すみ

conscience

cinder

墨

澄

(ぼくちょう) *Cinderella*

It's up to you to get your life to be either **blight or bright**.

人生を台無しにするか みのりあるものにするかは おのれの姿勢による。

昨日は

Yesterday is

明日の鏡なり

the mirror of tomorrow

今日をさやかに

it's a good idea to appreciate each day

つとめ過ごさむ working honestly.

God, help me! Got to help me. (You gotta help me.) you = I

Heaven helps those who help themselves. 尽人事而待天命。

天はみずから助くる者を助く。 人事を尽して天命を待つ。

☺ QUIBBLING ☹ Gods ☺ guts ☹ got ☺ 晴る (はる) 拝 (はい)

① You have God to help you. So you're very happy.

神はあらゆる人を恵む。(自分を助けてくれる神を持っている。)

② You have gods to help you. (All of you have gods to help you.)

みんなに守護神はいる。

③ You have guts to help yourself. (have your spirits ≠ lose your spirits)

自分を助ける根性を持っている。

④ You have got to help yourself.

自分のことは自分でしなくっちゃだめですよ。

⑤ You've got to help yourself.

自分の面倒は自分で見なくっちゃだめだよ。

⑥ You've gotta help yourself. So you'll be very happy.

自分の面倒は自分で見なくっちゃ。 (= You're gonna help yourself.)

I 人間と神の対話 You've got God to help (yourself) out?

a human : Oh, God, help me!

God : Yes, don't worry, you have God to help you.

You have got to help you.

You've got to help you.

You got to help you.

So,

God helps you who help yourself.

Heaven helps those who help themselves.

Do it yourself as much as you can, I hope ????

It's all up to you.

仁
を
為
す
は
己
に
由
る
而
由
人
乎
哉
為
仁
由
己

II Feed Back ? Read it backward and figure it out. (Invert and contract.)

① shrub → bush

② does go → goes (go does → goes)

③ did play → played

④ more fast → faster

⑤ that which he said → what he said

⑥ If I did have the book, I could be happy. → If I had the book, I would be happy.

⑦ You would have it done better if you should do it now.

→ You had better do it now.

忙中有閑 忙中閑有るべし Busiest men find the most time.

It's the name of the game. 知之者不如好之者、好之者不如樂之者

[= It's the pith of life.] “from enjoying to appreciating “

It's a better idea to like it than to know it. And it's the best idea to enjoy it.

知ることは好むにしかず、好むことは楽しむことにはしかず。

㊗ 1 富士 (不死) perseverance; everlasting happiness

㊗㊗ 2 鷹 (イヌワシ) eagle-eyed; seeing far into a milestone ;keen insight

㊗㊗ 3 ナスビ (茄子) aging; getting sage ; good off-springs

Not a long day but a good heart rids work.

I hope that you enjoy and appreciate each step in learning foreign languages.

(3) Synchronizing Studying? > Synchronized Learning?

音感が外観を決定 (有史以来、口語が先行し、文法が後を追いかけて、理屈をつけてきた。)

音符を読めなくても歌は歌える。文法を知らなくても、俳句や短歌は詠める。

却って、知らない人の方が、自然な歌が作れる。

況して、日常会話は3歳の子供のほうが達人である。

万葉集を読んだ人達はほとんどが読み書きのできない人たちであった。

< same tempo >

リズムと旋律が全てである。 rhythm (律動: 流れ) and rhyme(=rime) (韻: 脚韻)
and melody (harmony)

Grammar Break (あ)

逆に読んで行くように発想を転換してみよう! 【例】 所信 ⇄ 信ずるところ

Read backward < clockwise < this way < today < diary

understandable
reversible →

be able to understand
← be able to reverse

理解し得る
転換し得る

careful

be full of care

気持ちがいっぱい

(5) Word is World

like a globe

経緯

経線・緯線 history

A word is stronger than a sword.

言葉は剣より強し

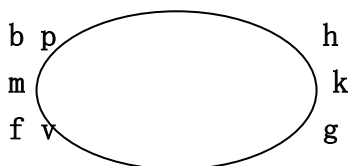
Cf. A pen is stronger than a sword.

【言霊・ことわざ・利口】 潜在的にも顕在的にも言葉が世界を形成してきた事実を認識し、活用することは非常に社会の事象にも有用です。

① m b p v f 口先・外面 ≠ h k g 喉元・内面

位置(topology)=mind topology

fire fore find
hire hind hide



口先だけの音？

m b p f v

> lip service

口先だけで発音するグループの音は、意味上も、類似性を持ちます。語彙を類推したり、より正確に読解・使用するためにも、発音する度に、留意しておく必要があります。

何よりも、発音練習が楽しくなるし、語感も意味もきっちりと脳裏に刻み込まれます。

(i) bible > paper > papyrus > up > top

神 > 紙 > パピルス > 上 > カミ (テッペン・天辺)

(p) face > phase feasible > visible

表面 > 局面 実行可能な > 可視的

亦、(h) (=) の 'in' のように、同音で反対の意味を持つときもあります。数はわずかです。

注意していれば自然に理解できます。Word has two faces. It is a double dealer, dialectic and relative. 言葉は2つの顔を持ち、弁証的に対立し、比較されてきたし、されてゆかねばならない。

(h) 不 in + m = imm immune immediate immortal

免疫不全の 媒介無しの(直の) 不死の

immoral immature immeasurable

不道德な 不成熟の・未熟の 測定不可の・広大無辺の

in + p = imp impossible impartial improper

不可能な 不偏不党の 不適当な

impatient imperfect

無忍耐の 不完壁な

in + b = imb imbalance (注) unbalance (in 英 = un 仏)

不均衡な 不均衡な (フランス語だから、un にはならない)

(二) 入 in + m = imm immigrant immingle in = en = enter = inter

移 (入) 民 混合する

in + b = emb embed embody embroider embryo

埋め込む 具体化する 縫い込む 胎児

in + p = imp import impact impress

搬入する・輸入する 衝撃を与える 印象づける

improve imply

証明を加える 塗りこむ・示唆する

② r 支配 (高) ≠ l 服従 (低) upper part lower part

royal

王権の

loyal

忠実な

regal

王の

legal

法律の

crown

王冠

clown

道化・ピエロ

row

漕ぐ・支配する

low

低い

rice

米・幸福

lice

シラミ・悲惨

r

l

cf. reach / leech free / flee / flea

着く / ヒル 自由 / 逃げる / ノミ

③ th 謝・思・精神・真・善・美 ≠ s 身・俗

thank

感謝する

sank

沈んだ

think

考える

sink

沈む

worth

価値

worse

最悪な

myth

神話

miss

仕損じる

pith

真髓

piss

小便

ruth

真心

loose

ルーズな

path

心の道

pass

歩く通路

th

s

【日本語の学習】

(イ) カムイ 神 かむ かむがえる 考える おがむ

(ロ) 沈む 沈思

cf. theory sympathy theme / seem faith / face
理論 同情 命題 / ～にみえる 真心 / 顔・面

㊤ “th” は 感謝・崇高さを示す大切な音！？ Good connotation (いい感じ) ㊤

(p) m b p f v similar sounds & meanings < f=ph=p ≠h >

類音 類義 似た音が似た意味を示す場合。

base	face	phase	pace	vase
ベース	面・表面	局面	調子	花瓶

fine	pine	vine
元気	松	ワイン

feasible	visible
実行可能	視覚可能

(h) u = v = w double **U** (= double **V** in French)

U (優) は本来は V であり、W は 2 つの V で、英語では 2 つの U になっている。

useful victory win 「sweet sounds (いい感じの音・意味)」

㊤ Europe euphony (音便=優音?) ㊤ beautiful 「美しい」・ Utopia 「理想郷」
「日本・朝鮮・中国」などの国名は、音と共に、意味も加わって「真・善・美」を込めている。同様に English Britain France Rome などにも、「真・善・美」の意味がこもっているのは当然である。
The name of the game 「ゲームの真髄」「ゲーム」は死活の狩猟・ビジネスを指す。
(音感と意味、共にいい名前を求める。)

⑤ 英語の人称などは、**He** 「神」が自分に似せて作った **he** 「アダム」を骨子にして、発展してゆく。アダムの肋骨から **she** 「イヴ」を作る。

これは、日本語のカミの成立と似ている。示 (神=示す偏) で、神は「カミに似た申 (=猿)」で、その中間が人間=ヒトである。

敬語のなさる、行きなさるの「さる」は??????

第一人称	第二人称	第三人称
first person	second person	third person
自身	君(尊敬)	彼(ひ)
I	u use you	he
idea	Utopia	she
identity	eulogy (賛辞)	they
	Europe	the
	euphony (快音)	thing

【cf. 小文字の部分は更に関心のある場合に読んでみて下さい。】

(6) Fixing words

un + believe + able
prefix + root + suffix
接頭辞 + 語根 + 接尾辞

音と形の変形 < transforming の必要性に注意 >

例1 同形・変音 正義 / 正月 学者 / 学校
せいぎ / しょうがつ がくしゃ / がっこう

例2 同音・変形 ジ 侍 侍 峙
+ 寺 手+寺 人+寺 止+寺 山+寺

日本語と同じように、英語においても、変音や変形(スペルの変化)によって、意味を移行・展開させて今日に至っている。

(イ) pair repair parent spare prepare compare

一揃い 揃え直す 揃いの人 揃いの控え 前もって揃える 並べて揃える

(ロ) fact effect efficiency facility factory

事実・結果 効果 効率・能率 便益・設備 工場

(ハ) spell propeller repel gospel (God's spell)

魅惑する・強いる 前に強いる物 後ろに強いる 神の魅惑・神の魔法の言葉

プロペラ (嫌悪する)

(ニ) 2つの語が合成して1つになる場合、次のsや1のように同じ文字は1つは

欠落する。 all ways → always

Christmas (= Christ mass) welcome (= well come)

careful (= full of care) alright (= all right)

① 不 innocent impossible illegal irregular

無害の 不可能な 違法の・不法の 不規則の

nocent possible legal regular

有害な 可能な 合法の・適法の 規則的な

② 下 submarine suggest suffix supply surrogate

潜水艦 暗示する 接頭辞・補充 供給する・下付する 代理する

marine gest fix ply rogate

海 動作する 直す 置く 祈禱する・弁ず

(注：二重下線はストレスの位置を示す)

③ 付 adverb aggravate appreciate apply

動詞に付く語・副詞 重大化する・悪化する 鑑賞する 塗り着ける

verb grave precious ply

動詞 重大な 貴重な 塗る

lie ply は非常に便利で重要な語幹 lay place plate

ply 塗る place 位置する lay 横に置く lie 横になる

apply supply imply reply comply implicate complicate

塗付する 供給する 含む 返答する 随順する 巻き込む・含む 複雑化する

(8) Grammar is Liar?

doctor player

< ar; or; er > と3種に変形していますが、すべて「～するもの(者・物)」を示します。ただ、職業などの性質の違いがスペルを少し変形させていますが、発音も意味も全く同じです。くれぐれも騙されないようにしてください。

cf. author donor manipulator dictator operator

著者・当局 施主・贈与者 操縦者 独裁者 操作者・交換手

⑧ 反対に、以下の文や句は、微妙にニュアンスが違います。(Try and check it out!)

①イ He go there? (俗) = Did(Does) he go there?

ロ He goes there. = 彼はそこに行く。

②ハ something to eat = 何か食べるもの

ニ something that he eats = 彼が食べる何か

ホ eat something = 何かを食べる

③ヘ I have to do something. = 何かをしなければならない。

ト I have something to do. = 何かするべきことがある。

④チ What did you get? = 何かありましたか?

リ What have you got? = 何かあったの?

ヌ What do you got? (俗) = 何かあった?

⑤ル I have stolen the money. そのお金を盗んだ。

ヲ I have the money stolen. そのお金を盗まれた。

ワ I had the money stolen by her. 彼女にそのお金を盗まれた。

【 Q & A 】

カ In ル, who has stolen the money? ----- I have.

ヨ In ヲ, who steals the money? ----- Someone does.

タ In ワ, who stole the money? ----- She did.

You can do it like me,
if you take your time.

Just follow me and
you will see.

You will do it just fine.

やってみせ
言って聞かせて
させてみせ
ほめてみせてぞ
子も
育つなむ

(10) give = get 与える = あげる/くれる

did he get ⇔ he did get ⇔ he got

前述[6]の説明を参考!

A. Why did you get me that? なぜ、(私に) あれをくれたのですか?

→ Tell me why you got me that. なぜ、(私に) あれをくれたのか言ってください。

→ Can you tell me why you got me that? なぜあれをくれたのか言えますか?

B. Why does he get me that? なぜあれを私にくれるのですか?

→ I don't know why he gets me that. 彼がなぜあれを私にくれるのか知りません。

→ I know why he gets me that. 彼がなぜあれを私にくれるのか知っています。

C. Why could he get me that? なぜ、彼はあれを私にくれることができたのですか?

→ He won't tell her why he could get me that. なぜ、くれることができたのかを言わない。

→ He can't tell why he could get me that. なぜ、くれることができたのかを言えない。

【Q&A】 Can you tell the differences? あげる? くれる? [get = give = have]

【誰が誰にですか？】

(イ) I got him that car. あの車をあげた。

(㍑) He got me that bike. あの自転車くれた。

(ハ) I will get you this book. この本をあげますよ。

(二) They must get him that house. あの家を彼にあげねばならない。

get ～してもらう & ～にしてあげる & ～をあげる **got**

(～であることを・～であることを・～を) あげる/くれる

get+不定詞；形容詞；名詞 【実際はすべて+名詞】

D. I will get you **to come**. / to go / to succeed / to fail

+不定詞の名詞的用法 ～してもらう (させる)

E. I will get you **happy**. / sad / mad / angry

+形容詞[=to be happy] ～にしてあげる (～にもらう)

F. I will get you happiness. / sadness / some milk / a car

+名詞 [= happiness] ～をあげる (～をもらう)

(13) 現在分詞が変化して、前置詞になってしまう。 during / dure / endure / duration

A. He went out **having** some money. (=with some money)

お金をいくら持って お金とともに

B. He talked a lot **regarding** [=concerning] that. (= about that)

あれに関して あれについて

C. He studied hard **during his stay** in America for three years

滞在中に 3年間

cf. 前置詞と現在分詞が同じ働きとみなされている例

“Mental” means “of or pertaining to the mind”.

「精神的な」とは「心の、または心に関する」の意である。

(14)

A. all of the books = all (of) the books \neq all books

それらの本の全て (米語) それらの本すべて (英国) 全ての本

B. all of the books one of the books none of the books three of the books

それらの本の全て それらの本の1冊 それらの本の1冊も～ない それらの本の3冊
cf. I like none of the books. それらの本の1冊も気に入らない。

C. all of them one of them none of them four of them

それらの全て それらの1つ それらのどれも～ない それらの4つ

cf. Four of them met her. 彼等のうち4人は彼女に会った。

Get うれしいことは もらう いやなことは される

Get praised ほめてもらう

Get money お金をもらう

Get him back もどってもらう

Get killed 殺される

Get money stolen ぬすまれる

Get him killed ①殺してもらう②殺される

Get (myself) killed ①殺してもらう②殺される

25. God、 got 【既出】

イ You, God, help me. ～してください。

< May God help me! >

□ You've got to help me. ～しておくれ。

ハ You gotta help me. ～してくれよ。

“ Golden Rule “

Do for others what you want
them to do for you.

[Matthew 7:12]

「金科玉条」

己所不欲勿施於人

己の欲せざる所を
人に施すこと勿れ
。

おのれの
ほっせざる
ところを人に
ほどこすこと
なかれ

same	seem	similar	sympathy	semblance
同じ	(同じ)みたいだ	同様の	同情	類似
synchronized swimming	simultaneous interpretation	symphony		
同時水泳	同時通訳	交響楽 (音楽合同演奏)		

* 何となく分かりあうのが、必要なので 似た音は大体似た意味を持ちます。

勿論、紙に裏と表があるように例外はありますが。 *

Bilinguals' Integrity

Integral Bilinguals

in order to be thoughtful and considerate human beings

思いやりがあり、思慮深い人間になるための外国語学習

音感

sound

euphony

外観

appearance

symmetry

対称

語彙

vocabulary

idioms

利口

倒置

inversion (reversing)

irony (sarcasm)

破格

(5) the bicycle (~~which/that~~) Tom has トムの持っている (ところの) 自転車

上の関係代名詞句と次の各文を比較してください。

ポイントはいつものことですが、動詞の形です。

イ 単語の羅列だけの会話。

The bicycle, that, Tom has.

自転車、それ、トムが持っています。

ロ 関係代名詞使用の文。

The bicycle that Tom has is nice.

トムが持っている自転車は素敵です。

ハ 語句と単文の会話。

The bicycle, Tom has that.

その自転車、トムはそれを持っています。

ニ 普通の文

Tom has that bicycle.

トムはその自転車を持っています。

《 要するに、同じ内容を伝えるのに、たくさんの言い方があるということです。 》

(6) the bicycle [which/that] **belongs to Tom** トムに所属する[ところの]自転車

上の関係代名詞句と次の各文を比較して下さい。

イ The bicycle belongs to Tom. その自転車はトムのものです。(トムに所属します)。

ロ The bicycle, that belongs to Tom. その自転車、それはトムのものです。

ハ The bicycle that belongs to Tom is nice. トムの自転車は素敵です。

ニ The bicycle that Tom has is nice. トムが持っているところの自転車は素敵です。

ホ The bicycle ~~that~~ Tom has is nice. トムが持っている自転車は素敵です。

【4】 文型にまどわされない！ <Kernel Sentence> Find out the kernel. 核

話し言葉があくまでも、核心であるので、そのことを常に念頭に置くことが必要です。

This is a lion. ⇔ What is this? S V C

This is like a tiger. ⇔ What is this like? S V

This is called "puma". ⇔ What is this called? S V O C

【練習】 上の各英文と下の日本語を比較してみて、共通の部分を考えてみて下さい。

イ これはライオン(みたい・とよばれています)です。

ロ これは何(みたい・と呼ばれています)ですか？

Cf. ◎ You must spit out the kernel. 種を吐き出す。

◎ the kernel of this problem この問題の核心

【* Practice Makes Perfect * 習うより慣れろ *】 Complete the following sentences.

例にならって、疑問文をつくってみてください。

Ex. He is a teacher. ⇔ What is he?

イ He is like a lion. ⇔

彼はライオンみたいです。

ロ He is called Billy. ⇔

彼はビリーとよべます。

(1) 文法的に説明できますか? 動詞の前の名詞がその主語

1. I want to go. ex. I get him to go. I have him go. ex. make
 2. I want me[myself] to go.
 3. I want him to go.
 4. I want him happy.
 5. I want him a doctor.
 6. I want him to be a doctor.
 7. I want him to marry her.

主語と同じ目的語の場合は普通は省略されるので、このことをはっきり認識しておかないと、文章の構成が支離滅裂になってしまう。動詞はあくまでも他動詞であって、目的語が無い場合は要注意です。

- ☺ He walks to school. (= He walks himself to school.) 歩く (自分を歩かせる。)
 ☺ She got up. (= She got herself up.) 起きた (自分を起こした。)
 ☺ He has nothing (for himself) to eat. 彼は (自分が) 食べるものを何もっていない。
 ☺ He has nothing for me to eat. 彼は私が食べるものを何もっていない。

【ease : breathe : breeze 阿吽の呼吸】あうん amen omen 南無

symmetry & balance 対称・均整

核文を変換するとき、左右対称にするために、付属の語を合わせる。

- | | | | |
|---|--|-----------|---|
| { | 1. He saw Mary open . | ○ △ □ | } |
| | 1'. Mary was seen to open . | □ × △ × ○ | |
| { | 2. He married Mary. | ○ △ □ | } |
| | 2'. He was married to Mary. | □ × △ × ○ | |

能動態から受動態に変換するとき、対称性に留意してください。

Be 動詞や by などの前置詞によって、左右対称になるように配列されます。

(2) kicking boy → kickin' one → kicker ≠ kicked boy

蹴る少年 蹴る人 蹴り手 蹴られる少年
 能動態 (V+ing) と 受動態 (V+ed) 現在分詞 (V+ing) と 過去分詞 (V+ed)

している人 (能動態・現在分詞) と される人 (受動態・過去分詞) の区別をはっきりと！

① a bird-loving boy a car-parking lot a clothe-washing machines
 鳥を愛する少年
 a boy loving birds a lot (for) parking cars a machine (for) washing clothes

(イ) a bird-surprising cat (ロ) bird-watching girls
 (ハ) a cat surprising birds
 (ニ) a cat which surprises birds (ホ) girl-watching birds
 (ヘ) a cat which is surprising birds

【ANSWERS】 a * * * * cat

* * * birds

(イ) 鳥を驚かす一匹の猫 (ロ) 鳥を見つめる少女達
 (ハ) 鳥達を驚かす一匹の猫
 (ニ) 鳥達を驚かすところの一匹の猫 (ホ) 少女を見つめる鳥達
 (ヘ) 鳥達を驚かすところの一匹の猫

【難】 ハイフンがあるとないとで、意味が逆転します。混乱しないでよく見極めてください。

ハイフンがあれば、前から順序通りに訳してゆきます。

② a bird-loving boy = a boy (who is) loving birds = a boy who loves birds.
 鳥を愛する 少年 = 鳥を愛している少年 = 鳥を愛するところの少年

ハイフンが無い場合はうしろから逆順に訳して行きます。
 能動態であろうが受動態であろうが、関係無く訳して行けます。

③ a bird loving boys = a boy-loving bird = a bird who is loving boys.
 少年を愛している鳥 = 少年を愛する鳥 = 少年を愛するところの鳥

【応用問題】

(イ) a bird-loved boy a Shakespeare-driven car / a water-washed machine
 鳥に愛される少年
 (ロ) a boy loved by birds a car driven by Shakespeare / a machine washed with water
 鳥によって愛される少年

複数形のときに注意！

(ハ) boy-bought birds (ニ) people-loved music
 (ホ) birds bought by boys
 (ヘ) birds which are bought by boys

【ANSWERS】

(ハ) 少年に買われる鳥達

(ニ) 人々に愛される音楽

(ホ) 少年によって愛される鳥達

(ヘ) 少年によって愛されるところの鳥達

(3) REVIEW つぶあん？ 半つぶあん？ こしあん？

whole bean half mashed fully mashed (strained bean jam)

駐車場、洗濯機などは、わかりきっているので目的語が省略されています。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ① a lot for parking cars | ② a machine for washing clothes |
| ← 車を停めるための区画 | 着物を洗うための機械 |
| a car-parking lot | a clothe-washing machine |
| → 車を停める区画 | 着物を洗う機械 |
| { a parking lot | a washing machine |
| → 駐車場 | 洗濯機 |
- (car や clothe は明らかなので、省略される。)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ③ a people-broken window | ④ a heart-breaking story |
| 人々にこわされた窓 | 心を痛める物語 |
| a broken window | a breaking story |
| こわされた窓 | 痛ましい物語 |

breathe & breeze [発音と語彙] 発音と意味の類似に留意しよう。 **breath & bless**

- | | | | | | |
|----------------|-------------------------|----------------|-------|--------|-------------|
| ash | cash | trash | mash | smash | crash |
| 灰 | 現金(札) | くず | すりつぶす | 粉々にこわす | 激突してバラバラになる |
| crush | a lemon crush (=squash) | crush a revolt | | | |
| 押しつぶす・べたぼれる/果汁 | レモンスカッシュ(レモン圧縮汁) | 反乱を鎮圧する | | | |

余韻(lingering or echoing sounds)を錯覚しないように

audio-visual confusion (= ear illusion & eye illusion)

- ① 同じものを反転させて発音 shrub (sh'ub) = bush
- ② 聞きなれない音は強い音に何かを足す。crush (c'ush) = squashes スカッシュ
- ③ 強い音のために、間違って聞き取る 42 forty-two ≠ 24 twenty-four

人間は適当に自分の世界の音を作り上げる作業をする。

boarder = broad → abroad ≠ road

材 材 材 材

(5) with = having

after = following

前置詞と分詞

前置詞と分詞は類似のはたらきをする。(連用修飾・連体修飾)

イ He is in sleep ⇔ He is sleeping ⇔ He is sleepy ⇔ He is asleep

睡眠中です。 ⇔ 寝ています。 ⇔ 彼は眠い。 ⇔ 彼は寝ている。

ロ He was busy in the process of preparing the report. ⇔ He was busy preparing the report.

レポートを用意中で忙しかった。 ⇔ レポートを用意していて忙しかった。

ハ with some money = having some money

お金をいくらかもって=お金をいくらか持って

ニ after getting there = following getting there

そこに着いたあと(後) = そこに着いてから(着いて、ひき続いて)

◎ 以下の regarding; concerning; during などは、分詞が前置詞になってしまった例。

ホ about the matter = **regarding** the matter = **concerning** the matter

.....そのことについて = そのことに関して (をながめて) = そのことに関して (を氣にかけて).....

^ **during** the night[the summer, his stay].....

.....その夜 (夏 ; 滞在) の間に.....

cf. ト According to him, ---- = According to what he says, ----.

彼の話では -----.

チ According to the paper, the man has finally confessed.

新聞によると、男はついに自白したそうだ。

リ Our views accord with(on) the new proposal. ≠discord > cord

我々の意見は新提案に (ついては) 一致している

(6) 【REVIEW】 before & behind 発音の位置は？ 前部> 後部 唇> 喉

f は唇で h は喉の奥で 発音する。 意味も平行・対応する。

[1] fore before find fire fall follow.....

前方 前に 見つける 解雇する (追い出す) 落ちる 付随する.....

[2] hind behind hide hire hall hollow.....

後方 後ろに 隠す 雇用 (雇い入れる) 会館 空洞.....

(7) ~~likeway~~ = ~~likeways~~ = likewise 同様に

wise は ways の変形です。これは音からの影響でスペルが連動した例。

way はウワイと発音する習慣があり、ways は副詞を明示するために s を付加したものです。だから、ウワイズと発音しても、「wise/聡明」の意味はありません。あくまでも、方法・方向の意味ですので、「みたいな方法で・同様に」とかの意味になるのは当然です。

イ likewise otherwise clockwise counterclockwise.....

同様に そうでなければ 時計方向に 反時計方向に.....

ロ ward(s) も同様です。 way wise ward wards.....

forward backward eastward homeward inward toward(=to).....

前方の (に) 後方の (に) 東方の (に) 家の方の (に) 内の (へ) ~の方の (に).....

cf. ---s 副詞を示す forwards: upstairs

forwards backwards eastwards homewards inwards towards.....

前方に 後方に 東方に 家の方に 内へ ~の方に.....

- (9) **How to get there is important.**
⇔ How to get there, it is important.

主語になる語・句・節をはっきり理解する。

- イ **How to get there is important.** 主語句
.....
.....どのようにしてそこに着くということが大切だ。
- ロ **How to get there is important.** 主語句
.....
.....そこに着くということが大切だ。
- ハ **It is important.** 主語
.....
.....大切ですよ。
- ニ **It is important, how to get there.** 主語句
.....
.....大切ですよ、いかにそこに着くかが。
- ホ **It is important to get there.** 主語句
.....
.....そこに着くことは大切です。
- ヘ **It is important that Tom get there.** 主語節
.....
.....トムがそこに着くことが大切です。

- Cf. ① What to do is ② Where to go is ③ When to go is
.....何をすること.....どこに行く.....何時、行く.....

(10) 【① 事実 / ② 条件 / ③ 反実仮想】

英語では一般に強調したいことを、前に出す。

しかし、日本語では、後半に置く（尚且つ、言わない）。

See you again ~~if it is so.~~ さようならば、また会いましょう。

① 【事実】

- イ ~~My child was watching TV when I came home.~~
.....子どもはテレビを見ていた。家に戻ると.....
- ロ ~~When I came home, my child was watching TV.~~
.....私が帰宅した時には、子供はテレビをみていた.....

② 【条件】 実現可能な仮定

- ハ **I'll go out if it doesn't rain.**
.....私はでかけるだろう、もし雨が降らなければ.....
- ニ **If it doesn't rain, I'll go out.**
.....

もし雨がふらなければ、わたしは出かけるだろう。――

③【仮定法＝反実仮想】（現在・過去の）事実と反する実現不可能な思い。

ホ I'd go out if it were not raining. (= I don't go out because it is raining).

もし雨が降っていなければ、出かけるだろうに。

ハ I'd have gone out if it had not been raining. (= I didn't go out because it was raining.)

もし雨が降っていなかったら、出かけたのに。

(11) Breathe in some breeze and bless yourself.

Just a feeling ニュアンスの違い? (語尾)を濁すのが、会話のコツ?

イ (It is) Nice to have met you. お会いできてうれしい(です)。

ロ It was Nice to meet you. お会いできてうれし(かったです)。

ハ (It is) Nice to meet you now. お会いできるのはうれしい(です)。

ニ (It will be) Nice to meet you tomorrow. お会いできるのはうれしい(でしょう)。

ホ (It is) Nice meeting you. (= I'm meeting you like this.)

このようにお会いできてうれしい(です)。

述語動詞の時制に注意

ハ I **am** happy to meet you. 会えて、うれしい**デス**。

ト I **am** happy when I can meet you. 会えるので、うれしい**デス**。

チ I **will be** happy if I can meet you. もし会えれば、うれしい**ダロウ**。

リ I **would be** happy if I met you. もし会えたら、うれしい**ダロウニ**。

ヌ I **would have been** happy if I had met you then.

その時、もし会えていたら、うれし**カッタダロウニ**。

(12) he s+ he t+ he +y t+ he t+ he +n

	he	she	they	the	then	
(1) who	he	she	they	we	you	I +は 誰は
(2) whose	his	her	their	our	your	my +の 誰の
(3) whom	him	her	them	us	you	me +を 誰を
<hr/>						
(4) he	the	this	that	then	there	そ+ かれ
(5) who	which		what	when	where	ど+ だれ

Eve was created from the rib of sleeping Adam. (Old Testament),

イヴは眠っているアダムの肋骨から創られた。(旧約聖書)

すなわち、「He 神 → he 神の子 (男)」 をもとにして、語彙を増やして来た。

【参考】イ Bible = papyrus = paper かみ 神 紙 上 おがむ おかむ 御幣

▯ Hi はい ; 参拝 =good Hey へい (丙) =bad

ハ Amen Omen hail hell hello

ニ 卍 swastika (= peace = defence) 逆卍(counter swastika) (= war = offence)

(14) Is that it? Yes, that's it! (No, it isn't **that**.)

ティット

ツイット

nice-sounding words (耳ざわりのよい音=婉曲) イッ id

イー eat easy イッ it イ y イン in'

Follow your id(= feeling and thinking)

libido	id	it	I	ID	idea	identity
本能	本質	そのもの	自我	自己確認	考え	自身

(イ) He's it!..... = He's the player! He's the one! He's God! He's Devil!

(彼が) それだ! そのものだ! カミだ。オニだ!

(ロ) Forget it..... Stop it.

忘れろよ。(気にしないでいいよ)。とまってくれよ。

(ハ) He is Billy. (Bill = Williams)

ビリーです。(ビルちゃん)

(ニ) He is happy. (hap happen)

うれしいです。

****en ちょっと一息 en****

(Breathe in a breeze and bless yourself)

en は「～する」の意味で、何にでもついて動詞を作ります。

op open / wide widen

光	光を入れる・開ける	広い	広げる
courage	encourage	/	strength strengthen
勇気	勇気づける	強さ	強める

(ホ) Shakespeare's studyin' it. (is studying it) S V O
 シェークスピアは研究してますよ。

(ヘ) Shakespeare's studied by them. (is studied by) S V (C)
 シェークスピアは研究されてますよ。

(ト) Shakespeare's studied it. (has studied it) S V O
 シェークスピアは研究しましたよ。

(㉔) You can make it!

You made it!

やれますよ!

やりましたね!

(㉕) I make it a rule to take a walk in the morning. S V O C

(朝に) 散歩すること (をきまり) にしている。

(㉖) I found it nice to take a walk in the morning. S V O C

散歩することはいいとわかった。

(㉗) It is good to take a walk in the morning. S V C

散歩することはいいです。

(㉘) It is a good idea to take a walk in the morning. S V C

散歩することはいい考えです。

(㉙) Did you miss callin' him? 動名詞のみをとる動詞群 << 呼応 >>

音感 (音韻) イツ — イヌ miss ----in' i — in'

類似音 (en = in enter ⇌ inter)

外觀 (視覚韻) で呼応 mind callin' him in ---in'

関連音 (音便) オ — イ avoid callin' him o ---in'

enjoy consider finish admit miss risk

楽しむ 考慮する 仕上げる 認める 仕損じる 危険を冒す

report resent deny justify escape evade

報告する 毛嫌う 否定する 正当化する 脱する 逃れる

acknowledge tolerate stop adore postpone

認識する 忍耐する やめる 憶れる 延期する

(㉚) ユー = 優 快音 euphony (婉曲・音便)

you eulogy eugenics utopia useful Europe

貴方・彼方 賛辞・弔辞 優生学 理想郷 有益な ヨーロッパ

(4) 仮定法＝反実 仮想法 述語部分の時制に着目！！

＜ if ⇔ in (the) future ＞

現実と非現実を区別するために、文法と時制をわざと間違えて仮定法を作る。

但し、口語では、非常に曖昧である。作文時に、規則通りにすればよい。

Cf. 日本語では、仮定法には2種{①条件法 ②反実仮想法}がある。

そのために、英語使用時に混乱することになる。

① 直説法 I'm happy when you're here.

君がいると、うれしいです。

(i) I'm happy as you're here いるので、

(ii) I'm happy because you're いるから、

(iii) I'm happy for you're here いるせいで、

② 条件法 ――れば、 ――だろう

[条件法は実現可能の未来、だから、 if の使用は適当。]

I will be happy if you're here tomorrow.

もし明日、君がいれば、うれしくなるだろう。

③ 仮定法 れば、 ――だろうに

[英語の仮定法は実現不可能のみ。 if の存在自体が場違い！]

I would be happy, if you were here now.

もし、今君がいれば、うれしい（だろう）のに。

但し、

Cf. 自分で不可能と思っている時は、未来の事でも、仮定法とする。

I may be happy, if you (should) be here tomorrow.

(不可能ではあるが、) もし (万一) 明日、君がいれば、うれしくなるだろうに。

③' 仮定法 (反実仮想) 人称と時制を錯誤して、非現実を示す。(Disagreements)

文語の場合と違って、口語の場合には、錯誤の度合いが曖昧である。さらに、英語の時制と日本語の時制も、往々にして一致しない。

(イ) 口語 △ 君が今ここにいれば、うれしいのに。

I'd be happy now if you are here. But you're not here.

(= I'm not happy because you're not here now.)

(ロ) 文語 ○ 君が今いたら、うれしいだろうに。(≡いたならば)

I'd be happy if you were here (now). But you're not here.

仮定法 過去

(= I'm not happy because you're not here now.) 実際は現在事実の否定

(ハ) 君がその時いたならば、うれしかっただろうに。(≡いていたならば)

I'd have been happy then if you had been here. But you weren't here then.

仮定法 過去 完了

(= I was not happy because you were not here then.) 実際は過去事実の否定

POINTS for the sake of convenience (=for convenience' sake)

仮定法 (subjunctive mood= thought mood) ≠ 叙説法 (indicative mood = fact mood)

仮定法未来 subjunctive future

仮定法現在 subjunctive present

仮定法過去 subjunctive past

仮定法過去完了 subjunctive past perfect

PRACTICE

助動詞や動詞の時制に注意

仮定の言い方と現在の状況を把握

*** If 節の重点がある場合、ニ・ホ・ハ _____ の部分

(ニ) 仮定法現在 (条件法) もし～ならば、———するだろう。

If the rumor is true, anything will happen.

現在形

未来形

もし噂が本当ならば、どんなことでも起こるだろう。

(ホ) 仮定法過去 もし～ならば、———する (だろう) のに。

If the rumor were true, anything would happen.

過去形

未来過去形

もし噂が本当ならば、どんなことでも起こる (だろう) のに。

(ハ) 仮定法過去完了 もし～だったら、———した (だろう) のに。

If the rumor had been true, anything would have happened.

過去完了形

未来完了形

もし噂が本当だったら、どんなことでも起こった (だろう) のに。

???? 仮定法未来と未来完了は極めてあいまいで、次のようになる。????

*** 主節に重点がある場合、ト・チ _____ の部分

(ト) 仮定法未来は (ホ)の実現可能性が少しでも、未来にある場合。 ⇨ 仮定法過去
(～するのだが。～するだろうに)

(ア) If I were rich, I would buy many books.

もし金持ちだったら、本をたくさん買うのだが。

(イ) If anything should be true, anything would happen.

もし万一噂が本当ならば、どんなことでも起こるだろうに。

(ウ) What would happen if the earth were to stop turning around the sun?

もし万一、地球が公転をやめたら、一体どういうことになるだろうか？

(チ) 仮定法未来完了は (ハ)の現在になってしまっている状態。 ⇨ 仮定法過去完了
(～してしまっているのだが。～してしまっているだろうに)

(エ) If I had been rich, I would have bought many books.

もし金持ちだったら、本をたくさん買ったのだが。

EX. sequence of tenses 時制の一致 / agreement / symmetry

(リ) If I love him, I will marry him.

現在形、 未来・原形

..... (= I will marry him if I love him.)

..... 彼を愛していれば、結婚するだろう。

..... Because I don't love him, I will not marry him.

..... 彼を愛していないので、結婚しない。

(ヌ) If I **loved** him, I **would marry** him. 過去形、**未過・原形**

(= I would marry him if I love him.)

彼を愛していたら、結婚するのに。

Because I don't love him, I won't marry him.

(ル) If I **had loved** him, I **would have married** him. 過去・過分、**未過・原形・過分**

(= I would have married him if I had loved him.)

彼を愛していたならば、結婚したのに。

Because I did not love him, I did not marry him.

④ other idiom-like subjunctives

(イ) (May) God **bless** you. × blesses

神様、お恵みあれ！

(ロ) It is necessary that he **attend** the meeting. × attends

彼がミーティングに出席することは必要です。

(ハ) I suggest that every one **try** it. × tries

皆さんは試してみたほうがいいと思います。(示唆する)

----- 以上の文においては、**原形に注意！** すぐ前に (should) が省略されている！

demand/ desire/ move/ order/ propose/ request など

「要望・要請 (命令口調)」をあらわす語のあとの節では、should を使うが、米国では省略することが多いので、原形の動詞がそのまま残ることになる。間接的な、命令口調になるので、普通の命令形と同じように聞こえる。これは、強制的な使役動詞のあとの、

動詞が原形不定詞になると、パターンが同じである。

【例】使役 make let

They made him **go** there.

They let them marry.

(二) We had better begin at once.

すぐさま始めたほうがいいよ。

≡ We'd have it better if we should begin at once. すぐさま始めたら、よくなるのに。

\nRightarrow We'd have the project be better if we should begin it at once.

すぐさま始めたら、計画がもっとうまくできるのに。

①We would have it better we should begin it at once.

②We would have ~~it better~~ ~~we should~~ begin it at once.

③ We'd have

④ We had better begin it at once. すぐに始めた方がいい。

(実際は手遅れが多い。)

(ホ) I would rather die than marry him. 仮定法

彼と結婚するよりはむしろ死のだろうに。(実際は死なない)

= I might as well die as marry him. 假定法

彼と結婚するくらいなら死んだ方がましだ。(実際は死なない)

≠ I prefer dying to marrying. **直説法** 結婚するより死ぬ方を好む。(実際に死ぬ)

= I prefer to die rather than to marry him. 直說法

彼と結婚するよりはむしろ死ぬことを好む。(実際に死ぬ)

(^) I would[=should] like to discuss this.

このことを討論したいのですが。

= I would like to discuss this if it were alright.

もしよければ、このことを討論したいのですが。

--

(ト) She sings nicely as if she were a professional singer.

彼女はまるでプロの歌手のように上手に歌う。

= She sings nicely as she would sing if she were a professional singer.

彼女はもしプロの歌手だったら歌うように、上手に歌う。

(チ) If it were not for your help, I should fail.

もしあなたの助けがなければ、私は失敗するだろうに。

= Were it not for your help, I should fail.

= But for your help, I should fail.

= Without your help, I should fail.

≡ I will not fail because there is your help.

A La Carte (according to the card)

a と o は同じ語であることに着目すれば、語彙が飛躍的に増加する。

瞬時に正確に記憶できるだけでなく、自信を持って使用できるようになる。

(1) a = o a = o OK = All Correct

(イ) aboard on board on the board

搭乗して 甲板上に 甲板に乗って

(ロ) away on way on the way

途上 途上に 道の上で

(ハ) atop the desk on top of the desk on the top of the desk

机上に 机の上に 机のトップ上に

(ニ) those ⇔ that these ⇔ this

あれらの あれの (あの) これらの これの (この)

(ホ) taught caught / thought bought brought

トオト コオト ト'オト ボオト ブロオト

(2) b と v はもとは発音は同じ。

(ヘ) via Tokyo by the way of Tokyo

東京経由で 東京の道に由って

(1) because by the cause that ~

なぜならば ~という理由によって

b 息 f 浮 v 揚・蒸発

blow flow volley (一斉射撃する) volatile (揮発の)

volcano (火山・噴火する山) vocal 発声の vote 投票

(3) Gerund & Progressive Form 動名詞 & 進行形

不定詞 こと → こと She likes to study. 勉強することが好きだ。 Formal (文語)

動名詞 もの → の She likes studying. 勉強するのが好きだ。 Casual (口語)

① thing = もの ⇒ の smoke + thing = smoking
動詞 + 名詞 = 動名詞
タバコを吸う + もの = タバコを吸うの

(1) stop smoking enjoy talking consider going

タバコを吸うのをやめる 話すのを楽しむ 行くのを考慮する

(2) finish painting miss meeting him avoid meeting her

描くのを仕上げる 会いそこなう 会うのを避ける

② 進行形と動名詞は同じ性質を持つ。動作が行われているか、その動作そのものを指す。

(1) She was smoking and now stopped smoking.

彼女はタバコを吸っていたが、今、吸うのをやめた。

② 動名詞&不定詞 は性質が違う。「動作の既定・進行」&「動作の未然・未来発生」

すなわち、動名詞は、動作がすでに行われていることを示し、不定詞は、これから行われることを示す。

(1) She stopped smoking to work. (= She stopped smoking and started to work.)

働くためにタバコを吸うのをやめた。

(2) She stopped working to smoke. (= She stopped working and began to smoke.)

タバコを吸うために働くのをやめた。

(へ) She is going to smoke now.

今、タバコを吸おうとしている。

④ thing もの・物 build thing → building ← (built thing)

(ト) thing built thing written thing read (ウレツト)

thing for building thing for writing thing for reading

building (建物) writing (書き物) reading (読み物)

(フ) thing to clothe thing to knit thing to house

clothing (着物) knitting (編み物) housing (住まい)

(リ) washing teaching thinking saying footing

洗い物 教え 考え 話(ことわざ) 足場

⑤ 目的格＋不定詞 (動名詞)? or 所有格＋動名詞?

(ヌ) Do you hate me to sing? ⇒ 目的格＋不定詞

私が歌うのが嫌いですか?

(ル) Do you mind me singing? (俗) They all do this mistake.

私が歌うのが嫌ですか?

みんなが間違えば、こわくない!?

(リ) Do you mind my singing? (正) too correct to say; embarrassing

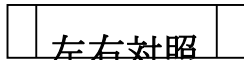
私の歌うのが嫌ですか?

文法的に正し過ぎて、言うのに抵抗がある。

(カ) Do you mind my car? ⇒ 所有格＋名詞

私の車が嫌ですか?

(4) symmetry



左右対照

harmony・euphony 協和音 (× cacophony 不協和音)

音感だけでなく、外観も整合性・バランスを無意識・潜在的に必要とする。

euphonious sound & good appearance

① She marries me.

私と結婚する。

I am married to her. ≡ I am tied to her. ≡ I belong to her.

私は彼女と結婚しています。 彼女に結びつけられている。 彼女のものです。

② He heard me sing.

私が歌うのを聞いた。

I was heard to sing (by him).

歌うのを聞かれた。

【注意】 be 動詞や to などの前置詞は付属語として、みなされる。

- (5) preposition 前置詞には必然性がある。 no by chance (=まぐれは無し)
logical necessity (論理的必然) / acoustical necessity (音響学的必然)
aural-oral (耳の - 口の) / audio-lingual (聴覚の - 舌の) = (聞く - 話す)
logic and magic (論理 と 奇術)

【例】 to の場合 (口語ではほとんど with で代用される)

- (イ) ---ch reach attach touch teach search etching ---- チ
着 着く 付着する 触れる 教える 搜索する 食刻 (銅版彫刻)
- (ロ) ---to go to get to agree to belong to ---- ツ
に に行く に着く に同意する に所属する
- (ハ) 受身 be tied to be married to be attached to
に に結びつけられる と結婚している にくっつけられる
- (ニ) 過去分詞 a dog tied to a post a basket attached to a bicycle
～される 柱に結び付けられた犬 自転車にくっつけられたカゴ
- a boy attracted to me
私に惹き付けられた少年

(6) Topology (位相学) 舌の位置と口腔との関係 oral cavity(the mouth) (既出)

① r と l の発音の時、舌の位置や力の入れ具合がそのまま意味に関係する。

- (イ) r praise raise rise right correct ripe rot
起;立 ほめ上げる 上げる 上がる 直立 正解の 実る 腐る
- (ロ) l place lay lie die collect lot
横;臥 配置する 横にする 横になる 死ぬ 並べ集める 区画

* in は中に入れるか、～中のどちらかの意味になる。

- (ハ) in contain retain mind stain gain remain
中・込む 収納する 保留する 気に留める しみ 入手する 残留している
- (ニ) -in- playin' ink sting begin in class
中・内 遊び中 沁みこむ 刺す 始める (着手する) 授業中

② 元気(genki) の素は遺伝子と酸素 --- ジーンと来るのも遺伝子のせい?

- (ホ) gene gentle generous energy oxygen genius genuine
遺伝子 やさしい 寛大な エネルギー 酸素 天才 真正の

generation	generator	hydrogen	hygrograph	hygienics
世代	発電機	水素	湿度計	衛生学

③ --- t は本来は動詞であった。

(h)	doctor	doct	⇒	toxin (毒素)	toxicant (毒物)	
	医師	医療する				
(i)	picture	pict	depict	define		
	絵	描く	描き出す	定義/説明する		
(f)	option	opt	⇒	o	op	open
	選択	目で選ぶ		眼	眼光	眼を開く
(l)	collector	collect				
	収集家	集める				

(7) Tom, -----, is coming to see me. 長文読解のコツ

- (A) , ----, の部分は無視して、全体の構成を理解する。
 (B) 主文の述語動詞を見つける。 Find the main verb!

(i) Tom, who is a teacher, is going to marry Mary.

(教師の) トムはメアリーと結婚します。

(ii) Tom, who is a teacher, is going to marry Mary.

トムはメアリーと結婚します。彼は教師です。

(会話) = Tom, he is a teacher, and he is going to marry Mary.

トムは教師です、そして、メアリーと結婚するんです。

(iii) Mary, teaching at a school, is coming to see me.

(学校で教えている) メアリーが私に会いに来ます。

(iv) Mary, teaching at a school, is coming to see me.

メアリーは私に会いに来ます。学校で教えています。

(8) 得る ⇒ もらう ⇒ あげる ⇒ ~の状態を得る (にする)

get have give have / become

主語と目的語が同じ時は、ふつうは目的語を省略します。異なる時は、省略できません

① 目的語のあとに名詞が来る時。

(i) I get ~~(myself)~~ a book. 本をもらう。 ←自分自身に本をあげる。

(ii) I get **you** a book. あなたに本をあげる。

(iii) He gets **me** a book. 彼は私に本をくれる。

② 目的語のあとに形容詞が来る時。

(i) She got ~~(herself)~~ sick. 彼女は気分が悪くなった。

(ホ) She got me sick. 彼女のために気分が悪くなった。← 彼女は私を気分を悪くさせた。
(= She got me to be sick.)

③ 目的語のあとに動詞が来る時。

(ハ) He got (himself) to work. 彼は仕事を始めた。← 彼は彼自身を仕事につかせた。

(ト) He got her to work. 彼は彼女を働かせた。← 彼は彼女を仕事につかせた。

(9) あなたが非難さるべきです。 You are to blame.

① to 不定詞 の後ろに目的語が無い場合。 to love

(イ) She's to love. 彼女は愛さるべきだ。

(ロ) ⇨ She's the girl for me to love. 彼女は私が愛すべき少女だ。

② to 不定詞 の後ろに目的語がある場合。 to love me

(ハ) She's to love me. 彼女は私を愛すべきだ。

(ニ) ⇨ She's the girl to love me. 彼女は私を愛すべき少女だ。

(ホ) ⇨ She's going to lve me. 彼女は私を愛するだろう。

(10) on the & off the / on ~~the~~ & off ~~the~~

the がつく場合は具体的、手でさわれるものを指す時。 play the piano

the がつかない場合は抽象的で、手でつかみようのないものを指す時。 play baseball

*** the やs が付く名詞 & 付かない名詞 = 手でつかめる & つかめない? ***

(イ) the on the train on the board on the plane on the bus

電車に乗って 船に乗って 飛行機に乗って バスに乗って

on the island; on the knees; on the foot; on the desk

島で 膝で 脚で立って 机の上で

(ロ) ~~the~~ on duty on business on vacation on board

勤務中 仕事で 休暇で 搭乗

(ハ) the get off the train get off the board get off the plane

電車から降りて 船から降りて 飛行機から降りて

get off the island get off the foot

島から離れて 足場を無くして(倒れる)

(ニ) ~~the~~ off duty off business off vacation off board

非番で 休暇で 仕事で 下船・離艦

(ホ) the play the piano play the violin tangible(touchable)
 ピアノを弾く バイオリンを弾く 手でさわれる

(ハ) ~~the~~ play baseball play basketball intangible(untouchable)
 野球をする バasketををする 手でさわれない

(ト) - s many oranges a few books few pens no apples

(チ) -× much time a little milk little butter no money

日常会話では、① a coffee = a cup of coffee / two coffees

② What kind of a fruit do you like? などと言う場合が多い。①の場合は、1杯、2杯の意味、②は果物の種類などを聞くからであるが、しかし、実際は、ほとんど意識せずに、口調が自然だから、という感じである。

たとえば、次の③④のように、itを入れて、同じ事柄を示すのも、相手にやさしい一つの口調の整えである。

③ I appreciate (it) if you do so.

そうしていただけたら、感謝します。

③ Do you like (it) teaching tennis here?

ここでテニスを教えるのが気に入っていますか？

(11) by ～ (近く、そば) & till(= until; to) ～ (到着)

～までに戻る (終わる) & ～まで (続けて働く ; 滞在する)

(1) get back by 5:00 <時間> work till 5:00
 5時までに戻る 5時まで働く (続ける)

(2) drop by me <距離> come to me
 立ち寄る (私のそばに落ちる) 私の所まで来る

(3) live by the station <場所> get to the station
 駅のそばに住む 駅に着く

(12) of(～の中から) / out of(～の中から外へ) / off(～から離れて) / from(～から)

(イ) This is made of stone. 石の中から (石の性質を持ったまま)
 これは石で作られています。

(ロ) It is nice of you to say so. (あなたの性質から生まれるやさしさ)
 そういってくださって、ご親切様です。(ありがとう)

= You are nice (enough) to say so.

(ハ) go out of the room ≠ from this room to that room

部屋の中から出て行く

この部屋からあの部屋へ（ドアからドアへ）

(二) of the course = on the course ⇒ of course (もちろん)

コースに属して＝コース上に ⇒ the が無くなれば、熟語になり、「勿論」となる。

(ホ) off the course

コースから外れて

◎ Not a long day but a good heart rids work. ◎

人生を意義深く生きるには時間の長さではなく、充実した意欲によるところが大きい。

(○ Don't put off till tomorrow what you can do today.)

(△ Don't put what you can do today off till tomorrow.)

⊗ **Every herring must hang by its own gill.** ☺

ニシンはみな自分のえらでぶらさがらなければならない。

(Heaven helps those who help themselves.)

It's

“thesaurus” (for a thinking reed 考える葦のための) ”言葉の宝庫”

デス。

デスカラ、小さい文字の説明部分は、関心のある方のためですので、読み飛ばしていただいて結構です。目にとまったところから、読み進めていってください。

1. a dictionary of synonyms and antonyms 2. any dictionary, encyclopedia, or other comprehensive reference book. 3. a storehouse, repository, or treasury

類義語・反意語・百科辞書・総合的な・倉庫・貯蔵所・宝庫

(2) ジーンと来る? 人徳 ⇒ 仁 ⇒ gene genius

【経緯】という言葉が示しているように経線と緯線によって、地球上の位置を明示するように、人間の社会も経線（社会環境）と緯線（個人の行動）とによって編み出されて来ました。符を合するように、音声と口腔もまた、同様の関係活動をしています。

(経緯・いきさつ)

Bible	His story	history	story	Laurel wreath
聖書	神話・「彼」の物語	歴史	物語（自分史）	月桂冠

経(縦糸)	経済	経線	経典	經由	globe & lobe earth & brain	前頭葉
緯(横糸)	偉人	緯線	違う	葦		左右頭葉

* 「経緯」に 関係する語句や人物 経典・スートラ・したら・だらしない・
キリスト・釈迦・達磨・樋口一葉

《注》 本テキスト中の英語の語句には基本的には訳語を併記していますが、何度も重複するものには、対訳日本語は省略するようにしています。

(3) synergetic effect 相乗効果

く 音声と口腔の位置との相互関係を理解すれば、語彙の量も運用能力も飛躍する。>

“I am thinking.” ??? OR “I am sinking” ???

th [θ] truth between the teeth “Thank you!”

- (A)ひ Row, row, row your boat,
 (B)ふ gently down the stream,
 (C)み merrily, merrily, merrily, merrily
 (D)よ life is but a dream.

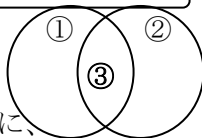
さはがしき
 虫魚のごとき
 この身をば
 草木のごとき
 安んぜしめむ

聖徳太子
 唯仏是真
 仏のみ これまこと
 世間虚仮
 せけんは こげなり
 織田信長

【Ⅱ】音感 (Euphony) と 外観 (Appearance)

表音文字 (alphabet ・ ひらがな ・ カタカナ) と 表意文字 (漢字)

英語にも、① (r/l f/h th/s)のように、音を聞いて、感じの違いがすぐに 音 ③ 形伝わるものと、②(eye/see/sleep; b/d; p/q) などのように、目で見て、意味がわかるもの (象形文字 hieroglyph) との2種がある。そして、③ (stop/start/stay/stall; fly/ply/place) などのように文明が発展してゆくにつれて、音と形を複合させて新しく複雑な語が製造されてきた。この仕組みが分かれば、語彙(ことば・vocabulary)に対する理解力は非常に正確に且つ豊富になる。何よりも発音するのが楽しくなるし、感情が自然に伴ってくる。むつかしく複雑な語句や文ほど、好ましくなってくる。むつかしい漢字や成語ほど、おもしろくなってくるのと同じ具合です。



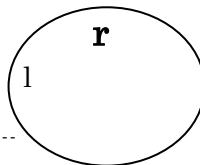
穿・鑿=[穴+牙]・[業一木+臼+殳+金]=穿鑿 (せんさく)

- * chrys ・ anthemum = chrys + **anthemum** = 金+華=菊 * national anthem 国歌
 * christ = 金の人 = 真人 = someone anointed as a ruler
 * vocabulary = vocal + able + **ary** = 音声+可+庫=語彙 / diary, library; treasury

メインになる要素をあげてみれば、次のようなものがある。

④ (i) r 短・直立・速・縮・回・強 → (舌を奥に引いて短くして発音)

short right erect rapid brisk curl strong rude
立てる 急速な キビキビとした 丸める 傲慢な



(u) l 長・慢・遅・弱 → (舌を上歯茎に乗せ、だらしなく長く発音 pillow /枕)

long collect lie lay late slow linger lazy loose
並べ集める 遅れる ぐずぐずする

⑤ eye 眼 (snoopy sleepy)

see seek seem peek peer peep sleep meet keep
探す みえる 透き見する 見入る 覗く 眠る 見張る

③ イ s+l 俗悪・狡猾・下劣・乱暴 (s = 乱暴に摩擦して、l = 力無く、だらしなく発音)

slang slack slow sly slash slay
俗語(=slanguage) だらけた こっそりと めった切りにする 虐殺する

ロ s+t 停止・始発・停滞

start stand stop stay stain stare still sting study
始発する 止まる 留まる しみ 見つめる じっとして 刺し込む じっとみつめる

Invisible & Visible	形而上と形而下 (精神的・肉体的)
詭弁 <u>S</u> ophistry	牽強付会 Far-fetched Jokes
Quibbling	コジツケ
e.g. Phase ⇄ face	Feasibility ⇄ Visibility?
局面 ⇄ 面	実行可能 可視度

(1) ローマ字読み と 英語読み 音と訓 (中国読みと日本読み)

日本語に音読み[中国読み]と訓読み[国読み]があるように、

英語にも「ローマ字読み」と「英語読み」があります。

	a	e	i	o	u
ローマ字読み	ア	エ	イ	オ	ウ
英語読み	エイ	イー	アイ	オウ	ユー

むつかしい英語（書き言葉）は ほとんどがローマ字読みになる。
たとえば、日本語なら、「くに」を「国家」と書き、読むふうに。

【音読み】	liberal	laboratory	significant	facility	ophthalmologist
	自由	実験室	意義深い	施設	眼科医
【訓読み】	library	labor	sign	face	open
	図書館	労働・出産	サイン	顔	開く

(2) sleep? sheep? hituji?

You're totally mistaken! (, getting nowhere.)

日本語音で羊（ひつじ）を数えていては、英語はとっても話せない。← 自己催眠の効果

① 【音の消失（同じテンポ） sleep = sheep = シープ ≠ hitsuji ヒツジ > reduction】

You can maybe go to sleep counting sheep but you can't go to sleep counting 'hituji'!

= シープを数えながらスリープはできるかもしれないが、ひつじを数えながら眠ることはできない。

, Which means that words make your world. Words rule you so much.

すなわち、そのことは言葉が世界を作り、言葉があなたを支配することを意味する。

** same tempo / rhythm / rhyme / melody ⇒ nice harmony **

すなわち、スリープとシープの音の類似とテンポが催眠作用を促す結果になる。

② 【注意】イントネーションに留意して、省略すべきは省略して、余裕をもって発音する。

発音記号をいちいち読んでいてはテンポが遅れる。 としょかん ≠ と・しょ・かん

euphony 音便・語中音消失・切分音 *** reduction syncopation > ev'ry

【例】

(i)	library	vocabulary	February	three	Wednesday	Friday
(ii)	lib'ary	vocab'ary	Feb'ary	th'ee	We'nsday	F'riday

「日本語と同じように、なめらかに自然に」 get it soft and nice

1語1語をせっかちに読むのではなく、省略すべき音は省略して、ゆっくりと余裕を持って、リズムを合わせて読む。常に自分の日本語の話し方に留意し、比較する。

(i)	I am going to see him.	I want to buy it.
(ii)	I'm gonna see 'im.	I wanna buy it.

Pulp Fiction

"catch up = ketchup"

A: Vincent, do you wana hear my joke?

B: Sure.

A: You won't laugh 'cause it's not funny. But if you still wanna hear it, I'll tell it.

B: I can't wait.

A: OK. Three tomatoes are walking down the street, poppa tomato, momma tomato and baby tomato. Baby tomato starts lagging behind and poppa tomato gets relly angry, goes back and squeezes 'im. Says, " Catch up!"

B: "Ketchup." See you around.

REVIEW 【1】

*** Each character has its own character. ***

(どの文字も固有の性格を持っています。)

Feel it, visualize it and figure it out.

Have some idea and get some identity for your ID(identification).

ABC History / idiographic & phonetic representation 表音と表意

phonogram (表音文字) & ideogram/ideograph (表意文字)

英語は表音文字であるが、表意文字の性質も有する。複合して意味を表わす場合も多い。
適当に思いつくままに挙げてみました。試しに次の各語の意味を類推してみてください。

Let's give them a shot. 難解な語句には意味を表記しています。

① e 目 o 全閉 (孔・穴・口) c 半閉 z 眩暈 (めまい) a=o
e 目・眼 eye see seem meet seek peek
捜し求める 覗く

op 眼光 open opinion opt optician optimism ophthalmologist
目で選ぶ 眼鏡士 楽観主義 眼科医

optic nerve optic angle optoelectronics optical illusion
視神経 視野 光電子工学 目の錯覚

optical wand optimum optical memory card
バーコード読み取り棒 望ましい・最適な 光メモリーカード

sleep snoop snoopy hope dope (out)
覗く 望む 推測する・でっち上げる

c 眼閉 close cease cut circle cycle center
静止する

z 攪乱 zero zzz zz z dazzling puzzle
睡眠中 目が眩む 見つめる まぶしくて わけがわからなくて

fuzzy buzz amaze

毛羽がいっぱい

ブンブンうるさくて

驚嘆して見つめる

gaze

daze = dazzle

じっと見つめる

眩暈がする/目を眩ませる

a(=α=ο)

a / one

auld / old

amen / omen

all correct / OK

吉兆 / 凶兆

aboard = on board

away = on way

caught

taught

搭乗して=乗って

途上=途中で (に)

thought

bought

brought

② b × d

Twist 'b' to 'd' and you can find the meanings reversed.

b 胸・息

breathe

breath

believe

breed

blow

息する (=生きる)

息

育て上げる

d 下・死

die

death

deceive

down

draw

死ぬ

死

騙す・欺く

下げる・下がる

引く

③ p × q

[b→p

/

d→q]

p 置・定

put

place

peace

perfect

pose

置いておく

q 求・不定

quest

question

require

queer

quit

要求する

へんてこな

やめる

④ f × h (g)

f 浮・表・前

fire

fart

find

flow

follow

fate

before

feather

運

h 内・隠・後

hire

heart

hide

hole

hollow

hate

behind

heavy

うつろ (空洞)

g 地・重

ground

gravity

grave

great

grain

grow

重力

墓

偉大な・重大な

穀物

grieve

grudge

嘆く 恨みを抱く

⑤ r l キリッ ri ダラー la / release

r 短・立・緊縮・転 rise raise short ring shrink spring turn

縮む

l 長・横・放恣 lie lay long linger loose elliptic orbit

だらだら続く ルーズな(だらしない) 楕円軌道

slang = slanguage = loose language / l = linguiform letter (舌状の文字)

舌 langue (= tongue) / bilingual / linguistics 言語学

ガラス)

⑦ u = v = v+v = w(=double 'u' = double 'v' in French)

u 優 universe utopia eugeny euphony you beauty useful

優性 優音(音便) 貴方

v 勝 vivid vive vitamin victory vindicate valid vital

生き生きとした 万歳! 雪辱する 有効な 生死に関わる

w 勝 win wise wield wonder witch wizard will

権力を振るう 魔女 魔法使い(男) 意志

⑧ 付録 bonuses

k 翔 hawk stork sky kick cock crow

コウノトリ

i 我 I ID id it idea idiot identify individual

j. 喜 Jesus joy journal juvenile justice judge jewel
救い主 messiah

m 手・力 man manage manual mustle mend demand
手動の、マニュアル

x 以外 extra exit ex-president exhaust
使い果たす

exhaust gas exorcist exorcise exercise
排気ガス 悪魔を追い出す 実行する/果たす

y 気味 [ɪ] rainy happy rainin' Tommy Stop it.

All righty. Take it easy. Looky(=Look at it).

Howdy?(How do you do?) Hi.

are derived from the id.

libido (live: liberal + i I id idea identity)

外国語学習方法（自分に合ったものを選ぶことが先ず第一）

- (1) 授業形態 予習・復習・試験
- (2) 読書（学習用テープリスニング）
- (3) 会話学校・ネイティブとの交流
- (4) 留学
- (5) 映画などの台本＋そのテープ聞き取り 静止文章＋聴解
- (6) 英語字幕学習（映画・トークショウ・演説など）＋テープ聞き取り 躍動文字＋聴解

STEP 1

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| ①ゴルフ 静止のボールを打つ | 読書形式・主観的（自閉的/autism/autistic） |
| ②マシーンのボールを打つ | 速度に慣れる半主観・半客観 |
| ③ピッチャーの生きたボールを打つ | ゲームを楽しむ（阿吽の呼吸・会話のやりとり） |

STEP 2

- | | |
|-------------|------------------------|
| ①読書形式 | 納得できるまで反復・研究できる。 |
| ②マシーンのボール打ち | 画面上の字幕のスピードについて行く練習 |
| ③実際のゲームを楽しむ | 聞き取れなかった部分だけ、確認チェックする。 |

STEP 3 薬は楽しむハーブ「艸＋楽＝薬」 「骨折り損の草臥れ儲け」にご用心！

- ① 本末顛倒はしんどい。②③ができて初めて、最高の効果が期待できる。②③のできない人には読書は苦痛でしかない。会話ができるようになれば、今度は辞書を引くのが楽しくなり、辞書に感謝さえするようになる。
- ② アナウンサーの毎日の発声練習のつもりで、眼で追い、声に出す。
知識人や俳優の洗練された、発声法や会話の言いまわしなどを、研究し、自分の個性に適った話し方を見つけ出したい。
- ③ 日頃から、仕事や文化活動など、いろいろな機会を利用して、ネイティブと交流するようにする。

英語字幕学習（ほかの外国語も同様です！）

- 1) 映画はアメリカの No.1 の産業（国威の発揚）leading many “peoples” to love America
 - 2) アメリカの文化と理想や現実の客観的把握に役立つ。
 - 3) 初級・中級者は先ず、比較的短く、気に入った部分だけに焦点をあてて、身につける。
さらに、上級者は詳細の部分まで、注意を払う。
- ⊗ 往々にして、当たり前のセリフは非常に速く、省略して、話される。
----- 本や普通のテープでの学習者には 聞き取りにくい
- ⊙ その反対に非日常的な難解な辞書言葉はゆっくりと話される。
----- 本や普通のテープでの学習者にも 聞き取りやすい

① 尚、スクリーンプレイというセリフの本も沢山、販売されています。（1,260 円）

ビデオからテープ録音して、電車の中で、本を開きながら聞くのも、楽しいし、
聴解力・臨場感も、英文読解力・文法力も飛躍的に身につくものです。

ローマの休日	風と共に去りぬ	グッドウィルハンティング	赤毛のアン
レインマン	E.T	シックス センス	オズの魔法使い

② DVD もほとんど英語字幕が出ます。

*入手できない台本「キャッツ」「アニー」「サイモン＝バーチ」泉原作成。希望者には貸与。

論より証拠 —— 始めたその日から、楽しく知らず知らずに、身に付きます。

口の動きは勿論、マナー、動作、考え方、文化、歴史、風俗などを、自分の眼で直接に客観的にもまた、主観的にも吸収できます。

ある知人はフランス語を熱心に学習していましたが、いつまでたっても、日本語のように身に付かない。ある日、気晴らしに英語字幕付きの映画を見ていたら、本当に楽しくて、続けて見ているうちに、6、7年で通訳の国家試験に合格し、中国語も必要になったので、同様に、中国語字幕の番組を見て、数年で、同じ国家試験に合格しました。フランス語の方は、字幕の番組が入手できないので、今でも、じっくりしないとっています。

.....

cf. $A \approx B$, [A is approximately equal to B]

cf. in the pool: in the snow: in the rain

(3) 語・句・節・文 先ず動詞（述語）を見つけること！

三人称単数の s や 過去形・現在完了形・不規則動詞が目安。

* 句は 2 語以上の語の集まったもの。 * 節は 主語と述語を持つもの。

* 文は 節が完結したもの。

語	boys	
少年達		
句	boys <u>believing</u> Mary	現在分詞句
	メアリーを信じる少年達	
句	boys <u>who believe</u> Mary	関係代名詞節/能動態
	メアリーを信じる <u>ところ</u> の少年達	
句	Mary <u>believed</u> by boys	過去分詞句
	少年達によって信じられるメアリー	
句	Mary <u>who is believed</u> by boys	関係代名詞節/受動態
	少年達によって信じられる <u>ところ</u> のメアリー	
節	When boys believe Mary,	従属節
	少年達がメアリーを信じる時、	
文	Boys believe Mary.	単文
	少年達はメアリーを信じる。	
文	Mary is happy when boys believe her.	複文
	少年達が信じると、メアリーはうれしい。	
(≡	When boys believe Mary, she is happy.)	複文
	少年達が信じる時、メアリーはうれしい。	

(4) 勾玉・祇園祭り

スサノオとアポロ

裏を見せ 表を
見せて 散る紅葉

さかさま? God ⇔ dog?

OK ⇔ KO

→
Good for everything (大善人)

⇔

←
Good for nothing (大悪人)

天才と狂人は紙一重 Genius and madness are but a hair's breadth apart.

「悪人正機」 (Between a genius and a madman is a sheet of a paper.)

スサノオもアポロも共に傲慢な悪神からやさしい善神に変身したと、古事記・日本書紀や

ギリシャ神話に記されています。 The more noble, the more humble.

in reverse

reversible

inversion

read backward

語句や節、文をサカサマに読んで見る習慣をつけてみてください。今までわからなかったことが、突然、簡単に見えてきます。 紙には「表と裏」がありますが、「おもて」は善心で「うら」は悪心を示すように、先史時代の名残が、「紙と神」の発音を同じくしたのは、洋の東西を問いません。 < Because the Bible is from paper, which is papyrus. > バイブルは紙(カミ)から由来します、それはパピルスの英語音です。(compatible sounds / m b p f v)

① can ⇔ be able to

can understand = be understandable = be able to understand

→
理解できる

←
理解し得る

→
理解する能力を持っている

* Practice Makes Perfect * Turn the words into the phrases(= adj. + to + verb)

例にならって、さかさまにしてみてください。

【例】 reasonable = able to reason 理屈をつけ得る(理に適った)

(i) doable = 為し得る

(p) goable = 行き得る

(h) thinkable = 考え得る

(e) eatable = 食べ得る > edible (食用になる)

(f) forgivable = 許し得る

(v) feasible = 実行し得る

(b) advisable = 忠告し得る

[ANSWERS]

(i) able to do (p) go (h) think (e) eat (f) forgive (v) fease (b) advise

同様に、以下の場合も、逆読みすれば、意味がはっきりします。 Read backward.

② careful ⇔ full of care

→
注意深い

←
注意をいっぱいにして

e. g.	<u>careless</u>	mindful	mindless
	less of care	full of mind	less of mind
	注意の無い	心ある	心無い

(5) Read backward (逆に読む) 口語と文語

洋の東西を問わず口語と文語は、基本的に逆順になることに注目して欲しい。

「注目＝目を注ぐ」「所信演説＝信ずる所の演説」という具合です。

省略形	←	今(口語)	←	昔(文語)
me books	←	my books	←	books of me
僕チャンの本		私の本		我が本
Come see me.	←	Come and see me.	←	Come to see me.
(来て) 会ってくれよ		(来て) 会ってください		会うために来てください。
Try sleep.	←	Try and sleep.	←	Try to sleep.
(試して) 眠れよ。		(試して) 眠りなさい。		眠ることを試みなさい
Wait see.	←	Wait and see.	←	Wait to see.
(待つて) みろよ。		(待つて) 見なさい。		見るために待ちなさい

(イ) Tom's books	←	books of Tom
トムの本		トムが本
(ロ) God's spell	←	spell of God
神のコトバ		神がコトバ
(ハ) buttered bread	←	bread and [=with] butter
バター塗りのパン		バター付きのパン

cf. Gospel ⇔ good spell 福音

and ⇒ added

(6) 能動態 ⇒ 受動態 (受け身) への変換には、 尚更、逆読みは役に立つ。

(イ) He played the guitar .	The guitar was played by him.
ギターをひいた。	ギターはひかれた。
(ロ) He made the watch .	The watch was made by him.
時計を作った。	時計は作られた。

① He buys books. ⇔ Books are bought by him. 能動態 ⇔ 受動態
 彼は本を買う。 ← 本は 彼に買われる。
 能動態 (～をする) も受動態 (～にされる) も「さかさま」に処理すれば、簡単です。
 受動態③ He buys books. ⇔ Books are bought by him. 能動態 ⇔ 受動態
 彼は本を買う。 ← 本は 彼に買われる。

能動態 (～をする) も受動態 (～にされる) も「さかさま」に処理すれば、簡単です。
 受動態にするときに、be 動詞と by を加えるのは、全体のバランスを対称的にするためです。

* Practice makes Perfect * Try and turn the voices into each other.

例にならって、態を変換してみてください。

[Ex] She found the flowers. ⇔ The flowers were found by her.

(ハ) She gets that cat. ⇔ S V O
 彼女はあの猫を買う。 ⇔ あの猫は彼女によって買われる。

【注意】 次の(ニ)の場合は目的語が2つあるので、2つの受動態の文が当然、できます。
 (ニ) She gets me this cat. ⇔ I am S V O O
 彼女はこの猫を私に買ってくれる。 ⇔ 私は彼女に (よって) その猫を買ってもらう。
 ⇔ This cat is S V O O
 ⇔ この猫は彼女によって私に買われる。

(ホ) The PC is bought by Tom. ⇔
 このパソコンはトムによって買われる。 ⇔ トムはこのパソコンを買う。

(ヘ) The cars are sold by him. ⇔
 それらの車は彼によって売られる。 ⇔ 彼はそれらの車を売る。

(ト) The sheep is caught by Mary. ⇔
 そのヒツジはメアリーによってつかまえられる。 ⇔ メアリーはそのヒツジをつかまえる。

(チ) The birds are brought by her. ⇔
 それらの鳥は彼女によって連れてこられる。 ⇔ 彼女はそれらの鳥を連れてくる。

[ANSWERS]

(ハ) That cat is gotten by her.

(ニ) I am gotten this cat by her. / This cat is gotten (to) me by her.

(ホ) Tom buys the PC. (ヘ) He sells the cars.

(ト) Mary catches the sheep. (チ) She brings the birds.

「一眼の亀」 Turn it a little around. 「回向と布施」

針に糸を通しては、老眼になれば、糸は通らない。また、本をケースに入れる時に、本の背表紙を半回転させて入れれば、何の造作もなく納まる。このように、少し、発想を逆向きにすれば、相乗効果は計り知れないほど、素晴らしいものとなる。

① It is much harder for a rich person to enter the Kingdom of God than a camel to go through the eye of a needle. (ラクダが針の穴を通るよりも、裕福な人が神の国に入るのは、はるかにむづかしい。 Matthew 19: 16-25)

② Scales fall from one's eye. (目からウロコ Acts 9:18) ♪ Amazing Grace ♪

③ Charity begins at home, but should not end there.

Touchstone (試金石)

Selfish and coward for king with a new clothe?

Brave and impartial for little match girls?

視 観 察
視 其 所 為
觀 其 所 由
察 其 所 安
人 焉 瘦 哉
人 焉 瘦 哉
論 語 為 政

REVIEW【2】

* Practice makes Perfect *

Complete the charts below

1. 考える 考えられる 考え 得る
think can think able to think
thinkable

2. 想像し得る 運び 得る 為し 得る
imaginable carryable (do) able
able to imagine () to () () to ()
can imagine () carry can ()

3. 寝る ふりをする? 知ってるふりをする 知らんぷりをする
pretend to sleep pretend to () pretend () to know

4. can ⇔ be able to
can understand = understandable = be able to understand
can reach = reachable =
touch =
keep =
forget =
carry =
vise =

5. careful ⇔ full of care
 careless barrier free tax free
 () of care () from barriers free () taxes

6. He buys books. ⇔ Books are bought by him. 能動態 ⇔ 受動態
 彼は本を買う。 ⇔ 本は彼によって買われる。
 イ He read it. ⇔
 彼はそれを読んだ。 ⇔ それは彼に読まれた。
 ロ She finds the flowers. ⇔
 彼女はその花を見つける。 ⇔ その花は彼女によって見つけられる。
 [ANSWERS] イ It was read by him. ロ The flowers are found by her.

(7) 助動詞の do と 動詞の do

Snap out of it!

反転させて、縮めて、一体化! Reverse and contract it.

does do → do does → do ~~does~~ → does する ~~ことをする~~

does go → go does → go ~~does~~ → goes 行く ~~ことをする~~

< どこかおかしい? Something's wrong? >

語順と省略形に注意!

Does he study? (he does study) ⇔ he studies

Did he study? (he did study) ⇔ he studied

Can he study? he can study ⇔ he can study

It's just like [reversing the order of the words and contract it]

反転させて省略、一体化する。

a book of Tom ⇔ Tom's book

a book of him ⇔ his book

more fast ⇔ faster

most fast ⇔ fastest

more good ⇔ better

most good ⇔ best

fast ~~more~~ → faster

【日本語】でも同じように反転した語句が、常識になっている。

(イ) 佐渡回り → ドサ回り (ロ) あらたし → あたらし (心を新たにする)

(ハ) しだらない → だらしない (したら = スートラ = sutra=経 インド語)

(ニ) 中国語→日本語 *可是可是(カシカシ) → しかし *王八(ワンパー) → パー *是的是的(スデスデ)→です

*** 迷子になった助動詞の [do], [does], [did] ***

[do]には2つ種類がある。助動詞の[do]と動詞の[do]である。つづりが同じなので、何時の間にか混同してしまって、文法がわからなくなってしまう。④⑤の文に注意してください。迷子になった助動詞の[do]の存在を忘れないでください。

助動詞の[do] と 動詞の[do]	複合体
does + go = goes	did + play = played
does + do = does	did + do = did

- ① He can't tape the show. He can tape -----
- ② He mustn't tape the show. He must tape -----
- ③ He won't tape the show. He will tape -----
- ④ He doesn't tape the show. { He does tape -----
He tapes -----
- ⑤ He didn't tape the show. { He did tape -----
He taped -----

Ex. do / can / will / must / did / should

You do do it? Do you do it? --- Yes, I do.

することをします? することをしますか? はい、します。

You can do it? Can you do it? Yes, I can.

ことができます? ことができますか? はい、できます。

You don't do it? Don't you do it? --- No, I don't.

He does do it? Does he do it? --- Yes, he does.

He doesn't do it? Doesn't he do it? --- No, he doesn't do it.

To lament the loss of sheep

To find a common link between the various fields of learning is as difficult as trying to regroup a flock of scattered sheep.

亡羊の歎
ぼうようたん

助動詞 do /does /did の 隠れた存在がわかれば、次の仮定法の時制はすぐに理解できます。

仮定法 If S₁ + V₁, S₂ + V₂

If 節の V₁ の時制によって、仮定法現在、過去、大過去と、名前をつけている。

(実際は、If 節の助動詞 do の現在形[do, does]、過去形[did]、大過去形[did have]である)

主節の V2 の日本語の時制はひとつひとつ、繰り下がって、**未来形、現在形、過去形**になる。

- ① 仮定法現在 ～すれば、 ～するだろう

If he knows her feeling, he will be happy. does know

- ② 仮定法過去 ～したら、 ～するだろうに。

If he knew her feeling, he would be happy. did know

- ③ 仮定法大過去 ～していたら、 ～しただろうに。

If he had known her feeling, he would have been happy. did have known

Balancing, or symmetry is the name of the game.

対称、バランスがとれていなければならない。

2つの節(if 節と主節)の動詞の時制は本来、対称しなければならない。例えば③は

- ③' If he did have known her feeling, he would have been happy. が本来の形。

重ねて述べますが、仮定法の時制の一致を理解するためには、**助動詞の do** と動詞の do の区別と省略の経緯や次第を把握することが必須不可欠です。

REVIEW 【3】

It's not fair. You must be impartial.

Do だけが鬼ッ子です。 (black sheep, or ugly duckling)

どちらが正しい? (あ) Do it. ? (い) Do do it. ?

助動詞 can / must / may / will / do

You can do it. You must do it. You will do it. [You do do it. You do it.]?

(イ) I can't do it. I can do it.

..... することができない ことができる

(ロ) I don't do it. I do do it. I do it.

..... することをしない することをする をする

(ハ) Don't do it.

..... することをするな。

Do do it. **同音の省略** Do do it. cf. welcome = well+ come

..... することをしろ。 しろ。

「比較」 (1) 同音の省略 (語を複合するとき)

- ① all ways → always ② well come → welcome
③ Christ mass → Christmas ④ good spell → gospel 福音

(2) 類似音の反転結合

- ① 藪 (やぶ・低木) shrub bush
 → ←
② スカッシュ squash crush / lemon squash lemon crush

これを最初に理解しないとずっと、ボタンのつけ違いに
なってしまう。 You're not getting anywhere!

(二) Do you go? ----- Yes, I do (go).

行きますか? はい、行きます。

(ホ) Do you go? ----- No, I don't (go).

行きますか? いいえ、行きません。

(ヘ) Can you do? ---- Yes, I can (do).

できますか? はい、できます。

(ト) Will you do? ---- Yes, I will (do).

するつもり? うん、するよ。

< One More Step >

another missing black sheep? S = 0 の時の 0 は 普通、省略される。

You must get (yourself) up. You must get him up. You must get her up.

~~助動詞と動詞を 反転させて合体させると…… (何度も反復説明しますが)~~

does go → go+~~does~~ → goes

(フ) He ~~does go~~ home when you come back.

does go = go+does = goes

He goes home when -----

(リ) He ~~did study~~ when you came back.

did study = study+did = studied

He studied when ----

【例】 比較級 ; 最上級の more;most と次の語との関係も同じです。

more long → long+more → longer

most long → long+most → longest

要するに、「話し言葉は、縮まる」ということです。

但し、do; did 以外の助動詞はさかさまになって

合体することはありません。すなわち、

do ; did が省略されていることがわかれば、仮定法の2つの節は、前述のごとく、動詞の時制が一致していることが、理解できる。すなわち、2つの節は、対称 (symmetry) しているパターンが見えてくる。 {Balancing is the name of the game.}

(X) I will go home if he comes back.
will go does come
 助+動 助+動

本来の文 (対称)

(W) I would go home if he came back.
would go did come

本来の文 (対称)

(7) I would have gone home if he had come back.
would have gone did have come

本来の文 (対称)

(8) 1 語のみでの修飾語

always come / come all ways ???

語 + 語

日本語と同じ語順

<現在・口語>

<正式・昔>

<言い換え>

- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------|
| 1. Tom's bicycle | → | a bicycle of Tom | a bicycle which belongs to Tom |
| トムの 自転車 | | トム (所有) の自転車 | トムに所属するところの |
| 2. his book | → | a bicycle of him | a book which belongs to him |
| | | | 彼に所属するところの本 |
| 3. a big car | → | a car big | a car as big as mine |
| | | | 私と同じくらい大きな車 |
| 4. always go | → | go always | go every morning |
| | | | |
| 5. often study | → | study often | |

⑤ a book which is useful/ 役に立つ (所の) 本

ロ walk and sing = walk singing 歌いながら歩く

ハ You and I 私とあなた

cf. 現在分詞が前置詞に変身する時、half-mashed bean paste to full-mashed bean paste
jam or jelly? 漉し餡(strained bean jam) 粒アン(half-strained bean jam)

- ① regarding Tom トムに関する (regard 考慮する、関係する)
- ② cocerning the matter そのことについて (concern 関係する)
- ③ matters pertaining to education 教育に関する事柄 (pertain 属する)
- ④ matters of education 教育の事柄 (belonging to)
- ⑤ during the summer 夏の間 (dure = endure)

(10) 語＋句[節；文]

2 語以上の語ですら、うしろから修飾するのがふつうであるので、ましてや、
節や文の場合は、言うまでもなく、うしろから修飾する。

a book written by Shakespeare シェイクスピアによって書かれた本

イ Shakespeare writing a book 本を書いているシェイクスピア

cf. Shakespeare is writing a book. シェイクスピアは本を書いている。

(is の有無に注意！)

ロ He's walking reading a magazine. 雑誌を読みながら歩いている。

cf. He's walking and he is reading a magazine.

彼は歩いていて、雑誌を読んでいる。

cf. Reading a magazine, he was busy.

彼は忙しい、雑誌を読んでいるので。 = As he was reading a magazine, he was busy.

ハ He was busy typing the report. タイプしていて、忙しかった。(with typing)

彼はレポートをタイプしていて忙しかった。

= Typing the report, he was busy. / 彼は忙しかった、レポートをタイプしていたので。

ニ She was sad scolded by her mother. (for being scolded)

母親に叱られて悲しかった。

叱られたために

cf. (Being) scolded by her mother, she was sad.

彼女は悲しかった、母親に叱られたので。 / As she was scolded by her mother, she was sad.

ホ 《主節の述語の時制にしたがって、to 不定詞はの意味は未来にも現在にも過去にもなる。》

He was happy to see Mary. 彼はメアリーに会えてうれしかった。

(= when he saw Mary.) (to ⇐ when, because, as, since)

メアリーに会えて、うれしかった。

cf. He will be happy to see Mary.

(= if he sees Mary.) (to ⇐ if)

彼はメアリーに会うと、うれしいだろう。

ヘ He was happy seeing Mary. 彼はメアリーに会って (いて) うれしかった。

(because he was seeing Mary.)

REVIEW【4】

分詞構文（現在分詞&過去分詞）

(イ) running boys boys running there.

走っている少年

そこで走っている少年

(ロ) broken promises promises broken by them

破られた約束

彼等によって破られた約束

【進行中】の分詞 と 【受身】の分詞

① ～していて忙しい ⇔ busy preparing

I am preparing. So I am busy. ⇔ I am busy preparing.

準備しています。だから忙しいです。 ⇔ 準備してて忙しいです。

② ～されて泣く ⇔ cry bullied

I was bullied. So I cried. ⇔ I cried bullied.

いじめられました。それで泣きました。 ⇔ いじめられて泣きました。

分詞構文と動名詞構文 compatible

分詞句と前置詞句の互換性に気づけば、自在にしかも正確な文章がいくらでも作成できるようになります。

③ 現在分詞構文と動名詞構文 (=前置詞句)

イ He was preparing the lesson. So **he was busy.**

ロ = **Preparing the lesson,** **he was busy.** < (Being preparing)

ハ = **He was busy** **preparing the lesson.**

ニ = **He was busy due to** **preparing the lesson.** < (= because of)

[日本語版 Japanese version]

イ レッスンの用意をしていました。それで忙しかった。 ロ レッスンの用意をしていて、忙しかった。

ハ レッスンの用意をして忙しかった。 ニ レッスンの用意をすることのために忙しかった。

④ 過去分詞と動名詞構文 (=前置詞句)

ホ He was bullied by the girls and **he was crying.**

ヘ = **Bullied by the girls,** **he was crying.** < (Being bullied)

ト = **He was crying** **bullied by the girls.**

チ = **He was crying because of being** **bullied by the girls.)**

[日本語訳 Japanese translations]

ホ 少女達にいじめられた、それで彼は泣いていた。 ヘ 少女達にいじめられたので、彼は泣いていた。

ト 少女達にいじめられて彼は泣いていた。 チ 少女達にいじめられたために彼は泣いていた。

⑤ [応用] 過去形でも過去完了形でも、ふつうは、単純分詞形を使用する。

リ He received bribes. So he was arrested. = (had received)

ヌ = Receiving bribes, he was arrested. = (Having received)

ル = He was arrested receiving bribes. = (having received)

ヲ = He was arrested ~~on suspicion of~~ receiving bribes.) = (having received)

[Japanese translations]

リ 賄賂を受け取った。それで逮捕された。 ヌ 賄賂を受け取ったので逮捕された。

ル 賄賂を受け取って逮捕された。 ヲ 賄賂を受けとった嫌疑で逮捕された。

(11) 関係詞

[1] v + v = w

Are you kidding? --- No, I mean it.

関係詞は(～ところの**)を意味し、関係させる代名詞(代副詞、代形容詞)である。すなわち、2つのものを結びつける代用の語である。

二つの文を結びつけるのだから、述語動詞(v)は2つあることになる。すなわち、v+v=wとなるので、who which what where why how などの、double [v]を表わすwを含んで

いる語を使用している、ユーモアにも、注目してほしい。

I saw a teacher. He is nice.

I saw a teacher, and he is nice.

I saw a teacher who is nice.

一方、

「私が愛する花＝the flower I love」と「私が愛するところの花＝the flower **which** I love」
との、意味合いの違いは、**関係代名詞「～ところの**」**を使用すれば、
感じが**正式に、重く、古くなる**、という点にある。従来の受験英語では、どちらも同じよう
に訳して、「～ところの**」と訳せば、マチガイとされてきたが、文語と口語の区別をしな
い、きわめて鈍感で野蛮な処理の仕方であったように思える。

the flower which I love 愛するところの花

the flower that I love 愛するその花

the flower ~~that~~ I love 愛する**その**花

また、語順については、**関係代名詞が入れば**、後ろから修飾される。

(イ) a boy **who** runs

Cf. A boy runs.

走るところの少年

少年は走る

(ロ) a boy **who** is running

Cf. A boy is running.

走っているところの少年

少年は走っている

(ハ) a boy **who** is loved by every one

Cf. A boy is loved by every one.

みんなに愛されているところの少年

少年はみんなに愛されている

(ニ) a boy **who** loves every one

Cf. A boy loves every one.

みんなを愛するところの少年

少年はみんなを愛する

(ホ) a boy **whom** every one loves

Cf. A boy, every one loves him.

みんなが愛する少年

少年、みんなが（彼を）愛する

【まとめ】 次の文のニュアンスを正確に理解してください。

(ヘ) A boy trusts you.

少年は（君を）信頼する

(ト) a boy **who** trusts you

（君を）信頼するところの少年

(チ) a boy you trust

（君が）信頼する少年

(リ) a boy **whom** you trust

（君が）信頼するところの少年

No excuses, no complaints!

Who can you trust if you can't trust yourself?

Who can trust you if you can't trust yourself?

It's best for you to trust yourself first of all.

為仁由己
而由人乎哉
仁を為すは
己に由る。
なんぞ人に
よらんや？

[2] 接続詞・代名詞・関係代名詞の区別と共通性 ～という[こと] & ～した[事/物]

A. ① I know that you met him. 君が彼に会った（ということ）＝that

あなたが彼に会ったこと（それ）を知っている。

② 【口語】 You did the thing. I know that.

【反転連結】

あなたは彼に会った。 私はそれを知っている。

①の that（接続詞）もやはり、②の that（それ＝代名詞）の意味を持っている。

B. ～こと（untouchable / intangible）抽象的

I know the thing (which) you did. 君がしたこと（＝事）

あなたがした（ところの）そのこと

= I know that (which) you did.

< that + which = what > 【反転連結】

あなたがした（ところの）それ

< that + that = what > 【doubled that = what】

= I know what you did.

あなたがしたこと

= What you did, I know that.

あなたがしたこと、私はそれを知っている。

Are you clear about the difference of the following sentences?

cf. I know that you said that.

I know that that you said. (= I know what you said.)

C. ～もの（touchable / tangible）具体的

I know the car (which) you bought.

買った（ところの）車

= I know the thing (which) you bought.

買った（ところの）その物

= I know that which you bought.

買った（ところの）それ

= I know what you bought.

買った（ところの）もの

D. That you met her was important. = It was important that you met her.

あなたが彼女に会ったことは重要だった。 あなたが彼女に会ったことは重要でしたよ。

= Your meeting her was important. = It was important for you to meet her.

あなたが彼女に会うのは重要だった。 君にとって重要でしたよ。

= For you to meet her was important.

彼女に会ったことは（君にとっては）重要だった。

E. What you did was important.

= The thing (which) you did was important.

君がしたことは重要だった。

cf. That you did that was important. = It was important that you did that.
君がそれをしたのは重要だった。

--
F. The violin (that) he bought is excellent.

.....
彼が買ったバイオリンは素晴らしい。

.....
cf. That he bought the violin is excellent. = It is excellent that he bought the violin.

.....
彼がそのバイオリンを買ったのは素晴らしい。

(12) 不定詞

[1] < to 不定詞 の主語は? > Infinitives' subjects?

「have to」の由来は? must?

.....
イ I **have** something **to tell** you.

.....
君に話すことがあります。

.....
ロ I **have to tell** you something.

.....
何かを君に話さなければならない。

Cf. 動詞（現在形、過去形、過去分詞形、現在分詞形、不定詞、いずれの場合も）のすぐ前
にある名詞がその主語になる。チェックしてみてください。

① I **have** something for me **to tell** you. have の主語=I, tell の主語=me

② I **hope** that he **tells** her **to go** to Washington.

③ I **want** him **loved** by her.

④ I **want** him **to love** her.

[2] have 「ある」 ---- 図書館がある。

We have a good library in our city.

この町には、いい図書館があります。

「現在完了」

イ 経験がある。 ロ 状況を持つ。 ハ 瞬間を持つ。 ニ 結果の状態を持つ。

.....
イ I have met her. < the experience/ the fact/ the feeling of meeting >

.....
彼女に会ったことがある。

.....
I have **the experience that** I met her.

.....
彼女に会ったという経験を持っている。

.....
ロ I have lived here ten years. < **the period of** living >

10 年住んでいます。

I have the fact that I lived here ten years. /results/ achievements

10 年住んだ継続事実を持っている。

ハ I have just called him. < the moment of calling >

彼に電話したところです。

I have the moment that I called him.

彼に電話した瞬間を持っている。

ニ I have lost my watch. < the result of losing / the situation of losing >

時計を無くしました。

I have the result that I lost my watch.

時計を無くした結果の状態を持っている。

[KEY] したがって、現在、口語では、現在完了形を過去形で代用しているのは、
当然のことである。that の前の部分を口に出さないだけのことだから。

【例】 (I have the experience that) I met her before.

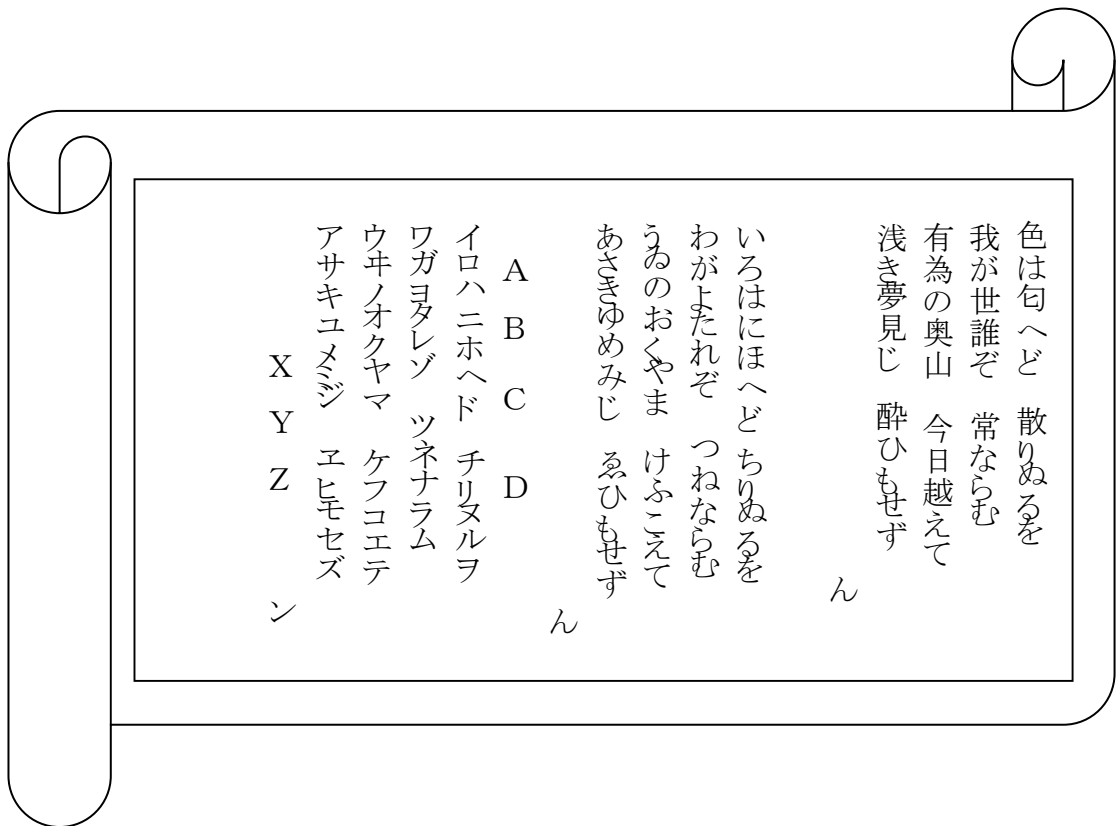
The more noble,
the more humble.
The more wise,
the more generous.
The more strong,
the more gentle.

み
の
る
ほ
ど
頭を垂るる
稲穂かな
如有
周公之才之美、
使驕且吝、
其余不足觀也已
「論語 泰伯」

ひらかな(平仮名)

以呂波仁保部止 知利奴留遠
宇為乃於久也末 計不己衣天

和加与太礼曾 川禰奈良武
安左幾由免美之 恵比毛世寸



カタカナ(片仮名)

伊呂八二保部止 千利奴流乎 和加與多礼曾 川禰奈良牟
宇井乃於久也末 个不己江天 阿散幾由女三之 恵比毛世須

无(無)

皆さん、ご存知と思いますが、これは、Diana Ross の歌です。曲もいいし、内容も深い意味があり、発音の練習にもなります。初めての方は、一度聴いてみてください。

♪ If We Hold On Together ♪

Don't lose your way with each passing day.

You've come so far, don't throw it away.

Live believing, dreams are for weaving, wonders are waiting to start.

Live your story, faith, hope and glory, hold to the truth in you heart.

If we hold on together, I know our dreams will never die
Dreams see us through to forever where clouds roll by for you and I.

Souls in the wind must learn how to bend. Seek out a star, hold on to the end.
Valley, mountain, there is a fountain (which) washes our tears all away.
Words are swaying, somebody's praying, please let us come home to stay.

If we hold on together, I know our dreams will never die
Dreams see us through to forever where clouds roll by for you and I.

When we are out there in the dark, we'll dream about the sun.
In the dark we'll feel the light warm our hearts every one.

If we hold on together, I know our dreams will never die.
Dreams see us through to forever, as high as souls can fly
the clouds roll by for you and I. ♪ ♪ ♪ ♪

AMAZING GRACE アメージング グレース

アフリカの黒人を家畜のようにアメリカに運んで行って、奴隷として売買して大成功を収めたと得意になっていた商人が、ある日、自分のしてきたことの残虐さ・恐ろしさに気がついて愕然として悔い改めた、という内容の歌です。 賛美歌になっています。

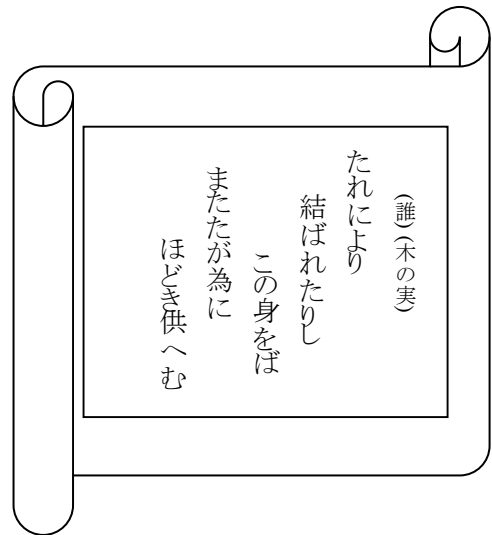
♪ Amazing Grace ♪

Amazing grace, how sweet the sound
that saved a wretch like me.
I once was lost but now I'm found,
was blind but now I see.

'Twas grace that taught my heart to fear,
and grace my fears relieved.
How precious did that grace appear,
the hour I first believed

Through many dangers, toils, and snares,
I have already come.
'Twas grace that brought me safe thus far,
and grace will lead me **home**.

When we've been **there** ten thousand years,
bright shining as the sun.
We've no less days to sing God's praise
than when we first begun.



Where there's a will, there is a way.
So first you have **got** to help yourself
and then, you will have **God** to help you
too. God helps those who help themselves.

精神一到何事不成。
精神一到、
何事か
ならざらむ
「朱子」
尽人事而待天命
人事を尽して
天命を待つ。
。

Dainasaurs

May I remind you that he's one of them.
---- Well, looks like he's one of us now.

Who booked this trip, any way?
---- You'll be at the nesting ground soon enough.

Well, When I get there, I'll give Krone a piece of my mind. 文句を言ってやる。
---- You tell him, Eema.

If I could sleep that deep, I'd be in paradise.
If you could sleep that deep, honey, you'd be dead.

This plant grew on our island. It will make you feel better. 気分がよくなるわ。
---- Why is he doing this, pushing them on with false hope? うそっぱちの希望で、

It's hope that's gotten us this far. ここまで来れたのは、希望があったからよ。

—But why doesn't he let them accept theie fate? I've accepted mine.

And what is your fate?

— To die here. It's the way things are. そういうものなんだ。

Only if you give up, Bruton. It's your choice, not your fate.

Well, the plant will help. それは自分であきらめてるのよ。 運命じゃないわ。